

令和 6 年度 行政評価書（内部評価）



2025年（令和 7 年） 6 月
飯 島 町

目 次

I	飯島町の事務事業・実施計画（施策）評価制度	……p 1
II	内部評価（事務事業・実施計画（施策））	……p 2
III	事務事業の達成状況	……p 6
IV	実施計画（施策）の進捗状況	……p 7
V	事務事業・実施計画（施策）評価総括表	……p 8
	➤ 総務課	・・・p 10
	➤ 住民税務課	・・・p 34
	➤ 健康福祉課	・・・p 52
	➤ 産業振興課	・・・p 98
	➤ 建設水道課	・・・p150
	➤ 地域創造課	・・・p184
	➤ 教育委員会事務局	・・・p218
	➤ 企画政策課・会計課・議会事務局	・・・p271

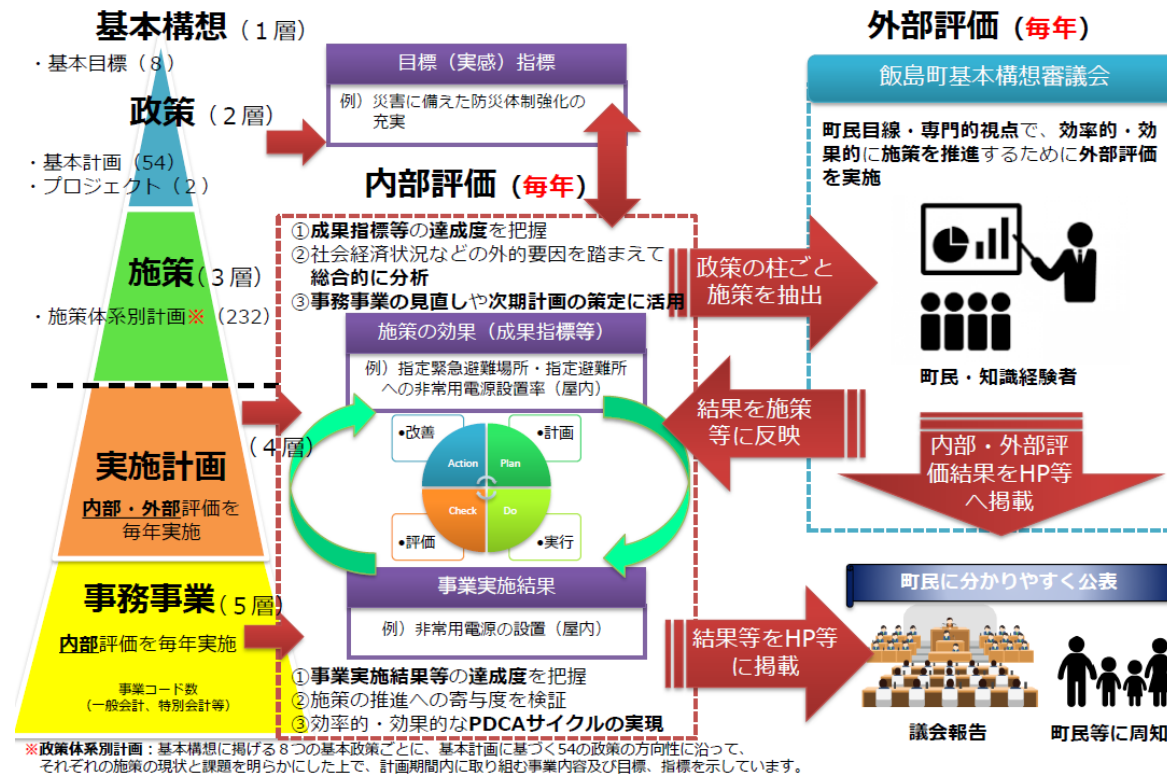
I 飯島町の事務事業・実施計画（施策）評価制度

実施計画（施策）評価・事務事業評価とは、限られた予算や職員の事務の効率化を図るため、事業の目的や手段をはっきりさせ、事業目的が達成されているか、費用は適切かなどを点検・評価し、より効果的・効率的な町政運営につなげていくものです。

1.目的

行政の施策を評価しマネジメントサイクル（PDCAサイクル）を確立することで、施策の改善を導き、効率的で成果を重視した行政と開かれた行政を推進します。

2.体系



- 「**実施計画（施策）評価**」は、施策評価シートを活用し、成果指標等を通じて、配下の事務事業の効果を検証できるようにすることで施策と事務事業の関係性を明確化し、事業の見直しに繋がります。
- 「**事務事業評価**」は、事務事業評価シートを活用し、効率的・効果的な進行管理となるよう、施策評価シートと連動することにより、事業の必要性や有効性、効率性などを客観的に評価できるようにし、効果的なPDCAサイクルの実現に繋がります。

Ⅱ 内部評価（事務事業・実施計画（施策））

1. 評価者

行政自らが行います。

2. 評価対象事業

■「**実施計画（施策）評価**」は、全施策を対象に、主に5年間の間に重点的に取り組む事業を対象としています。

■「**事務事業評価**」は、評価対象年度の事業を「事業コード単位」で評価します。

- ・ただし、特別会計のうち複数の事業コードによって一つの事業目的を構成する場合は、主たる事業コードに統括して評価します。
- ・また、以下の事業は評価対象から除外します。

- ①「予備費」
- ②前年度評価の方向性が「完了」か「廃止」で予算配当額「0」の事業
- ③総務課総務係が管理する「一般管理事務費」以外の人件費

（参考）令和3年度の改善企画（Action Plan）から、経常的なものや政策的でないものについては評価対象から除外することができます。（例）基金費、繰出費、償還費、還付費 等

3. 評価方法

内部評価は次の**2**段階で行います。

■第1次評価・・・所管課等による評価

担当職員【原案】⇒担当係等の長⇒所管課等の長【1次確定】

■第2次評価・・・庁議（理事者、課等の長）による評価

4. 「事務事業（評価シート）」評価項目

（1）計画（Plan）

事業の内容や当該年度の実行内容を簡潔に記載します。

（2）実施（Do）

上記実行内容に対する達成度を確認します。

I	目標を大きく上回って達成
2	目標を上回って達成
3	ほぼ目標どおり
4	目標を下回った
5	目標を大きく下回った

（3）評価（Check）

必要性	【町民ニーズ】事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a.薄れていない b.薄れている
	【町が実施する必要性】他都市等で、民間等でサービス提供している事例はないか	a.事例はない b.事例がある
有効性	【成果】取組内容の実績に対し、事業の成果（成果指標等）は順調に上がっているのか	a.上がっている b.徐々に上がっている c.上がっていない
効率性	【民間の活用】委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか	a.余地はない b.余地はある c.既に実施済み
	【事業手法等の見直し】事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a.可能性はない b.可能性はある
	【質の向上】事業を適正な（過小でも、過大でもない）規模の人員体制・費用で行いながら、町民サービスや役場内部（職員・組織）の質の向上を図ることができる余地があるか	a.余地はない b.余地はある c.既に実施済み

（4）改善（Action）

I	現状のまま維持
II	改善しながら継続
III	事業規模拡大
IV	事業規模縮小
V	事業廃止
VI	事業終了

(参考) 事務事業評価シート

令和6年度事務事業（評価シート）

事業の概要		ブルダワン	ブルダワン	ブルダワン				ブルダワン
事業事業	事業コード	事業名			総務課	担当係	危機管理係	
	1901	交通安全対策費			①新年度事業は記載し、それ以外は「-」ハイフン			
会計区分	ブルダワン	事業開始年度	事業終了 (予定) 年度	実施計画記載の有無		有		
振替法令 (適用の法令を記載)	②補正年度などに発生費用や繰越などに記載し、繰越が「-」ハイフン			関係する計画 通知等	③事業終了(予定)年度が決定している場合は記載し、それ以外は「-」ハイフン			
予算額・ 執行額 (単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	予算 の 状 況	当初予算	3,228	3,489	3,412	4,678	4,677	
		補正予算	1,837	5	1,556	-400		
		前年度から繰越し						
		翌年度へ繰越し						
	予算等							
	計	5,063	3,494	4,968	4,278	4,677	0	
執行額	4,756	3,046	4,820	4,011				
執行率(%)	94	87.2	97.0	93.8	0.0	#DIV/0!		

計 劃 (Plan)

事業の目的	・交通事故を防止し、安全で快適な生活が過ごせるよう、警察署・伊用交通安全協会飯島町支会と連携して、交通安全啓発活動やシートベルト調査を促進するとともに施設の整備を図る。
事業の内容 (どういった内容で、どのような手段で実施しているのか)	・毎年要望される交通安全に係る施設等の改善について、状況を精査して必要度の高いものから速やかに取り組む。 ・市内の関係部署をはじめ安協・警察と連携し、交通安全の推進を図り交通事故ゼロを目指す。 ・高齢者事故防止のため、自動車急発進防止装置取付費補助金の推進を図る。
当該年度の取組内容 (実際に実施されたこと、取り組まれている具体的な活動内容の取組)	・市内の関係部署をはじめ安協や警察、交通安全対策委員会と連携したによる交通安全の推進 ・交通安全運動（年4回）の実施 ・交通安全整備事業（グリーンベルト、路肩表示、センターライン等敷設）の実施
当初計画からの変更箇所 (上記計画に記載されている内容から変更となる取組)	

實施結果 (Do)

上記「当該年度の取組内容」に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った
取組内容の実績等 （上記に掲げた取組内容に対し「数値化された実績」又は「成果の目録」を添付すること）	・ ほぼ目標どおり達成できた。 ・ 年4回の交通安全運動とシートベルト調査を実施するとともに、月2回の交通安全の日を中心に継続して注意喚起を行った。 ・ 横断旗やストップマークの設置のほか、通学路の危険箇所を中心にグリーンベルトやセンターライン等を重点的に施工した。 ・ 高齢者の事故防止と免許返納について確定申告会場等において啓発資材を配布し、注意喚起を行った。 ・ 交通安全強化と連携し交通安全人波作戦や交通指導所の開設を行い、注意喚起を行った。 ・ 所在地域町村交通安全共済は、会費加入により町民の交通安全確保を図った。 ・ 自転車用ヘルメット購入支援補助金を活用し、自転車乗車時のヘルメット着用への推進		
『有効性』との関連			

評 估 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化 (例：車、自転車等の動向や交通手段、警察活動の変化)	- 交通安全に係る機関や団体と緊密な連携を図り、交通安全対策に取り組む必要があります。 - 管内では主要幹線道路での事故や高齢者に起因する事故が問題となっています。 - 交通事故の減少に向け、引き続き安全全体で継続して取り組んでいく必要があります。	『必要性』との関連	②事業を取り巻く社会環境の変化を把握する
事業の見直し・改善内容 (過去に実施した事業を記載できる場合は記載)	『効率性』との関連	③過去5年間の事業の見直し・改善を把握することで、今年度の事業の見直しや改善内容を具体化し、努力の成果を見えていく取組が望まれると捉える	

	評価項目	評価		
必要性	【町民ニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが満たされていないか？ 【町が実施するべき性】 他都市等で、民間等でサービス提供している事例はないか？	a. 満たしていない b. 満たしている	a a	ブルダウン
有効性	【成果】 取組内容の実施に対し事業の成果（成果指標等）は顕著に上がっているか？	a. 上がっている b. 徐々に上がっている c. 上がっていない	b	
効率性	【民間の活用】 委託や指定管理や制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか？ 【事業手法等の見直し】 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか？	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み a. 可能性はある b. 可能性はない	a a	④必要性（①と関連）、有効性（②と関連）、効率性（③と関連）の観点で、現状の取組する項目との事業効果や質の向上が、継続的な事業評価の指標を行う【計画の検証として】の事業
	【質の向上】 事業を適正な（適中でも、適大でもない）規模の人員体制・費用で行いながら、町民サービスや役場内部（職員・組織）の質の向上を図ることができる余地があるか？	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	a	

改善 (Action)

	方向性区分	実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の方向性
今後の事業の方向性	I.現状のまま継続 II.改善しながら継続 III.事業規模拡大 IV.事業規模縮小 V.事業廃止 VI.事業終了	・引き続き、町全体で交通安全対策に取り組み、事故のない安全安心なまちを目指すこととします。

飯島町第6次総合計画との関係

1	政策体系	基本構想 (1層) 基本計画 (2層) 施策 (3層) プロジェクト	
2	政策体系	基本構想 (1層) 基本計画 (2層) 施策 (3層) プロジェクト	特別事項 (事項コード) に関連する政策について選択。右側は「政策体系別計画図」参照
3	政策体系	基本構想 (1層) 基本計画 (2層) 施策 (3層) プロジェクト	
4	政策体系	基本構想 (1層) 基本計画 (2層) 施策 (3層) プロジェクト	
5	政策体系	基本構想 (1層) 基本計画 (2層) 施策 (3層) プロジェクト	
6	政策体系	基本構想 (1層) 基本計画 (2層) 施策 (3層) プロジェクト	
7	政策体系	基本構想 (1層) 基本計画 (2層) 施策 (3層) プロジェクト	
8	政策体系	基本構想 (1層) 基本計画 (2層) 施策 (3層) プロジェクト	
9	政策体系	基本構想 (1層) 基本計画 (2層) 施策 (3層) プロジェクト	
10	政策体系	基本構想 (1層) 基本計画 (2層) 施策 (3層) プロジェクト	

5. 「実施計画（施策）評価シート」評価項目

（1）成果指標状況と成果の分析

- ①成果指標は、総合計画・実施計画等に位置づけした指標について、その実績を記載します。
- ②定性的な成果は、取組を進めたことで発現した数値では測れない効果などについて記載します。

（2）施策の進捗状況

指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価します。

A	順調に推移している（目標達成している）
B	一定の進捗がある（目標達成に向けて進捗している）
C	進捗は遅れている（目標達成が遅れている可能性がある）
D	進捗は大幅に遅れている（目標達成が難しい可能性がある）

（3）今後の方向性

事業構成の手段は妥当かを判断します。

I	効果的な事業構成である（現状のまま継続する）
II	概ね効果的な構成である（一部見直し等の余地がある）
III	あまり効果的な事業構成でない（見直し等の余地が大きい）
IV	事業構成に問題がある（抜本的な見直し等が必要である）

（参考）外部評価 実施予定時期：令和7年8月25日（月）

町民目線・専門的視点で、効率的・効果的に施策を推進するために、**実施計画（施策）評価**について外部評価を実施します。

1. 評価者

第三者機関による評価として、基本構想審議会の委員が行います。

2. 評価対象

飯島町第6次総合計画に基づく8つの基本目標ごとに評価する施策を1施策（事業）選定し、評価を行います。

3. 評価方法

選定された評価対象施策について部会ごとヒアリング等を実施し、審議します。各部会の審議結果を全体会で確認し、評価を確定します。

4. 外部評価の全体イメージ



(参考) 実施計画(施策)評価シート

令和6年度実施計画(施策評価シート)

1 施策の概要					
政策体系上の位置づけ	基本構想(1層)	1.住民と行政の創合力による安全で安心なまちづくり			
	基本計画(2層)	1-(1)災害に備えた防災体制の充実			
	施策(3層)	1-(1)-1 災害時情報発信の多元化			
	プロジェクト	ブルダウン			
担当課	総務課	担当係	危機管理係	行財政改革プラン記載の有無	無
関係課	総務課				
施策の主な課題	・防災行政無線(音声情報)に依存しており、必要な情報が行き届かない場合がある。 ・多元化を進めるにあたっては、多額の費用が必要となる。				
施策の方向性	南海トラフ巨大地震などの震災や豪雨災害など、万一の災害に備え、防災体制や施設の整備・充実を図ります。 ・防災行政無線を補完する災害時情報発信の多元化(一元配信システム)を推進 ・併せて、防災行政無線の適切な維持管理使用及びCEK音声告知端末の普及を推進				

①基礎情報

①実施計画に記載している「主な課題」「施策の方向性」を記載

2 成果指標状況と成果の分析										
総合計画・実施計画等に位置づけした指標名(指標の説明)			目標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	
1	指標の説明	CEK音声告知端末の加入件数(延数)	目標値a	2,250	2,260	2,270	2,280	2,290	件	
			実績値b	2,248	2,214	2,201	2,796			
	指標の説明	防災無線と連動するCEK音声告知端末の加入件数	達成率(b/a)	99.9	98.0	97.0	122.6	0.0	%	
2	指標の説明	避難所を知っている人の割合	目標値a	60.5	—	—	80.5	—	%	
			実績値b	55.5	—	—	80.5	—		
	指標の説明	町民アンケート(無作為抽出3,000人)の避難所の確認を行っている人の割合	達成率(b/a)	91.7	#VALUE!	#VALUE!	100.00	#VALUE!	%	
			目標値a							
3	指標の説明	※「成果指標」とは、「何をしたら(結果)ではなく、その結果どうなったか」を具体的な目標となる項目と、達成されるべき水準によりわかりやすく示し、取組みの成果を把握していくための指標です。	目標値a						0!	
			実績値b							
	指標の説明		達成率(b/a)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		

②業績指標

②目標値と実績値が「1」ハイフンとなっている指標は、その時点で数値を把握できないもの(複数年に1回行っている調査など)

③数値では把握できない定性的な成果を記載

④成果指標の成果分析を記載

定性的な成果 (取組を進めたことで実現した数値で測れない効果などについて記載)	(例) 1-(1)-3 避難所の感染症対策と備蓄品の充実 ●防災に特化したタブロイド紙の町内全戸を対象とした配布等により、各家庭で防災意識及び知識が高まりました。 ●各地区の防災訓練や備蓄物資の適正な配置、備蓄倉庫の環境整備などを通じて、町職員や地域住民と連携した取組を推進したことで、地域連携の充実につながりました。
指標等の成果分析 (指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載)	(例) 1-(1)-1 災害時情報発信の多元化 ●実施した訓練や防災啓発等の取組によって、町民の防災意識が高まり避難所を知っている人の割合が増加しました。

3 施策を構成する主な事務事業の評価					
番号	事業コード	事業名	事務事業の概要(簡潔に記載)	主な取組実績	事業費(千円)
1	1861	防災対策費	●防災訓練の実施と充実●指定避難所の備蓄品等の充実●町総合ハザードマップ等による防災情報の発信●自助と共助を軸とした防災意識の高揚●防災士の育成支援	●新たに飯島町災害対策本部運営訓練を実施し、実際に起こりうる事象への対応を協議する訓練を行うことで、有事の際の対応を確認●指定避難所の非常用電源未配備施設に非常用蓄電池を2基追加設置●非常用食料と備蓄水の計画的な更新●町総合ハザードマップを更新し、新たに一級河川の浸水エリアについて情報を提供	年度 予算額 決算額
					R 3 25,292 24,172
					R 4 16,837 16,506
					R 5 64,721 63,548
					R 6 11,156 10,748
					R 7 44,018
2			⑤事務事業評価シートの「計画Plan」「事業の内容」を記載	⑥事務事業評価シートの「実績結果(Do)」記載	R 3
					R 4
					R 5
					R 6
					R 7
					R 3
					R 4
3			③事業所管課等による点検内容		R 5
					R 6
					R 7
					R 3
					R 4
					R 5
					R 6

⑦予算額(最終現計予算額)、決算額を記載

4 施策の進捗状況			
施策の進捗状況(指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価)	区分	進捗区分	進捗状況区分を選択した理由
A. 順調に推移している(目標達成している) B. 一定の進捗がある(目標達成に向けて進捗している) C. 進捗は遅れている(目標達成が遅れる可能性がある) D. 進捗は大幅に遅れている(目標達成が難しい可能性がある)	ブルダウン	B	●災害時情報発信の多元化を進めることにより、災害時等に必要な情報発信の基盤強化や、町公式ラインとの連携による、さらなる災害時等に必要な情報発信の強化を図ることができたため。

⑧「4 施策の進捗状況」は、成果指標等の成果を中心に、施策を構成している事務事業の評価(達成率)等から、総合的に判断した、施策の進捗状況を記載

5 今後の方向性			
今後の事業構成の妥当性(手段は妥当か)	区分	進捗区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
I. 効果的な事業構成である(現状のまま継続する) II. 概ね効果的な事業構成である(一部見直し等の余地がある) III. あまり効果的な事業構成でない(見直し等の余地が大きい) IV. 事業構成に問題がある(抜本的な見直し等が必要である)	ブルダウン	II	●一部見直し等の余地があるものの概ね効果的な構成であるため。

⑨「5 今後の方向性」は、施策の成果等を見ながら、上記、事業構成を確認し、次期計画等に向けて、事業の見直し等を行う必要があるが確認し、それらを踏まえた今後の方向性を記載

6 外部評価の所見	
④飯島町基本構想審議会の所見	

⑩「6 外部評価の所見」は、毎年、飯島町基本構想審議会の中で、外部評価を実施

7 所見を踏まえた改善点	
⑤所見を踏まえた改善内容	

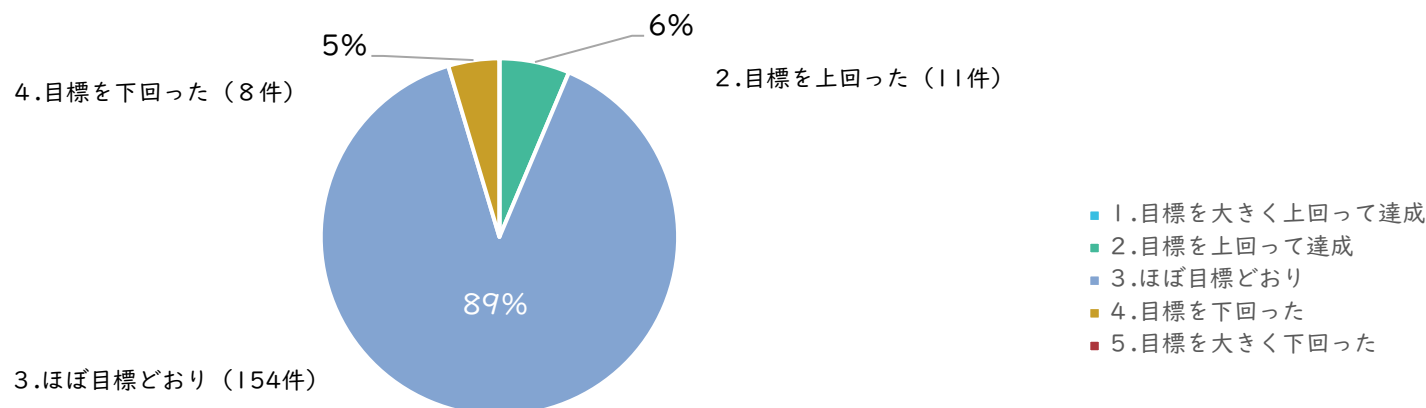
⑪次期、実施計画等につなげる

Ⅲ 事務事業の達成状況

- (1) 飯島町第6次総合計画における施策の配下に位置付けた事務事業等について、令和6年度の評価を行った結果、「1.目標を大きく上回って達成」した事務事業が0件、「2.目標を上回って達成」した事務事業が11件（6.4%）、「3.ほぼ目標どおり」の事務事業が154件（89.0%）、「4.目標を下回った」事務事業が8件（4.6%）、「5.目標を大きく下回った」事務事業はありませんでした。
- (2) 「1.目標を大きく上回って達成」した事務事業、「2.目標を上回って達成」した事務事業、「3.ほぼ目標どおり」の事務事業を合わせた割合は95.4%（令和5年度：98.8%、令和4年度：94.2%、令和3年度：93.7%）で全体として順調に進捗しています。
- (3) 「4.目標を下回った」事務事業としては、計画に掲げたイベントや研修会への参加者数等の数値目標を達成できなかったものや、関係者等との調整に時間を要したことから整備に遅れが生じたものなどがありました。

＜事務事業の基本目標別 達成状況区分の内訳＞		基本 目標1	基本 目標2	基本 目標3	基本 目標4	基本 目標5	基本 目標6	基本 目標7	基本 目標8	区分 合計	割合
達成状況区分	該当例	総務	住民 税務	健康 福祉	産業 振興	建設 水道	地域 創造	教育	企画政 策・会 計・議会 事務		
1.目標を大きく上回って達成	●目標に明記した内容よりも相当高い水準であった。●目標に明記した数値を大きく上回った。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
2.目標を上回って達成	●目標に明記した期日どおり達成し、明記した内容よりも高い水準であった。●目標に明記した数値を上回った。	0	0	3	5	1	0	2	0	11	6.4%
3.ほぼ目標どおり	●目標に明記した期日、内容どおりに達成した。●目標に明記した数値とほぼ同じであった。●おおむね適正に処理し業務遂行に支障がなかった。	16	13	30	23	19	12	32	9	154	89.0%
4.目標を下回った	●目標に明記した期日どおりであったが、明記した内容に満たない水準であった。●目標に明記した数値を下回った。●所定の期日に間に合わないなど、業務を適正に処理できなかった。	0	0	0	3	2	2	0	1	8	4.6%
5.目標を大きく下回った	●目標に明記した期日より遅れ、明記した内容に満たない水準であった。●目標に明記した数値を大きく下回った。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計		16	13	33	31	22	14	34	10	173	100.0%

＜事務事業の基本目標別 達成状況区分件数・構成比＞

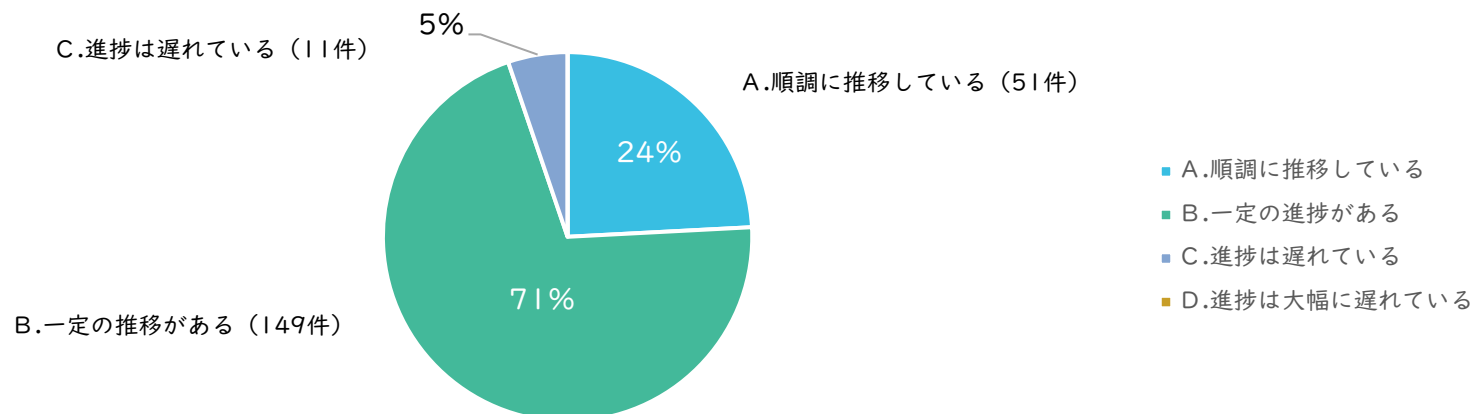


Ⅳ 実施計画（施策）の進捗状況

- (1) 飯島町第6次総合計画における施策について、令和6年度の評価を行った結果、「A.順調に推移している」施策が51件（24.2%）、「B.一定の進捗がある」施策が149件（70.6%）、「C.進捗は遅れている」施策が11件（5.2%）あり、「D.進捗は大幅に遅れている」施策はありませんでした。
- (2) 成果指標の多くが目標を達成している「A.順調に推移している」施策と、目標未達成のものがあるが一定の進捗があった「B.一定の進捗がある」施策を合わせた割合が94.8%（令和5年度：94.8%、令和4年度：91.2%、令和3年度：91.1%）であることから、飯島町第6次総合計画の目標に向かって、概ね順調に進捗しているものと考えます。
- (3) 「C.進捗は遅れている」施策としては、行事や研修会等の施策に設定した成果指標が下回ったものや、配下の事務事業のうち複数の事業に遅れが見られたものなどがありました。

＜施策の基本目標別 進捗状況区分の内訳＞		基本 目標1	基本 目標2	基本 目標3	基本 目標4	基本 目標5	基本 目標6	基本 目標7	基本 目標8	プロジェクト (分野横断的な取組)		区分 合計	割合
進捗状況区分	該当例	総務	住民 税務	健康 福祉	産業 振興	建設 水道	地域 創造	教育	企画政策・ 会計・議会 事務	飯島ルネサ ンス「環境循環 ライフ構想」	人口増		
A.順調に推移している (目標達成している)	●施策に設定した成果指標の多くが目標値に達しており、配下の事務事業が順調に進捗している施策	6	2	14	9	5	7	1	7	—	—	51	24.2%
B.一定の進捗がある (目標達成に向けて進捗している)	●施策に設定した成果指標の多くが策定時から目標値に向かって進捗しており、配下の事務事業が概ね順調に進捗している施策	23	12	12	38	16	17	17	12	1	1	149	70.6%
C.進捗は遅れている (目標達成が遅れている可能性がある)	●施策に設定した成果指標のうち、策定時を下回る指標が多い施策や、配下の事務事業のうち複数の事業が遅れている施策	0	0	1	1	2	5	1	1	—	—	11	5.2%
D.進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	●施策に設定した成果指標のうち、策定時を大幅に下回る指標が多い施策や、配下の事務事業のうち複数の事業が大幅に遅れている施策	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	0.0%
合計		29	14	27	48	23	29	19	20	1	1	211	100.0%

＜施策の基本目標別 進捗状況区分件数・構成比＞



V 事務事業・実施計画（施策）評価総括表

■「事務事業（評価シート）」評価項目

（１）計画（Plan）

事業の内容や当該年度の取組内容を簡潔に記載します。

（２）実施（Do）

上記取組内容に対する
達成度を確認します。

1	目標を大きく上回って達成
2	目標を上回って達成
3	ほぼ目標どおり
4	目標を下回った
5	目標を大きく下回った

（３）評価（Check）

必要性	【町民ニーズ】事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a.薄れていない b.薄れている
	【町が実施する必要性】他都市等で、民間等でサービス提供している事例はないか	a.事例はない b.事例がある
有効性	【成果】取組内容の実績に対し、事業の成果（成果指標等）は順調に上がっているのか	a.上がっている b.徐々に上がっている c.上がっていない
効率性	【民間の活用】委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか	a.余地はない b.余地はある c.既に実施済み
	【事業手法等の見直し】事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a.可能性はない b.可能性はある
	【質の向上】事業を適正な（過小でも、過大でもない）規模の人員体制・費用で行いながら、町民サービスや役場内部（職員・組織）の質の向上を図ることができる余地があるか	a.余地はない b.余地はある c.既に実施済み

（４）改善（Action）

I	現状のまま維持
II	改善しながら継続
III	事業規模拡大
IV	事業規模縮小
V	事業廃止
VI	事業終了

■「実施計画（施策）評価シート」評価項目

（１）成果指標状況と成果の分析

- ①成果指標は、総合計画・実施計画等に位置づけした指標について、その実績を記載します。
- ②定性的な成果は、取組を進めたことで発現した数値では測れない効果などについて記載します。

（２）施策の進捗状況

指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価します。

A	順調に推移している（目標達成している）
B	一定の進捗がある（目標達成に向けて進捗している）
C	進捗は遅れている（目標達成が遅れている可能性がある）
D	進捗は大幅に遅れている（目標達成が難しい可能性がある）

（３）今後の方向性

事業構成の手段は妥当かを判断します。

I	効果的な事業構成である（現状のまま継続する）
II	概ね効果的な構成である（一部見直し等の余地がある）
III	あまり効果的な事業構成でない（見直し等の余地が大きい）
IV	事業構成に問題がある（抜本的な見直し等が必要である）

行政評価書の見方について

①基本情報

- 事業コード
- 事業名称
- 事業費（前年度、当該年度）
（予算額は最終予算現計額）

②事務事業評価

- 達成度（前年度、当該年度）
「—」前年度の評価なし
- PDCA（改善：前年度、当該年度）
「—」前年度の評価なし

① 基本情報					② 事務事業評価									
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）		達成 度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)	
					主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性	有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性		
		町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例						民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上			
							令和5年度						令和5年度	
							令和6年度							令和6年度
1111	一般管理費	15,838	13,932	3	●行財政改革に併せた職員提案の実施 ●健康診断結果が要精密検査であった職員へ精密検査受診の周知		a	a	b	a	a	a	I	
				3			I							

③実施計画（施策）評価

- 第6次総合計画体系上の位置付け
- プロジェクトとの関連性
「—」関連性なし
●飯島ルネサンス
「環境循環ライフ構想プロジェクト」
●人口増プロジェクト
- 施策（3層）
- 進捗状況（前年度・当該年度）
「—」前年度の評価なし
- 今後の方向性（前年度・当該年度）
「—」前年度の評価なし

「事務事業」と関連する「施策」を連動

第6次総合計画政策体系上の位置付け													進捗状況		今後の方向性	
③	施策（3層）				成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	当該年度		令和5年度								
	1層	2層	3層	プロジェクト		目標値	実績値	令和6年度								
	基本目標1	1	7	1	—	接客ホスピタリティの醸成	長野県市町村職員研修センターの実施する接客力向上研修への参加職員（年）	2人	2人	A	II					
									A	II						
1		7	4	—	広域連携による業務効率化の研究	●広域連携による業務の効率化についての提案はありませんでしたが、事務事業に係る効率化についての提案が2件ありました。 ①公用車を総務課で一括管理（令和8年4月から実施予定）②広報配布の効率化とDX推進（検討中）	—	—	C	II						
									B	II						

【総務課】事務事業・実施計画（施策）評価

■達成状況・・・（－）当該年度の評価なし ■事業終了・・・国や県の事業も含む

	事業コード・事業名称		実施計画と 連動なし （●）	達成状況 1.目標を大きく上回って達成 2.目標を上回って達成 3.ほぼ目標どおり 4.目標を下回った 5.目標を大きく下回った					頁
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
総 務 課	1110	一般管理事務費		2	3	3	3		13
	1111	一般管理費		2	3	3	3		14
	1121	文書費		3	3	3	3		15
	1122	広報広聴費		4	4	3	3		16
	1152	役場庁舎管理費		3	3	3	3		17
	1153	車両管理費		3	3	3	3		18
	1156	西庁舎管理費		3	3	3	3		19
	1167	情報機器管理費		1	4	2	3		20
	1193	循環バス運行事業		3	3	3	3		22
	1194	飯島駅管理費		3	3	3	3		23
	1801	交通安全対策費	●	3	3	3	3		24
	1831	防犯対策費	●	2	3	3	3		25
	1861	防災対策費		3	3	3	3		26
	4921	非常備消防費		2	3	3	3		30
	4931	消防施設費		3	3	3	3		32
	4941	水防費		3	3	3	3		33

基本 目標

< 総務 >

住民と行政の創合力による 安全で安心なまちづくり

《基本的方向》

ふたつのアルプスに守られた豊かな自然環境の中で、将来にわたって住民みんなが安全で安心して暮らしていけるまちを目指します。万一の災害に十分な備えを進めると共に、暮らしを支える公共交通機関の確保や役場機能の効率化を進めていきます。

※施策の進捗状況

A 順調に推移している B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている

■進捗状況・・・（－）当該年度の評価なし

政策Ⅰ－（１） 災害に備えた防 災体制の充実	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和４年度	令和５年度	令和６年度
	① 災害時情報発信の多元化	いいちゃんメール登録者数	B	B	B
	② 防災行政無線放送の難聴解消	CEK音声告知端末の加入件数	B	A	B
	③ 避難所の感染症対策と備蓄品の充実	災害用非常食の備蓄数	B	B	B
	④ 防災関連機器・設備の適正な管理と計画的な更新	定性的な成果	A	A	B
	⑤ 外国人、観光客など要配慮者への防災対策の対応	町ホームページにおける防災ページの閲覧件数	C	C	B
	⑥ 指定緊急避難場所・指定避難所への非常用電源設置推進	指定緊急避難場所・指定避難所への非常用電源設置率（屋内）	A	A	B
政策Ⅰ－（２） 住民主体の防災力 アップ	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和４年度	令和５年度	令和６年度
	① 自主防災会等における防災・減災活動の推進	自主防災会での防災講座の開催回数（延数）	C	B	B
	② 自主防災組織の担い手づくり・防災士資格取得の推進	長野県自主防災リーダー研修会参加者数	A	B	B
	③ 地区防災マップや地区防災計画等の整備	住民支え合いマップ等を作成した自主防災会の数（延数）	B	B	B
政策Ⅰ－（３） 新たな時代の消防 団づくり	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和４年度	令和５年度	令和６年度
	① 自主防災会との連携（顔の見える関係づくり）	消防団と自主防災会との防災訓練等の回数（年）	C	B	B
	② 自然災害への対応体制の強化	大規模林野火災防衛訓練または救急救助訓練の実施回（年）	A	B	B
	③ 消防団の機構改革に向けた研究	定性的な成果	B	B	B
	④ 消防団事業の改善に向けた研究	定性的な成果	A	B	B
	⑤ 団員確保に向けた取り組みと研究	消防団員数（定数対実人数）	B	B	B

※施策の進捗状況

A 順調に推移している B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている

■進捗状況・・・（－）当該年度の評価なし

政策Ⅰ－（４） 先端技術を活用した 未来のサービス づくり	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和４年度	令和５年度	令和６年度
	① 行政文書のペーパーレス化の推進	複合機の印刷枚数	C	C	B
	② 行政手続のデジタル化の推進	電子申請・届出システムに対応した様式数（延数）	A	A	A
	③ AI・RPA等のICT活用による事務効率化の推進	新規システム導入及び既存システム更新件数（延数）	C	A	A
政策Ⅰ－（５） 効果的で速やかな 情報発信	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和４年度	令和５年度	令和６年度
	① 住民が必要とする情報の把握と研究	飯島町公式ホームページへのアクセス件数（年）	A	A	B
	② 様々なツールを活用した町の魅力発信	研修へ参加をした正規職員の割合	C	C	B
	③ 行政情報のデジタル化の推進	国又は県が使用・提供する情報システムの導入件数（延数）	A	A	A
政策Ⅰ－（６） 安心して暮らせる 地域公共交通の確保	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和４年度	令和５年度	令和６年度
	① より利用しやすい地域循環バス運行形態の研究	地域循環バス年間利用者数（年）	B	B	B
	② 通勤通学等の電車利用者の利便性の確保	定性的な成果	A	A	B
政策Ⅰ－（７） 未来を担う職員の 育成と役場機能の 効率化	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和４年度	令和５年度	令和６年度
	① 接客ホスピタリティーの醸成	長野県市町村職員研修センターの実施する接客力向上研修への参加職員（年）	A	A	A
	② 国、県、他市町村や企業との職員交流の実施	国、県への研修派遣職員数（延数）	A	A	A
	③ 各種研修や職員提案制度等の実施による、職員の企画、立案、実行力の向上	長野県市町村職員研修センターの実施する政策形成力向上研修への参加職員（年）	A	A	B
	④ 広域連携による業務効率化の研究	定性的な成果	C	C	B
	⑤ AIやRPA等を活用したスマート事務システムの研究	定性的な成果	B	A	A
	⑥ 定員管理計画に沿った職員数管理	定性的な成果	B	B	B
	⑦ 有事の際に業務が継続できる施設整備や空間デザインの研究	定性的な成果	A	A	B

基本情報				事務事業評価														
				達成度	計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)					改善 (Action)				
事業コード	事業名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要性		有効性	効率性			今後の方向性					
		予算額	決算額							民間活用	手法見直し	質の向上						
							令和５年度							町民ニーズ	民間での事例		令和５年度	
							令和６年度										令和６年度	
1110	一般管理事務費	335,338	335,099	3	●定員管理計画に沿った職員採用の実施●年休取得日数の増加に向け、連休の間の出勤日に年休取得を呼び掛け	●退職者数と同数の新規職員を採用●保育士採用を経験者枠で実施したことで、中堅保育士の不足を解消●年休取得日数に一定の成果がみられました。(平均取得日数10.4日⇒9.9日、５日以上取得した職員数78名⇒88名)	b	a	b	a	b	a	I					
		337,636	336,730	3									I					

実施計画（施策）評価												
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3 層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性			
基本目標Ⅰ	Ⅰ 層	2 層	3 層	プロジェクト			当該年度		令和 5 年度			
							目標値	実績値	令和 6 年度			
基本目標Ⅰ	Ⅰ	7	6	—	定員管理計画に沿った職員管理	●定員管理計画に沿った職員定数の管理に努めたことにより、退職者数と同数の新規職員を採用することができました。	—	—	—	—	B	Ⅱ
											B	Ⅱ

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要性		有 効 性	効率性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度							
1111	一般管理費	15,838	13,932	3	●行財政改革に併せた職員提案の実施●健康診断結果が要精密検査であった職員へ精密検査受診の周知	●行財政改革に併せた職員提案制度の実施により、職員の企画立案や業務改善を考える力の向上につながった。●要精密検査であった職員へ、精密検査の受診を個別に通知することで、検査受診率の向上に努めた。	a	a	b	a	a	a	I
		14,886	13,128	3			I						

実施計画（施策）評価											
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性		
基本目標Ⅰ	Ⅰ層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度		
							目標値	実績値	令和6年度		
基本目標Ⅰ	Ⅰ	7	Ⅰ	—	接客ホスピタリティーの醸成	長野県市町村職員研修センターの実施する接遇力向上研修への参加職員（年）	2人	2人	A	Ⅱ	
	Ⅰ	7	2	—	国、県、他市町村や企業との職員交流の実施	国、県への研修派遣職員数（延数）	4人	5人	A	Ⅱ	
									A	Ⅰ	
	Ⅰ	7	3	—	各種研修や職員提案制度等の実施による、職員の企画、立案、実行力の向上	長野県市町村職員研修センターの実施する政策形成力向上研修への参加職員（年）	2人	Ⅰ人	A	Ⅱ	
									B	Ⅱ	
	Ⅰ	7	4	—	広域連携による業務効率化の研究	●広域連携による業務の効率化についての提案はありませんでしたが、事務事業に係る効率化についての提案が2件ありました。	—	—	C	Ⅱ	
B									Ⅱ		
Ⅰ	7	5	—	AⅠやRPA等を活用したスマート事務システムの研究	●令和5年度から文書システムの導入について検討を進めてきたことにより、令和7年度から運用する方向で具体的な取り組みができました。	—	—	—	—		
								A	Ⅱ		
									A	Ⅱ	

基本情報				事務事業評価										
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)	
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性	
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上		
		令和５年度								令和５年度				
		令和６年度								令和６年度				
1121	文書費	9,476	9,414	3	●ＤＸを阻むアナログ規制について検討	●例規等に現在定められている、アナログ的な規定を洗い出すことができた。	a	a	b	c	a	c	I	
		23,582	23,105	3									I	

実施計画（施策）評価											
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性		
基本目標Ⅰ	Ⅰ層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度		
							目標値	実績値	令和6年度		
基本目標Ⅰ	Ⅰ	5	3	—	行政情報のデジタル化の推進	国又は県が使用・提供する情報システムの導入件数（延数）	Ⅰ 件	Ⅰ 件	A	I	
									A	Ⅱ	

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和５年度		令和６年度		令和５年度		令和６年度							
1152	役場庁舎 管理費	40,007	38,488	3	●適正な施設修繕の実施●役場機能 の効率化を図る。	●適正な修繕や改修による環境整備 の実施●冷暖房設備冷却塔修繕 （2,695千円）●エレベーター機器 修繕（897千円）	a	a	b	b	b	b	I
		48,346	47,302	3									I

実施計画（施策）評価													
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3 層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性				
基本目標Ⅰ	Ⅰ 層	2 層	3 層	プロジェクト			当該年度						
							目標値		実績値		令和 6 年度		
	Ⅰ	7	7	—	有事の際に業務が継続できる施設整備や空間デザインの研究	●オープンスペースを設け、WEB研修や自席以外で勤務が可能となる場所を確保しました。		—	—	—	—	A	Ⅱ
												B	Ⅱ

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業コード	事業名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要性		有効性	効率性			今後の方向性
		予算額	決算額				町民ニーズ	民間での事例		民間活用	手法見直し	質の向上	
令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度							
1153	車両管理費	9,176	8,505	3	●安全、環境に配慮した車両の更新	●公用車の更新、購入については、安全運転サポート機能搭載車、排出ガス規制適合車など最低限の基準に合ったものを整備（購入1台、リース3台）	a	a	b	b	b	b	I
		9,605	9,066	3			I						

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標Ⅰ	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
					施策との関連性なし					

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
		令和 5 年度											
1156	西庁舎管理費	2,738	2,575	3	●適正な施設修繕の実施●役場機能の効率化を図る。	●適正な修繕や改修による環境整備の実施●照明器具改修（44千円） ●誘導灯非常電源改修（37千円）	a	a	b	b	b	b	I
		3,045	2,862	3									I

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標Ⅰ	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
					施策との関連性なし					

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	当該年度		進捗状況	今後の方向性
	Ⅰ層	2層	3層	プロジェクト					令和5年度	
									目標値	実績値
基本目標Ⅰ	Ⅰ	4	Ⅰ	—	行政文書のペーパーレス化の推進	複合機の印刷枚数 ●県や国とのやり取りは電子メールや通知システム等でほぼ電子化されたものの、庁内では最終的な保存として従来の紙のままであり、電子データで来たものを紙で印刷するため印刷枚数は減っていません。●庁内回覧文書も紙ベースでの事務処理となっているため、目標達成のためには事務改善が必要となります。	1,700 千面	2,412 千面	C	I
									B	Ⅱ
	Ⅰ	4	2	—	行政手続のデジタル化の推進	電子申請・届出システムに対応した様式数（延数） ●マイナポータルぴったりサービス利用件数28件●ながの電子申請の登録件数16件	31 件	44 件	A	I
									A	Ⅱ
	Ⅰ	4	3	—	AI・RPA等のICT活用による事務効率化の推進	新規システム導入及び既存システム更新件数（延数）	4 件	10 件	A	I
									A	I
	Ⅰ	5	Ⅰ	—	住民が必要とする情報の把握と研究	飯島町公式ホームページへのアクセス件数（年） ●アクセス解析ツールの仕様変更	120,000 件	374,565 件	A	Ⅱ
									B	Ⅱ
	Ⅰ	5	3	—	行政情報のデジタル化の推進	国又は県が使用・提供する情報システムの導入件数（延数）	1 件	1 件	A	I
									A	Ⅱ

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業コード	事業名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要性		有効性	効率性			今後の方向性
		予算額	決算額				町民ニーズ	民間での事例		民間活用	手法見直し	質の向上	
													令和５年度
1194	飯島駅管理費	3,864	3,585	3	●駅員を配置し乗車券販売業務・駅舎管理●ＪＲ七久保駅（無人駅）に防災トイレ設置事業（新しい地方経済・生活環境創生交付金【地域防災緊急整備型】）	●乗車券販売業務（参考） 令和６年度前年比：１０６％ 令和５年度前年比：１０６％ ●ＪＲ七久保駅（無人駅）に防災トイレ設置事業（23,138千円）（令和６年度地方繰越）	a	a	b	b	b	b	I
		3,889	3,666	3									I

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標Ⅰ	Ⅰ層	2層	3層	プロジェクト			当該年度			
							目標値		実績値	
基本目標Ⅰ	Ⅰ	6	2	—	通勤通学等の電車利用者の利便性の確保	●新しい地方経済・生活環境創生交付金【地域防災緊急整備型】実施計画に基づき、KPI（アウトプット指標）を設定し、令和7年度末から指標等の成果分析を行います。①JR七久保駅防災トイレの水道使用量②JR七久保駅防災トイレ利用者の満足度	—	—	—	—
									B	Ⅱ

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度							
1801	交通安全 対策費	4,968	4,820	3	●庁内の関係部署をはじめ安協や警察、交通安全対策委員会と連携したによる交通安全の推進●交通安全運動（年4回）の実施●交通安全整備事業（グリーンベルト、路面表示、センターライン等敷設）の実施	●年4回の交通安全運動とシートベルト調査を実施するとともに、月2回の交通安全の日を中心に継続して注意喚起●横断旗やストップマークの設置のほか、通学路の危険箇所を中心にグリーンベルトやセンターライン等を重点的に施工の実施●高齢者の事故防止と免許返納について、確定申告会場等において啓発資材を配布し、注意喚起●交通安全強化と連携し、交通安全人波作戦や交通指導所の開設を行い注意喚起●南信地域町村交通災害共済は、全町民・公費一括加入により町民の交通安全確保●自転車用ヘルメット購入支援補助金を運用し、自転車乗車時のヘルメット着用を推進	a	a	b	a	a	a	I
		4,278	4,011	3									I

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況	今後の方向性		
基本目標Ⅰ	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
					施策との関連性なし					

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和５年度		令和５年度											
令和６年度		令和６年度											
1831	防犯対策費	2,242	1,770	2	●防犯の出前講座を実施するなど、啓発活動・意識づけ●上部団体である伊南防犯連合会の活動や、防犯女性部飯島●七久保支部と連携した防犯活動●防犯灯設置等事業補助金を運用した防犯灯の充実●電話でお金詐欺被害防止対策事業補助金を運用した特殊詐欺の対策●広報等による特殊詐欺の啓発	●全国的に特殊詐欺の被害等が心配される中、防犯の出前講座を実施するなど、啓発活動・意識づけを実施●上部団体である伊南防犯連合会の活動や、防犯女性部飯島・七久保支部と連携した防犯活動の展開●防犯灯設置等事業補助金を運用し、防犯灯の充実、修繕の支援●電話でお金詐欺被害防止対策事業補助金を運用し、特殊詐欺の対策強化	a	a	b	a	a	a	I
		2,252	1,666	3									I

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標Ⅰ	Ⅰ層	Ⅱ層	Ⅲ層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標Ⅰ					施策との関連性なし					

実施計画（施策）評価											
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性		
基本目標Ⅰ	Ⅰ層	Ⅱ層	Ⅲ層	プロジェクト			当該年度		令和5年度		
							目標値	実績値	令和6年度		
	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	—	災害時情報発信の多元化	CEK音声告知端末の加入件数（延数） （防災無線と連動するCEK音声告知端末の加入件数） ●防災行政無線の拡充にはコストがかかるため、他の情報発信によって補う必要がある。	2,280 件	2,796 件	B	Ⅱ	
						いいちゃんメール登録者数（延数）	760 人	849 人	B	Ⅱ	
	Ⅰ	Ⅰ	2	—	防災行政無線放送の難聴解消	【再掲】 CEK音声告知端末の加入件数（延数） （防災無線と連動するCEK音声告知端末の加入件数） ●防災行政無線の拡充にはコストがかかるため、他の情報発信によって補う必要がある。	2,280 件	2,796 件	A	Ⅱ	
						【再掲】 いいちゃんメール登録者数（延数）	760 人	849 人	B	Ⅱ	
	Ⅰ	Ⅰ	3	—	避難所の感染症対策と備蓄品の充実	災害用飲料水の備蓄数（Ⅰ箱Ⅱリットル） （「飯島町地域防災計画」に基づき想定される災害用飲料水の備蓄数）	250 箱	220 箱	B	I	
						災害用非常食の備蓄数 （「飯島町地域防災計画」に基づき想定される災害用飲料水の備蓄数） ●避難所の備蓄品の充実として、自主防災組織施設整備事業補助金を運用し、自主防災組織が行う備蓄品等の拡充を支援しました。	3,000 食	3,000 食	B	Ⅱ	

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
1層	2層	3層	プロジェクト	当該年度			令和5年度			
				目標値			実績値	令和6年度		
基本目標Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	4	—	防災関連機器・設備の適正な管理と計画的な更新	●専門業者による機器の点検整備を徹底したことにより、防災無線等の適正な管理につなげることができました。	—	—	A	Ⅱ
									B	Ⅱ
	Ⅰ	Ⅰ	5	—	外国人、観光客など要配慮者への防災対策の対応	町ホームページにおける防災ページの閲覧件数（延数） ●外国人、観光客などの実態把握が難しい点が課題となります。	1,950 件	6,016 件	C	Ⅱ
									B	Ⅱ
	Ⅰ	Ⅰ	6	—	指定緊急避難場所・指定避難所への非常用電源設置推進	指定緊急避難場所・指定避難所への非常用電源設置率（屋内） （指定緊急避難場所・指定避難所（63箇所）／非常用電源設置設置済（53箇所）） ●指定避難所の非常用電源未配備施設に非常用蓄電器を2基追加設置しました。	93.7 %	100 %	A	I
									B	Ⅱ

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	当該年度		進捗状況	今後の方向性
基本目標Ⅰ	Ⅰ層	2層	3層	プロジェクト			目標値	実績値	令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標Ⅰ	Ⅰ	2	Ⅰ	—	自主防災会等における防災・減災活動の推進	自主防災会での防災講座の開催回数（延数） ●自主防災会の代表者は、毎年変わることが多いため、防災体制の引継ぎが課題となります。	40回	18回	B	Ⅱ
						自主防災組織施設整備事業補助金の申請件数	4件	7件	B	Ⅱ
	Ⅰ	2	2	—	自主防災組織の担い手づくり・防災士資格取得の推進	防災士資格取得支援補助金の申請及び資格取得者数 ●現役世代が高齢化したことなどにより防災士の成り手が不足しています。	1人	6人	B	Ⅰ
						長野県自主防災リーダー研修会参加者数	5人	0人	B	Ⅱ
	Ⅰ	2	3	—	地区防災マップや地区防災計画等の整備	住民支え合いマップ等を作成した自主防災会の数	23件	22件	B	Ⅱ
						自主防災会独自計画策定等支援件数	5件	0件	B	Ⅱ

実施計画（施策）評価											
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性		
	Ⅰ層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度		
							目標値	実績値	令和6年度		
基本目標Ⅰ	Ⅰ	3	Ⅰ	—	自主防災会との連携（顔の見える関係づくり）	消防団と自主防災会との防災訓練等の回数（年）	Ⅰ回	Ⅰ回	B	Ⅱ	
									B	Ⅱ	
	Ⅰ	3	2	—	自然災害への対応体制の強化	大規模林野火災防御訓練または救急救助訓練の実施回数（年）	Ⅰ回	0回	B	Ⅱ	
						出水期に備えた水防訓練の実施回数（年）	Ⅰ回	Ⅰ回	B	Ⅱ	
	Ⅰ	3	3	—	消防団の機構改革に向けた研究	●消防団として実践的な訓練ファイヤーエキシビションを開催するなど、消防力の強化に努めました。●団員確保に向け、有事の際に出動する機能別消防団員を運用しました。●消防団救護隊の装備充実を図り有事の救護に備えました。	—	—	B	Ⅱ	
										B	Ⅱ
	Ⅰ	3	4	—	消防団事業の改善に向けた研究	●消防団として実践的な訓練ファイヤーエキシビションを開催するなど、消防力の強化に努めました。●団員確保に向け、有事の際に出動する機能別消防団員を運用しました。●消防団救護隊の装備充実を図り有事の救護に備えました。	—	—	B	Ⅰ	
										B	Ⅱ
	Ⅰ	3	5	—	団員確保に向けた取り組みと研究	消防団員数（定数対実人数） （「飯島町消防団規則」に基づく団員数（基準日：n年4月1日現在）） ●少子高齢化等により、消防団員のなり手が不足しています。	250人	246人	B	Ⅱ	
										B	Ⅱ

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度							
4941	水防費	236	172	3	●天竜川上流河川事務所や伊那建設事務所と連携確認●出水期に備えた河川合同巡視●伊南消防協議会と連携した水防訓練	●天竜川上流河川事務所や伊那建設事務所と連携会議を行い、有事の際に連携して地域を守る確認等●出水期を前に河川合同巡視に参加し、危険箇所等を把握し消防団と共有し有事の際の準備●伊南消防協議会水防訓練に参加し、改良積み土のう工法とロープワークを学んだ。	a	a	b	a	a	a	I
		147	32	3									I

実施計画（施策）評価										
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3 層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	Ⅰ 層	2 層	3 層	プロジェクト			当該年度		令和 5 年度	
							目標値	実績値	令和 6 年度	
基本目標Ⅰ	Ⅰ	3	2	—	自然災害への対応体制の強化	【再掲】 大規模林野火災防御訓練または救急救助訓練の実施回数（年）	Ⅰ 回	0 回	B	Ⅱ
						【再掲】 出水期に備えた水防訓練の実施回数（年）	Ⅰ 回	Ⅰ 回	B	Ⅱ

【住民税務課】 事務事業・実施計画（施策）評価

■達成状況・・・（－）当該年度の評価なし ■事業終了・・・国や県の事業も含む

	事業コード・事業名称		実施計画と 連動なし (●)	達成状況 1.目標を大きく上回って達成 2.目標を上回って達成 3.ほぼ目標どおり 4.目標を下回った 5.目標を大きく下回った					頁
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
住民 税 務 課	1211	税務総務費		3	4	2	3		36
	1212	税務基礎資料整備事業		3	3	3	3		37
	1213	定額減税調整給付金	●	—	—	—	3		38
	1214	定額減税不足額給付金	●	—	—	—	3		39
	1221	賦課徴収費		3	3	3	3		40
	1311	戸籍住民基本台帳費		3	2	2	3		41
	2628	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 （こども加算）	●	—	—	—	3		43
	2629	長野県生活困窮者価格高騰特別対策事業補助金 （子ども加算）	●	—	—	—	3		44
	2871	環境衛生費		3	3	3	3		45
	2872	新エネルギー普及対策事業		3	4	2	3		46
	2921	塵芥処理費		3	3	3	3		48
	2931	し尿処理費	●	3	3	3	3		49
	4132	消費者行政活性化事業		3	3	3	3		50

基本 目標 2

<住民税務>

美しく快適な暮らしの環境を 将来へつなぐ

「基本的方向」

ふたつのアルプスの麓、美しい自然にはぐくまれた生活環境は住民が共有するかけがえのない財産です。この恵まれた生活環境を保全し将来の世代に引き継いでいくまちを目指します。また、住民の生活と行政の重要な接点でもある窓口や税の業務について、接客ホスピタリティーの向上を図るとともに、公平で効率的なサービスの最適化を目指します。

※施策の進捗状況

A 順調に推移している B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている

■進捗状況・・・（－）当該年度の評価なし

政策2－（1） 低炭素・循環型の まちづくり	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① 再生可能エネルギーの普及促進	太陽光発電システム設置補助事業件数（延数）	B	B	B
	② 省エネルギーの推進	温室効果ガス排出量の削減（年）	B	B	B
	③ 地球温暖化防止に関する環境意識の醸成	地球温暖化対策に関する環境教育の実施回数（年）	A	B	B
政策2－（2） ごみの少ない暮らし づくり	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① ごみ分別の説明会の開催（地域、学校及び事業所）	ごみの分別に係る問合せ件数（年）	B	B	B
	② ごみ処理施設の見学会の開催	ごみ処理施設の見学会（年）	B	A	B
	③ 転入者へのごみ出し方法の説明	町民1人1日あたりの家庭ごみ排出量（日）	B	B	B
政策2－（3） 接客ホスピタリ ティー向上	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① ワンストップサービスによる役場組織内の連携強化	定性的な成果	A	B	B
		消費生活相談件数（件）	B	B	B
	② 窓口や接客改善のための定期的な組織内連携会議の開催	定性的な成果	C	B	B
	③ カウンターや待合ホールの改善	定性的な成果	C	B	B
	④ 他市町村や民間企業との窓口接客等の実地研修	定性的な成果	C	B	B
	⑤ マイナンバーカードの申請促進・庁外に出向いての申請サポート	マイナンバーカード申請率	A	A	B
政策2－（4） 公平で適正な税収 の確保	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① 課税精度の向上と未収金の縮減	飯島・七久保小学校での租税教室の開催（年）	B	A	A
	② 固定資産税における全筆・全棟調査の実施・精度の向上	定性的な成果	B	B	B
	③ 税務申告等の手続の簡素化の研究	e-tax（電子申告）確定申告者数（年）	B	B	A

基本情報				事務事業評価										
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)	
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性	有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性		
		予算額	決算額						町 民 ニ ー ズ	民間 での 事例	民間 活用		手法 見直し	質の 向上
		令和５年度											令和５年度	
		令和６年度											令和６年度	
1211	税務総務費	3,710	3,555	2	●小学生への租税教室の開催●税に関する書道作品の募集	●飯島小学校６年生２クラスに役場職員が講師となって租税教室を実施●七久保小学校６年生に伊那法人会担当者が講師となって租税教室を実施●小学生税の書道153点の応募（令和５年度149点）	a	b	b	b	a	a	Ⅱ	
		4,422	3,052	3									Ⅱ	

実施計画（施策）評価										
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3 層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	1 層	2 層	3 層	プロジェクト			当該年度		令和 5 年度	
							目標値	実績値	令和 6 年度	
基本目標 2	2	4	1	—	課税精度の向上と未収金の縮減	飯島小学校・七久保小学校での租税教室の開催（年） ●租税教室の開催と税作品の応募のために学校側の理解とスケジュール調整が課題です。	2 校	2 校	A	I
						小中学生の税に関する作品応募点数（年） （参考）令和 5 年度 149 点	90 点	153 点	A	I

基本情報				事務事業評価										
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)	
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性	
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上		
		令和5年度												
		令和6年度												
												令和5年度		
														令和6年度
1212	税務基礎 資料整備 事業	8,162	7,833	3	●固定資産（土地）の評価下落の見込みにより、鑑定評価を発注●基幹系 既利用ソフト スマートアシスト・アイマップ更新業務を発注し、年度中に生じた法務局登記情報や地籍調査成果を反映	●土地鑑定評価制度については、次年度賦課の基礎資料として整理を実施●税通（法務局から税務当局へ来る書類のこと）による登記情報・地籍調査成果を更新業務を発注し、システムへの公図・簿冊成果を反映	a	a	b	a	b	b	Ⅱ	
		5,748	5,233	3									Ⅱ	

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標2	2	4	2	—	固定資産税における全筆・全棟調査の実施・精度の向上	土地評価替え （宅地標準地点：3年/1回） （参考）令和4年度1回実施 ●固定資産税は「適正な時価」を標準として課税されるものなので、本来であれば毎年度評価替えを行い、これによって得られる「適正な時価」をもとに課税を行うことが本来であるが、膨大な量の土地、建物について毎年度評価を見直すことは不可能であることから、3年毎に評価替えを実施しています。	—回	—回	B	Ⅱ
						標準地点（宅地）時点修正鑑定評価	1回	1回	B	Ⅱ
						状況類似地区の調査（宅地標準地点：6年/1回・随時） （参考）令和4年度1回実施	—回	—回		

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標Ⅰ	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
					施策との関連性なし					

基本情報				事務事業評価										
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)	
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性	
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上		
		令和５年度												令和５年度
		令和６年度											令和６年度	
1214	定額減税 不足額給 付金	—	—	—	●国の「物価高騰対応重点支援地方 創生臨時交付金」を活用し、新たに 住民税非課税等となる世帯への臨時 給付金等の支給（令和６年度低所得 世帯支援枠及び不足額給付分の一体 支援枠分）【不足額給付】 ①事務費：1,295千円 ②給付費：7,400千円	●支給に向けた令和7年度課税資料 の整備●令和７年中に対象者及び支 給額の抽出を行い、年中の給付を行 う予定 【令和６年度地方繰越】 ①事務費：1,295千円 ②給付費：7,400千円	a	b	b	b	a	a	—	
		8,695	0	3									I	

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標Ⅰ	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
					施策との関連性なし					

基本情報				事務事業評価																
				達成度	計画 (Plan)		実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)						
事業費（千円）		主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等		必要 性			有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性								
													予算額	決算額	町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例	民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和5年度					令和6年度				令和5年度		令和6年度									
1221	賦課徴収費	16,710	15,194	3	●新規の滞納者に対し督促状発送後1～2週間納付の無い者へ電話催告または訪問●差押予告通知の早めの発送●他の料金担当者との連携を図り徴収事務の実施●収納対策会議を（夏・年末）に開催し、強化期間の設定や未納者への対策の検討●生活困窮者等に対し支援制度も確認し、収納率の低下とならない事務の実施	●対策会議等で各部署共通の滞納者を確認し納付対応●滞納者と支援制度を含め相談・折衝し、その方に適した徴収対応	a	b	a	a	b	b	II							
		16,392	13,132	3									II							

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標2	2	4	1	—	課税精度の向上と未収金の縮減	飯島・七久保小学校での租税教室の開催（年） ●租税教室の開催と税作品の応募のために学校側の理解とスケジュール調整が課題です。	2 校	2 校	A	I
						小中学生の税に関する作品応募点数（年） （参考）令和5年度149点	90 点	153 点	A	I

基本情報				事務事業評価										
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)	
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性	
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上		
令和５年度		令和６年度		令和５年度		令和６年度								
1311	戸籍住民 基本台帳 費	11,301	10,499	2	●マイナンバーカードの適正な事務 処理	●マイナンバーカード申請率 （86.6％）●マイナンバーカード 交付率（83.4％）●マイナンバー カード出張申請（出張回数0回、申 込み無し）●マイナンバーカード申 請補助（5回／年：5人）●マイナ ンバーカード時間外交付窓口の実施 （金曜日夜間・土日（予約制））	a	a	b	a	a	c	Ⅱ	
		10,829	10,614	3									Ⅱ	

実施計画（施策）評価												
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性			
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度			
							目標値	実績値	令和6年度			
基本目標2	2	3	1	—	ワンストップサービスによる役場組織内の連携強化	消費生活相談件数（年） （駒ヶ根市消費生活センターへの相談件数） ●令和4年度より、消費生活相談の広域的対応として駒ヶ根市役所に駐在する専門相談員が対応しています。	30	件	31	件	B	II
											B	II
	2	3	2	—	窓口や接客改善のための定期的な組織内連携会議の開催	●担当者同士の連携を取りあったことで、各課の新しい事業に対して連絡や協力が図られたことにより、町民に対して有益な情報を提供することができました。	—	—	—	—	B	II
											B	II
	2	3	3	—	カウンターや待合ホールの改善	●環境を整備したことにより（記載台を片面利用から両面に変更）記載台の混雑が緩和されました。また、レイアウトも工夫し分かりやすく使用していただけるようにしました。	—	—	—	—	B	II
											B	II
	2	3	4	—	他市町村や民間企業との窓口接客等の実地研修	●戸籍等の専門研修など積極的に参加をすることにより、職員のスキルアップに繋げることができました。	—	—	—	—	B	II
											B	II
	2	3	5	—	マイナンバーカードの申請促進・庁外に出向いての申請サポート	マイナンバーカード申請率	85.0	%	86.4	%	A	I
							マイナンバーカード交付率	85.0	%	83.4	%	B

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度							
2628	物価高騰 対応重点 支援地方 創生臨時 交付金 （こども 加算）	—	—	—	●国の「物価高騰対応重点支援地方 創生臨時交付金」を活用した （1）令和5年低所得者の子育て世 帯への給付金【物価高騰対策給付 金】【令和5年度地方繰越】 （2）新たに住民税非課税等となる 世帯への臨時給付金等（令和6年度 低所得世帯支援枠及び不足額給付分 の一体支援枠分）【こども加算】 【令和6年度地方繰越】	●物価高騰対応重点支援地方創生臨 時交付金事業 （1）【令和5年度地方繰越】令和 5年度分の住民税均等割非課税世帯 児童、住民税均等割のみ課税世帯児 童、新たに住民税非課税世帯等とな る世帯への給付（5万円） ①事務費：58千円 ②給付費：139人×5万円=6,950 千円） （2）新たに住民税非課税等となる 世帯への臨時給付金等（令和6年度 低所得世帯支援枠及び不足額給付分 の一体支援枠分）（2万円） ①事務費：システム改修費負担金 （386千円） ②事務費一部、給付費【令和6年度 地方繰越】	a	a	b	a	a	a	—
		11,049	7,394	3								I	

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標Ⅰ	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
					施策との関連性なし					

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標Ⅰ	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
					施策との関連性なし					

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和５年度		令和６年度		令和５年度		令和６年度							
2871	環境衛生費	11,598	11,190	3	●環境衛生自治会の役員を中心に、 ごみ処理施設見学会の設定●転入者へごみの出し方ガイドブック及び収集計画表の配付・説明●ごみ減量化の推進●自治会未加入者や高齢者の １人世帯のごみ出し課題に対する、関係各課との連携・協議の機会創出	●環境保全審議会及びミヤマシジミ保全協議会において生物多様性保全条例について検討し、 ３月議会において策定●「いいじま環境フェア」を初開催し、住民の環境意識の醸成を図った。（令和７年２月１日）●飼い主のいない猫及び適正な飼養を行うことができない猫の増加を防止するため、猫の繁殖制限手術費補助金交付要綱を策定●環境美化一斉行動として、外来種のオオキンケイギク駆除を初めて行った。（令和６年５月26日）●転入者へのごみ出しに係る説明を随時実施●ごみ減量化のため、生ごみ処理機購入補助（46件）、コンポスト購入補助（9件）●町不法投棄監視員による不法投棄パトロールを週１回実施	a	a	a	c	b	c	Ⅱ
		18,261	17,078	3			Ⅱ						

実施計画（施策）評価										
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（３層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗 状況	今後の 方向性		
基本 目標 2	Ⅰ 層	Ⅱ 層	Ⅲ 層	プロジェ クト			当該年度		令和 5 年度	
							目標値	実績値	令和 6 年度	
	2	2	2	2	—	ごみ処理施設の見学会の開催	ごみ処理施設の見学会（年） ●ごみの組成調査の結果、可燃ごみとして雑紙などの資源物が多量に出されており、分別意識の向上が必要です。	Ⅰ 回	0 回	A
2	2	3	—	転入者へのごみ出し方法の説明	町民 1 人 1 日あたりの家庭ごみ排出量（日） （上伊那広域連合ごみ処理基本計画に基づく目標） ●資源ごみの分別が徹底されていないことから、可燃ごみが増えていると考えられます。	386 g	402 g	B	Ⅱ	
								B	Ⅱ	

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和５年度		令和６年度		令和５年度		令和６年度							
2872	新エネルギー普及 対策事業	14,280	14,147	2	●地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定に向けた検討●地球温暖化対策設備設置補助金制度の検討●太陽光発電システム設置補助及び太陽熱利用システム設置補助の実施	●町内すべての特定排出者４社と町において「飯島町カーボンニュートラルに向けた連携協定」を締結（令和７年１月30日～２月３日）●第Ⅰ回いいじま環境フェアを開催し、カーボンニュートラル特別対談を行った。（令和７年２月Ⅰ日）●地球温暖化対策設備設置補助を行った。（太陽光発電Ⅶ件、蓄電池ⅠⅠ件、ⅤⅡHⅠ件、太陽熱Ⅰ件）●地球温暖化対策実行計画策定委員会において地域脱炭素移行・再エネ推進事業計画を検討し、環境省へ重点対策加速化事業の公募申請を行った。（策定委員会：令和Ⅶ年Ⅶ月Ⅰ8日、ⅠⅠ月28日、令和Ⅶ年Ⅱ月26日）●地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を改定し、政府目標との整合を図った。（令和Ⅶ年Ⅲ月）	a	a	b	b	b	b	Ⅲ
		5,342	5,048	3			Ⅲ						

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標2	2	1	1	○	再生可能エネルギーの普及促進	太陽光発電システム設置補助事業件数（延数） （家庭用発電量10kw以下の設置延数） ●一般家庭への太陽光発電システム設置件数は7件に留まったが、蓄電システムの設置は11件であり、うち既存住宅が9件であったことから、電力代金の高騰も相まって卒FITを迎えた既存住宅において電力の自家消費が進んでいると分析します。	365 件	355 件	B	II
									B	II
	2	1	2	○	省エネルギーの推進	温室効果ガス排出量の削減（年） （地球温暖化対策設備設置補助金の活用による温室効果ガス排出量の削減貢献量） ●一般家庭への太陽光発電システム設置件数は7件に留まったが、蓄電システムの設置は11件であり、うち既存住宅が9件であったことから、電力代金の高騰も相まって卒FITを迎えた既存住宅において電力の自家消費が進んでいると分析します。	45.0 ｔ	13.2 ｔ	B	II
									B	II
	2	1	3	○	地球温暖化防止に関する環境意識の醸成	地球温暖化対策に関する環境教育の実施回数（年） （勉強会、研修会、講演会等の開催） ●ソーラーシェアリングや小水力発電に対する住民意識の醸成のためには継続的な啓発機会が必要です。●地球温暖化対策に関して無関心層への啓発が課題です。	1 回	1 回	B	I
									B	II

基本情報				事務事業評価											
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)		
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性		
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上			
		令和5年度					a	a		b	c	b	b	令和5年度	
		令和6年度												令和6年度	
2921	塵芥処理費	61,761	61,454	3	●一般廃棄物収集計画に基づく一般廃棄物の収集・運搬）●適切な分別と資源化の啓発	●一般廃棄物処理実施計画に基づく塵芥収集運搬業務を行った。●プラスチックの資源化によるごみ分別の変更に伴いガイドブックとポスターの改定、4地区ごとの説明会（令和7年3月4日～3月7日）を実施●ごみ資源化への意識の向上に向けて、地域への説明会を開催（令和6年10月15日中平いちいの会）	a	a	b	c	b	b	II		
		78,065	77,572	3									II		

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標2	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標2	2	2	1	—	ごみ分別の説明会の開催（地域、学校及び事業所）	ごみの分別に係る問合せ件数（年） ●ごみの分別ガイドブックを発行した令和元年以降、改定や再配布は行っていないため、住民のガイドブックに対する認知度が上がっていなかったが、令和7年度からプラ資源化による分別区分の変更のため、ガイドブックの改定作業を行いました。	150 件	240 件	B	II
									B	II

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度							
2931	し尿処理費	28,020	28,020	3	●伊南衛生センターにてし尿処理の実施	●令和6年度「し尿・浄化槽汚泥・家庭雑排水処理量」2,410.67kℓ	a	a	a	c	a	c	I
		27,106	27,106	3									I

実施計画（施策）評価											
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性		
基本目標2	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度		
							目標値	実績値	令和6年度		
					施策との関連性なし						

基本情報				事務事業評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)					改善 (Action)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
事業費（千円）		主な 取組 内容	主な 取組 内容の 実績等		必要性		有効性	効率性			今後の 方向性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
												予算額	決算額	町民 ニーズ	民間 での 事例	民間 活用	手法 見直し	質の 向上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
令和５年度					令和６年度			令和５年度		令和６年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標2	2	4	3	—	税務申告等の手続の簡素化の研究	e-tax（電子申告）確定申告者数（年） ●高齢者（特に農業者）はWEBに不慣れ、またWEB環境下でないケースが多く、電子申告が進みません。●国税連携システムを難解と考える方が多くみられます。●マイナポータルと国税庁申告システムのさらなるスムーズな連携が必要です。	560 人	886 人	B	I
						未申告者の解消者数（年）	6 人	5 人	A	I
						町税収納率（現年度分） （参考）令和5年度：99.5%	100 %	99.5 %		

【健康福祉課】 事務事業・実施計画（施策）評価

■達成状況・・・（－）当該年度の評価なし ■事業終了・・・国や県の事業も含む

	事業コード・事業名称		実施計画と連動なし (●)	達成状況 1.目標を大きく上回って達成 4.目標を下回った 2.目標を上回って達成 5.目標を大きく下回った 3.ほぼ目標どおり					頁
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
健康福祉課	2101	社会福祉総務費		2	3	3	3		56
	2103	地域福祉総合事業		3	3	3	3		57
	2104	生活困窮者自立相談支援事業		3	3	3	3		58
	2105	重層的支援体制整備移行準備事業		—	3	3	3		60
	2112	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金	●	—	3	3	3		61
	2113	長野県生活困窮者世帯緊急支援事業	●	—	3	3	3		62
	2114	電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援事業	●	—	3	3	事業終了	事業終了	—
	2201	地域福祉センター管理費		3	3	3	3		63
	2251	障がい者福祉総務費		3	3	3	3		64
	2252	在宅障がい者福祉事業		2	3	3	3		65
	2255	障がい者自立支援事業		3	3	3	3		66
	2301	老人福祉総務費	●	—	3	3	3		68
	2303	在宅老人福祉事業		3	3	3	3		69
	2308	介護予防拠点施設管理費		3	3	3	3		71
	2401	福祉医療費給付事業		3	3	3	3		72
	2613	障がい児通所等支援事業		2	3	3	3		73
	2631	ひとり親等福祉費	●	3	3	3	3		74
	2811	保健衛生総務費		2	3	3	3		75

	事業コード・事業名称		実施計画と 連動なし (●)	達成状況 1.目標を大きく上回って達成 2.目標を上回って達成 3.ほぼ目標どおり 4.目標を下回った 5.目標を大きく下回った					頁
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
健康福祉課	2821	感染症予防事業		3	3	3	3		76
	2823	新型コロナウイルスワクチン接種事業	●	1	1	1	事業終了	事業終了	—
	2841	母子保健事業		2	1	1	3		77
	2852	健康づくり運動事業		2	3	3	3		79
	2853	健康増進事業		3	2	2	3		81
	2891	診療所費		3	3	3	3		83
	6050	(国民健康保険特別会計) 保健衛生普及事業		3	3	3	3		84
	6051	(国民健康保険特別会計) 疾病予防事業		2	2	2	2		85
	6052	(国民健康保険特別会計) 特定健康診査等事業		1	2	2	2		86
	6053	(国民健康保険特別会計) 健康づくり推進事業		3	3	—	—		—
	6405	(後期高齢者医療特別会計) 保健事業費	●	3	3	3	3		87
	7701	(介護保険特別会計) 一般管理費	●	3	3	3	3		88
	7711	(介護保険特別会計) 賦課徴収費	●	3	3	3	3		89
	7716	(介護保険特別会計) 認定調査費	●	3	3	3	3		90
	7763	(介護保険特別会計) 地域包括支援センター運営事業	●	3	3	3	3		91
	7764	(介護保険特別会計) 社会保障充実事業		3	3	3	3		92
	7765	(介護保険特別会計) 任意事業費		3	3	3	3		94
	7767	(介護保険特別会計) 一般介護予防事業費		3	2	2	2		95

基本 目標 3

<健康福祉>

誰もが健康で居場所と出番があり 共に支え合える地域づくり

《基本的方向》

生涯を通じて、心も体も健康で安心して生活ができるよう、保健・医療・福祉・介護などの関係機関が密に連携し、健康増進、疾病の予防・早期発見・早期治療、福祉の充実、介護への適切な対応ができるネットワークの構築を推進します。

※施策の進捗状況

A 順調に推移している B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている

■進捗状況・・・（－）当該年度の評価なし

政策3－（1） 切れ目のない妊産婦・乳幼児への保健体制	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① 母子の心身の健康増進を目的とした新生児訪問、乳幼児健診等の実施	新生児訪問の実施率	A	A	A
	② 保健・医療・福祉・教育・地域の組織等との連携支援	定性的な成果	A	A	A
	③ 切れ目のない子育て支援の実現に向けた体制の充実	定性的な成果	B	B	A
政策3－（2） 「生涯健康」支援	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① 幼少期からの生活習慣病予防	保育園年長児の体格が肥満・やせの割合（年）	B	A	A
	② 年代に応じた疾病予防対策の充実	がん検診受診率	A	A	A
	③ 地域や健康推進員と協力した健康づくりの取り組み	地区・自治会健康教室参加数（年）	B	B	B
	④ こころの健康に関する正しい知識や対処法の普及啓発	自殺死亡率	B	B	B
	⑤ 健康のための運動習慣・食育活動の推進	健康づくり運動教室開催（年）	B	B	B
	⑥ 感染症に対応するための医療相談体制の整備と行動変容の支援	感染症予防に関する健康教育の実施（年）	B	B	B
政策3－（3） いつでも安心な地域医療体制づくり	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① 上伊那地域や伊南地域との包括的な医療連携支援	町内医療機関数（歯科含む）	B	B	B
	② 感染症対策の推進	定性的な成果	A	A	A
	③ 災害時の医療体制の整備	定性的な成果	B	B	B
	④ 町内3師会（医師・歯科医師・薬剤師）と連携した地域医療の確保	定性的な成果	A	A	A
	⑤ 国民健康保険事業、後期高齢者医療事業の適正な運営	定性的な成果	A	A	A
	⑥ 福祉医療費による医療支援	福祉医療費給付費の維持（年）	B	B	B

※施策の進捗状況

A 順調に推移している B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている

■進捗状況・・・（－）当該年度の評価なし

政策3-（4） みんなが支え合う 地域福祉の実現	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① みんなが地域づくりの主体として支え合う「新しいお互いさま」社会の推進	定性的な成果	B	B	B
	② 包括的に機能する相談・支援体制の整備	定性的な成果	B	B	A
	③ 地域を支える人材や団体の育成	各種サポーター養成講座受講者数（延数）	B	B	A
	④ 地域での居場所づくりの推進	自主的な居場所づくりへの人的支援（延数）	A	A	A
	⑤ 町社会福祉協議会との連携・協働	支え合いマップの定期更新率	C	B	A
	⑥ 民生児童委員との連携	定性的な成果	B	B	A
政策3-（5） 障がいの有無にか かわらず幸せに暮 らせるまちづくり	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① 障がいのある人の権利を守る福祉サービスの充実	障害福祉施設から一般就労に移行した人数	B	B	B
	② 安全で暮らしやすい地域づくりと地域での支援体制の強化	定性的な成果	A	A	A
	③ 障がいのある人の社会参加の推進	地域活動支援センター月間利用者数	A	B	C
政策3-（6） 高齢者も自分らし く暮らせるまちづ くり	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① 高齢者の社会参加の推進と助け合い活動の創出	介護予防に資する通いの場への参加率	B	B	B
	② 高齢者の生活支援体制整備の充実	認知症カフェ利用者数（延数）	B	B	B
	③ 介護保険制度の適正な運営と保険者機能の強化	定性的な成果	B	B	B

基本情報				事務事業評価											
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)		
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性		
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上			
		令和5年度													令和5年度
		令和6年度													令和6年度
2103	地域福祉 総合事業	15,574	15,328	3	●飯島町社会福祉協議会補助金の交付●救急医療情報キット配布及び更新支援の委託による実施	●社会福祉法人飯島町社会福祉協議会の事業5件に対して補助金を交付し、事業を支援●救急医療情報キットを新規に17件配布し、情報の更新支援を委託により373件実施	a	a	a	c	a	a	I		
		13,179	12,837	3									I		

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標3	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
	3	4	5	—	町社会福祉協議会との連携・協働	支え合いマップの定期更新率 （自治会ごとに作成している支え合いマップの定期 （3年に1回以上）更新）	86.0 %	75.0 %	B	I
									A	I

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標3	3	4	3	—	地域を支える人材や団体の育成	各種サポーター養成（講座受講者）数(ひきこもりサポーター）（延数）	23 人	71 人	B	II
						各種サポーター養成（講座受講者）数(ゲートキーパー）（延数）	1,139 人	966 人		
						各種サポーター養成（講座受講者）数(認知症サポーター）（延数）	1,623 人	1,968 人	A	II
	3	4	4	—	地域での居場所づくりの推進	自主的な居場所づくりへの人的支援（延数） （自主的に居場所をつくりたい団体等への人的支援の箇所数）	4 箇所	8 箇所	A	I
									A	III

基本情報				事務事業評価										
				達成度	計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)					
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性	
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上		
令和５年度		令和６年度		令和５年度		令和６年度								
2112	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金	76,038	75,586	3	●国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用した事業 （１）令和５年度住民税均等割のみ課税世帯に対して、１世帯当たり１０万円を支給【令和５年度地方繰越】 （２）令和６年度新たに住民税非課税等となった世帯に対して、１世帯当たり１０万円を支給 （３）令和６年度住民税非課税世帯に対して、１世帯当たり１０万円を支給	●令和５年度住民税均等割のみ課税世帯に対して、給付金１０万円を２４３世帯に支給●令和６年度新たに住民税非課税等となった世帯に対して、給付金１０万円を１６０世帯に支給●令和６年度住民税非課税世帯に対する給付金の支給事務に必要な臨時給付金システムを改修●令和６年度住民税非課税世帯に対する給付金は、算出の根拠となる事業の確定等の調整のために不測の日数を要し、計画を再検討した結果、交付対象事業の完了が令和８年３月下旬となるため、令和７年度に繰り越しとなった。	a	a	a	a	a	a	I	
		48,037	41,628	3									I	

実施計画（施策）評価										
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3 層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況	今後の方向性		
基本目標 3	1 層	2 層	3 層	プロジェクト						
									当該年度	
						目標値	実績値	令和 6 年度		
					施策との関連性なし					

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標3	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
					施策との関連性なし					

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和５年度		令和６年度		令和５年度		令和６年度							
2201	地域福祉 センター 管理費	2,827	2,791	3	●飯島町地域福祉センター石楠花苑の管理業務の実施●飯島町地域福祉センター石楠花苑の施設機能維持のため修繕等の実施	●地域福祉センター管理業務を社会福祉法人飯島町社会福祉協議会へ委託●地域福祉センターの土地所有者に対し、賃貸借契約に基づき賃貸借料の支払事務	a	a	a	c	a	a	I
		3,965	3,782	3								I	

実施計画（施策）評価										
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3 層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標 3	Ⅰ 層	2 層	3 層	プロジェクト			当該年度		令和 5 年度	
							目標値	実績値	令和 6 年度	
基本目標 3	3	4	5	—	町社会福祉協議会との連携・協働	支え合いマップの定期更新率 （自治会ごとに作成している支え合いマップの定期 （3 年に 1 回以上）更新）	86.0 %	75.0 %	B	I
									A	I

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業コード	事業名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要性		有効性	効率性			今後の方向性
		予算額	決算額				町民ニーズ	民間での事例		民間活用	手法見直し	質の向上	
令和５年度		令和６年度		令和５年度		令和６年度							
2252	在宅障がい者福祉事業	16,765	16,288	3	●飯島町障がい者にやさしい住宅改良促進事業補助金の交付●飯島町福祉金障がい福祉金の支給●飯島町心身障がい者(児)タイムケア事業の実施●飯島町福祉タクシー券交付●飯島町介護慰労金の支給●飯島町障がい者地域活動支援センターやすらぎの指定管理	●飯島町障がい者にやさしい住宅改良促進事業補助金の申請なし。●飯島町福祉金の障がい福祉金は、278件支給●飯島町心身障がい児(者)タイムケア事業は、12人利用●障がい児者に対する飯島町福祉タクシー券は、3人に交付●飯島町介護慰労金は、12件支給●飯島町障がい者地域活動支援センターやすらぎは、指定管理制度により業務を委託して管理	a	a	a	c	a	a	I
		16,864	16,485	3									I

実施計画（施策）評価										
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3 層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標 3	Ⅰ 層	Ⅱ 層	Ⅲ 層	プロジェクト			当該年度		令和 5 年度	
							目標値	実績値	令和 6 年度	
	3	5	2	—	安全で暮らしやすい地域づくりと地域での支援体制の強化	●各種補助金や町独自の給付制度を維持したことにより、障がいのある方の暮らしを支援できました。	—	—	A	I
									A	I
3	5	3	—	障がいのある人の社会参加の推進	地域活動支援センター月間利用者数 （在宅で生活する障がいの者の社会参加・就労支援・居場所であるセンターの利用者数）	196 人	176 人	B	I	
								C	I	

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業費（千円）		主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等		必要性		有効性	効率性			今 後 の 方 向 性		
												予算額	決算額
令和5年度					町民 ニ ー ズ	民間 で の 事 例		民間 活 用	手法 見 直 し	質の 向 上		令和5年度	
令和6年度												令和6年度	
2255	障がい者 自立支援 事業	253,114	252,696	3	●障害福祉業務総合支援ソフトを使った適正給付●障害福祉サービス等の給付●地域生活支援事業の給付●自立支援医療給付事業の給付●補装具費支給事業の支給●手話通訳・要約筆記者派遣事業業務●手話通訳奉仕員等養成講座開設事業業務●障害者相談支援事業の委託	●障害福祉業務総合支援ソフトを使い、全ての障害福祉サービスの給付を確認●障害福祉サービス等を102人に給付●地域生活支援事業の日常生活用具を134件、移動支援を20人に給付●自立支援医療（更生医療・育成医療）給付事業を2件給●補装具費支給事業を12件支給●手話通訳・要約筆記者派遣事業業務を委託して実施●手話通訳奉仕員等養成講座開設事業業務を委託して実施●障害者相談支援事業を委託して実施	a	a	a	c	a	a	I
		270,182	269,786	3								I	

実施計画（施策）評価											
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	当該年度		進捗状況	今後の方向性	
基本目標3	1層	2層	3層	プロジェクト			目標値	実績値	令和5年度		
										令和6年度	
	3	5	1	—	障がいのある人の権利を守る福祉サービスの充実	障害福祉施設から一般就労に移行した人数 （就労移行支援事業、就労継続支援A型・B型等から一般就労への移行者数）	1人	0人	B	I	
									B	I	
	3	5	2	—	安全で暮らしやすい地域づくりと地域での支援体制の強化	●各種補助金や町独自の給付制度を維持したことにより、障がいのある方の暮らしを支援できました。	—	—	A	I	
									A	I	
	3	5	3	—	障がいのある人の社会参加の推進	地域活動支援センター月間利用者数 （在宅で生活する障がい者の社会参加・就労支援・居場所であるセンターの利用者数）	196人	176人	B	I	
									C	I	

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標3	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
					施策との関連性なし					

基本情報				事務事業評価										
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)	
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性	
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上		
令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度								
2303	在宅老人 福祉事業	12,215	11,929	3	●各種事業の推進●高齢者補聴器購入助成事業は、交付要件及び交付額の見直しについて検討●福祉タクシー券交付事業は、公共交通施策、DX施策等と合わせて、生活の交通確保について検討	●各種事業については、事務改善を行いながら、概ね例年通りの支援●高齢者補聴器購入助成事業は、令和7年度より交付要件を拡充するとともに交付額を増額することができ、高齢者の支援策として活用しやすい事業へと改善を図った。●福祉タクシー券交付事業は、デジタル化に向けた検討を行ったが、具体的な運用には至らなかった。	a	a	b	b	b	b	Ⅱ	
		14,770	14,627	3			Ⅱ							

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	当該年度		進捗状況	今後の方向性
	1層	2層	3層	プロジェクト			目標値	実績値	令和5年度	
									令和6年度	
基本目標3	3	6	1	—	高齢者の社会参加の推進と助け合い活動の創出	健康寿命（平均自立期間）男性 （日常生活動作が自立している期間の平均）	80.7 歳	82.3 歳	B	II
						健康寿命（平均自立期間）女性 （日常生活動作が自立している期間の平均）	85.2 歳	84.7 歳		
						要介護認定率 （第1号被保険者に占める要支援・要介護者の割合） ●介護予防事業に取り組んでいるものの、後期高齢者数の増加に伴い要介護認定率は上昇しています。	15.5 以下 %	15.9 %	B	II
						介護予防に資する通いの場への参加率 （月1回以上開催している通いの場へ参加している人数／65歳以上人口） ●フレイル予防教室を拡充したことで、通いの場への参加率は上昇しています。	7.0 %	9.9 %		

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度							
2308	介護予防 拠点施設 管理費	1,334	1,305	3	●飯島町介護予防等拠点施設コスモス園の指定管理	●指定管理制度により飯島町介護予防等拠点施設コスモス園の業務を委託	a	a	b	c	a	a	I
		673	614	3			I						

実施計画（施策）評価										
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3 層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	Ⅰ 層	2 層	3 層	プロジェクト			当該年度		令和 5 年度	
							目標値	実績値	令和 6 年度	
基本目標 3	3	4	4	—	地域での居場所づくりの推進	自主的な居場所づくりへの人的支援（延数） （自主的に居場所をつくりたい団体等への人的支援の箇所数）	4 箇所	8 箇所	A	I
									A	Ⅲ

基本情報				事務事業評価												
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)			
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性			
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上				
		令和5年度														令和5年度
		令和6年度														令和6年度
2401	福祉医療 費給付事 業	63,769	63,473	3	●給付費支給業務●資格申請受付、 資格更新業務●制度周知●事業区分 変更	●受給者の資格確認、資格申請や資 格証の更新について関係係と連携し 的確な事務を実施●毎月の給付に関 するデータ処理、保険制度との調整 を的確に実施●関係係間での情報共 有により、適正な資格申請等の実施 ●令和6年4月より子育て医療の県 補助枠が拡大し、補助金申請等対応	a	a	b	a	a	c	I			
		60,369	59,808	3			I									

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標3	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標3	3	3	6	—	福祉医療費による医療支援	福祉医療費給付費の維持（年） （適正受診の周知徹底による給付費の維持） ●令和3年8月から精神障害健康手帳2級受給者の通院補助が全診療科に拡大されたことや、乳幼児医療区分の柔道整復施術療養費現物給付方式の導入が浸透してきた影響から医療給付費は増加傾向です。●「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の取扱いが、令和5年5月から5類に移行されたことによる受診状況の変化等は感じられませんでした。●令和6年4月より長野県の福祉医療費給付要綱が改訂され、これまで小学校4年生から中学生の子育て医療費は入院のみの補助だったところ通院についても補助対象となりました。	54,000 千円	55,775 千円	B	I
									B	I

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業コード	事業名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要性		有効性	効率性			今後の方向性
		予算額	決算額				町民ニーズ	民間での事例		民間活用	手法見直し	質の向上	
令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度							
2613	障がい児通所等支援事業	24,864	24,495	3	●障害児通所給付費の給付●駒ヶ根市児童発達支援施設つくし園の利用●飯田市こども発達センターひまわりの利用●飯島町障害児通園施設利用児療育支援事業の実施	●障害児通所給付費を26人に給付●駒ヶ根市児童発達支援施設つくし園利用の負担金の支払い事務●飯田市こども発達センターひまわり利用の負担金の支払い事務●障害児通園施設利用児療育支援事業の利用実績はなし	a	a	a	a	a	a	I
		24,647	24,497	3									I

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標3	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
	3	5	1	—	障がいのある人の権利を守る福祉サービスの充実	障害福祉施設から一般就労に移行した人数 （就労移行支援事業、就労継続支援A型・B型等から一般就労への移行者数）	1人	0人	B	I
									B	I

基本情報				事務事業評価											
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)		
事業コード	事業名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要性		有効性	効率性			今後の方向性		
		予算額	決算額				町民ニーズ	民間での事例		民間活用	手法見直し	質の向上			
									令和５年度				令和５年度		
									令和６年度				令和６年度		
2811	保健衛生総務費	83,323	82,921	3	●開業医支援事業サポート業務●上伊那広域連合負担金●伊南行政組合負担金●骨髓バンクドナー助成事業●国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用した飯島町医療機関等物価高騰対策支援金交付事業	●新規開業医の開拓に向け、近隣市町村範囲の医療充足状況などの分析を開業医支援事業サポート業務委託者と協議し実施●骨髓移植やドナー登録に関する情報発信、骨髓バンクドナー助成事業（骨髓バンクドナー助成申請実績：令和４年度１件）●物価高騰の影響を受けながらも安定的な医療サービスの提供を継続している医療機関等を支援するため、飯島町医療機関等物価高騰対策支援金支給要綱を定め、医療機関等への物価高騰対策支援事業（交付金）を実施（12事業所：1,300千円）Ⅰ事業所当たり基本額10万円、関連併施設あり加算額5万円）	a	a	b	a	a	a	I		
		81,848	81,480	3									I		

実施計画（施策）評価												
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3 層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性			
基本目標 3	Ⅰ 層	Ⅱ 層	Ⅲ 層	プロジェクト			当該年度		令和 5 年度			
							目標値	実績値	令和 6 年度			
		3	3	Ⅰ	—	上伊那地域や伊南地域との包括的な医療連携支援	町内医療機関数（歯科含む） （現在の医院数を減らさないため、開業医支援の取り組み） ●新型コロナウイルス感染症の対応は通常診療の形態に移行しました。しかしながら現在も続く物価高騰の影響は衛生資機材等にも及んでおり、加えて診療報酬改定等の影響から各種方面への積極的な働きかけが難しい状況です。	8 施設	8 施設	B	Ⅱ	
	3	3	3	—	災害時の医療体制の整備	●上伊那地域包括医療協議会、大規模災害対策委員会等において検討した結果、連携の強化が図れました。	—	—	B	Ⅰ		
									B	Ⅰ		

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和５年度		令和６年度		令和５年度		令和６年度							
2821	感染症予防事業	25,068	23,704	3	●結核レントゲン検査●定期・任意 予防接種業務●風しんに関する追加 的対策事業●感染症対策事業	●乳幼児の予防接種は適時接種すると ともに、未接種者への接種勧奨も適時 に実施●風しん追加的対策は令和７年 ３月末日までに抗体検査終了者まで実 施対象とし終了●ＨＰＶワクチン不足 によりキャッチアップ対象者は１年実 施延長●新型コロナワクチン高齢者接 種が令和６年から定期接種化し、高齢 者インフルと併せ事務対応●高齢者の 帯状疱疹ワクチン接種が令和７年４月 から定期接種化することとなり、予診 票等の通知発送等の事務を実施●各ワ クチン接種について通知、広報、町 ホームページで周知	a	a	a	c	a	a	Ⅱ
		48,840	47,078	3									Ⅱ

実施計画（施策）評価										
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3 層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	Ⅰ 層	Ⅱ 層	Ⅲ 層	プロジェクト			当該年度		令和 5 年度	
							目標値	実績値	令和 6 年度	
基本目標 3	3	2	6	—	感染症に対応するための医療相談体制の整備と行動変容の支援	感染症予防に関する健康教育の実施（年） （感染症予防に関する健康教育の実施年 2 回以上（CEK、広報含）） ●住民の感染症予防知識に関するニーズは高いと考えられるため、積極的に感染予防活動を推進する必要があります。	2 回	2 回	B	I
									B	I
	3	3	2	—	感染症対策の推進	●定期予防接種未接種者に対する接種勧奨により、接種率の向上と集団免疫を高めることができました。	— —	— —	A	I
									A	I

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和5年度		令和6年度								令和5年度	令和6年度		
2841	母子保健事業	15,416	13,645	I	●妊娠期から子育て期の相談体制を充実させ、母子の心と体の健康を守り、保護者が安心して育児ができる様切れ目のない支援の実施●飯島町健康づくり計画(第5次)に基づく事業の実施①母子保健事業（妊娠届受理、妊産婦支援（各種補助金含む）、不妊治療費助成、新生児訪問、乳幼児健診・育児相談等）②子育て支援事業（子育て支援アプリ運用、ハッピーバースフラワー事業、離乳食教室等）③発達支援事業（専門職相談、かるがもひろば、あそびのひろば等）	●令和6年度主な事業として、妊娠期から乳幼児期までの切れ目ない支援、新生児訪問100%実施、乳幼児健診実施、療育支援・教室実施等、妊婦及び出生児から3歳児まで全数把握しきめ細やかな支援を実施●令和6年度新規拡大事として産後ケア事業補助額拡大●子育て支援アプリによる情報発信 【3歳児までの導入率】 ・令和6年度：90.5% ・令和5年度：91.6% ・令和4年度：84.8% ・令和3年度：76.8% ●妊娠期からの支援の充実を図った ●プレママの会実施 【参加率】 ・令和6年度：18.0% ・令和5年度：31.6% ・令和4年度：27.9% ・令和3年度：32.0%	a	a	a	c	a	c	I
		16,378	14,776	3									I

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和５年度		令和６年度		令和５年度		令和６年度							
2852	健康づくり運動事業	1,088	824	3	●小児健康づくり教室の実施①こりすの会：保育園児を対象とする「運動支援」「食生活支援」「保健師・管理栄養士による個別支援」②つばさの会：小学校・中学生生徒を対象とする「運動支援」「食生活支援」「精神保健支援」「保健師・管理栄養士による個別支援」●町の食育推進計画に基づいた食育推進事業の展開●健康増進運動指導●健康ポイント事業●健康推進員活動	●こりすの会・つばさの会は計画通り実施●小児期からの生活習慣病予防支援、命を大切にできる教育（性教育、ＳＯＳの出し方教育）を実施●新たに小学校と連携しＬＧＢＴＱについての講演会を実施●食育推進活動は、食育推進ネットワーク会議を２回開催し、各部会毎充実した活動ができた。●運動での健康づくり支援として、インターバル速歩講習会を実施●健康ポイント事業を実施【提出人数】令和６年：２８１人、令和５年：２１０人、令和４年：１６８人	a	b	a	c	a	c	Ⅱ
		1,026	683	3									Ⅱ

実施計画（施策）評価											
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	当該年度		進捗状況	今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト					令和5年度		
									目標値	実績値	令和6年度
基本目標3	3	2	1	—	幼少期からの生活習慣病予防	保育園年長児の体格が肥満・やせの割合（年） （保育園児の身体測定値による母子保健計画目標） ●教育委員会、保育園との連携し保健指導対象者抽出。対象者の生活背景を確認することで専門職による生活改善のアドバイスを行い、生活習慣の改善につなげました。個別支援を実施した児は、体重に変化があり効果がありましたが、肥満の割合が増加しているため注意が必要です。	5.0 %	8.9 %	A	I	
									A	I	
	3	2	3	—	地域や健康推進員と協力した健康づくりの取り組み	地区・自治会健康教室参加数（年） （健康推進員主催の健康教室参加者数） ●健康福祉課での企画や、様々な団体から依頼を受け、出前講座を実施しました。●集団形式、対面での出前講座希望は減少しています。	1,500 人	202 人	B	I	
									B	I	
	3	2	5	—	健康のための運動習慣・食育活動の推進	健康づくり運動教室開催（年） （運動教室の開催回数） ●目標値を達成することはできませんでしたが、インターバル速歩講習会を開催することができ、運動による健康づくりが支援できたと考えます。	12 回	1 回	B	I	
									B	I	

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要性		有効性	効率性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民間 での 事例		民間 活用	手法 見直 し	質の 向上	
令和５年度		令和６年度		令和５年度		令和６年度							
2853	健康増進 事業	22,884	21,874	2	●生涯にわたり健康で充実した生活 が送れるよう、生活習慣病の予防や こころの健康づくりに積極的に取り 組み、誰もが生活の中で健康づくりに 取り組むことが出来る住民参画の 活動を推進①飯島町健康づくり計画 及び飯島町国民健康保険特定健診等 実施計画、保健事業実施計画に基づ く事業の実施②各種健診・検診事業 の実施③自殺対策事業実施	●各種検診・健診を予定通り実施● 自殺対策事業について、予定通りに 実施	a	a	a	c	a	c	I
		25,199	24,803	3									I

実施計画（施策）評価										
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3 層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	Ⅰ 層	Ⅱ 層	Ⅲ 層	プロジェクト			当該年度		令和 5 年度	
							目標値	実績値	令和 6 年度	
基本目標 3	3	2	2	—	年代に応じた疾病予防対策の充実	がん検診受診率 （胃・大腸・子宮・乳・肺がんの受診率平均） （参考）令和 5 年度：28.7%	40.0 %	令和 7 年 7 月 確定値 %	A	I
						精密検査受診率 （健診後の精密検査受診率） （参考）令和 5 年度：67.2 %	83.0 %	令和 7 年 7 月 確定値 %		
						国保特定健診受診率 （第 3 期特定健診等実施計画目標値） （参考）令和 5 年度：67.4%	63.0 %	令和 7 年 10 月 確定値 %	A	I

実施計画（施策）評価											
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	当該年度		進捗状況	今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト			目標値	実績値	令和5年度		
									令和6年度		
基本目標3	3	2	4	—	こころの健康に関する正しい知識や対処法の普及啓発	自殺死亡率 （人口10万対自殺死亡率（飯島町のちを支える自殺対策推進計画）） （参考）令和4年度：11.0 ●社会情勢の悪化により、様々な自殺要因は増大しています。	0 人口10万人当たり	令和7年10月 確定値 人口10万人当たり	B	I	
									B	I	
	3	2	5	—	健康のための運動習慣・食育活動の推進	健康づくり運動教室開催（年） （運動教室の開催回数） ●目標値を達成することはできませんでしたが、インターバル速歩講習会を開催することができ、運動による健康づくりが支援できたと考えます。	12回	1回	B	I	
										B	I

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)					改善 (Action)	
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民間 活用	手法 見直 し	質の 向上	
令和５年度		令和６年度		令和５年度		令和６年度							
2891	診療所費	4,978	4,921	3	●七久保診療所の維持管理●飯島中央クリニックの運営支援、施設維持管理	●町内三師会を開催し医師・薬剤師との連携を図った。●七久保診療所の管理は必要最小限の経費で実施●飯島中央クリニックに関する医療機器のリース等、医師と協議のうえで進めることができた。また医院内床クリーニング(４年毎実施)と開所以来未実施のエアコンクリーニングを実施し、施設の衛生管理を図った。	a	a	a	a	a	c	I
		5,741	5,544	3			I						

実施計画（施策）評価												
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3 層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性			
基本目標 3	Ⅰ 層	2 層	3 層	プロジェクト			当該年度		令和 5 年度			
							目標値	実績値	令和 6 年度			
基本目標 3	3	3	4	—	町内 3 師会（医師・歯科医師・薬剤師）と連携した地域医療の確保	●普段より町内の医師・歯科医師・薬剤師と情報交換や各事業における連携を図ることで、地域医療体制の充実に繋げていくことができました。	—	—	—	—	A	I
											A	I

基本情報				事務事業評価										
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)	
事業費（千円）		主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等		必要性		有効性	効率性			今 後 の 方 向 性			
												町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例	民 間 活 用
予算額	決算額												令和5年度	
令和5年度												令和6年度		
事業 コード	事業 名称			3	●適正な保険資格周知●年金情報との連携●ジェネリック薬品利用差額通知送付●ジェネリック薬品利用に関する周知	●資格取得時の説明、広報周知により適正な保険資格の周知●年金情報との連携により個別通知による資格適正化を実施●利用差額通知（先行薬品を使用した場合との差額）での周知を実施（年2回）●保険証更新通知へのパンフレット及びジェネリック薬品利用シール同封による周知を実施（年1回）●健康保険証廃止に伴う条例・要綱改正等を実施	a	a	a	a	b	c	Ⅱ	
		8,429	8,347										Ⅱ	
		10,996	9,779	3									Ⅱ	

基本情報				事務事業評価										
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)	
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性	
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上		
		令和 5 年度											令和 5 年度	
		令和 6 年度											令和 6 年度	
6051	（国民健康保険特別会計） 疾病予防事業	10,732	8,674	2	●人間ドック、がん検診費用補助● 疾病予防啓発事業●疾病予防対策 ツールを用いた健診後保健指導	●人間ドック、がん検診費用補助を支 給、費用補助人数は年々増加してい る。●疾病予防啓発事業については、 広報、各種健康教室、健康ポイント・ 健診案内パンフレットでの疾病予防啓 発を実施●疾病予防対策ツールとＫＤ Ｂシステムを連動させたことにより、 個人の健診結果経年表や今の体の状態 がわかる構造図絵を作成することがで き、それを用いて保健師・管理栄養士 による個人への保健指導を実施	a	b	a	c	a	c	I	
		9,343	8,425	2									I	

実施計画（施策）評価										
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3 層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	1 層	2 層	3 層	プロジェクト			当該年度		令和 5 年度	
							目標値	実績値	令和 6 年度	
基本目標 3	3	2	2	—	年代に応じた疾病予防対策の充実	【再掲】 がん検診受診率 (胃・大腸・子宮・乳・肺がんの受診率平均) (参考) 令和 5 年度：28.7%	40.0 %	令和 7 年 7 月 確定値 %	A	I
						【再掲】 精密検査受診率 (健診後の精密検査受診率) (参考) 令和 5 年度：67.2 %	83.0 %	令和 7 年 7 月 確定値 %		
						【再掲】 国保特定健診受診率 (第 3 期特定健診等実施計画目標値) (参考) 令和 5 年度：67.4%	63.0 %	令和 7 年 10 月 確定値 %	A	I

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)				改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性		今 後 の 方 向 性	
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し		質 の 向 上
令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度							
6052	(国民健康保険特別会計) 特定健康診査等事業	10,439	9,651	2	●特定健診・特定保健指導の実施● 特定健診受診勧奨●健診受診後の精検受診勧奨●健診後フォロー	●特定健診受診率は、保健師・管理栄養士の地区分担制による未受診者対策により向上している。	a	b	a	c	b	c	I
		10,761	9,191	2									II

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）			進捗状況	今後の方向性
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標3	3	2	2	—	年代に応じた疾病予防対策の充実	【再掲】 がん検診受診率 （胃・大腸・子宮・乳・肺がんの受診率平均） （参考）令和5年度：40.0%	40.0 %	令和7年7月 確定値 %	A	I
						【再掲】 精密検査受診率 （健診後の精密検査受診率） （参考）令和5年度：84.0%	83.0 %	令和7年7月 確定値 %		
						【再掲】 国保特定健診受診率 （第3期特定健診等実施計画目標値） （参考）令和5年度：69.5%	63.0 %	令和7年10月 確定値 %	A	I

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度							
6405	（後期高齢者医療特別会計）保健事業費	4,099	3,491	3	●適正な保険資格周知●年金情報との連携●ジェネリック薬品利用差額通知送付●ジェネリック薬品利用に関する周知	●高齢者福祉係との連携により保健事業と介護予防等を一体的に取り組むことができた。●通いの場（いちいの会等合計29ヶ所）にて、ポピュレーションアプローチとして運動講座14回、栄養講座7回、口腔講座8回、フレイル予防講座25回を実施●ハイリスクアプローチ（個別相談）として、栄養・重症化予防・健康状態対策などを主に、実施人数計30名・支援件数（実績人数×支援回数）で合計のべ46名に対し実施	a	a	a	a	a	c	Ⅱ
		3,562	2,702	3									Ⅱ

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標3	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
					施策との関連性なし					

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標3	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
					施策との関連性なし					

基本情報				事務事業評価											
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)		
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性		
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上			
		令和５年度												令和５年度	
		令和６年度												令和６年度	
7711	（介護保険特別会計）賦課徴収費	343	282	3	●収納対策室と連携し、賦課徴収・滞納対策業務の実施	●収納率 ・令和６年度：99.7％ ・令和５年度：99.8％ ●滞納者の微増 ・令和６年度：15名 ・令和５年度：10名	a	a	c	b	b	b	Ⅱ		
		353	290	3									Ⅱ		

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標3	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
					施策との関連性なし					

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度							
7716	（介護保険特別会計）認定調査費	4,245	3,699	3	●調査基準の平準化を図るため、各種研修の受講	●令和7年2月12日上伊那広域連合介護認定審査事務局の出前講座による介護認定調査員研修会を行い、認定調査員のスキルアップに繋がった。	a	a	b	b	b	b	I
		4,315	3,644	3			I						

実施計画（施策）評価											
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性		
基本目標3	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度		
							目標値	実績値	令和6年度		
					施策との関連性なし						

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度							
7763	（介護保険特別会計）地域包括支援センター運営事業	19,908	18,775	3	【総合相談支援業務】●高齢者がいつまでも住み慣れた地域で生活ができるよう、介護・福祉・健康・医療等様々な面から総合的な支援を図った速やかで適切な総合相談の実施【包括的・継続的ケアマネジメント業務】●介護保険認定者、総合事業対象者については、居宅介護支援事業所の介護支援専門員やサービス事業所等の関係機関と連携した支援の実施【介護予防支援・介護予防ケアマネジメント事業】●委託先の介護支援専門員と連携し、自立支援を目指した効果的な介護予防ケアマネジメントが行えているかについて指導助言【地域ケア会議の開催】●問題が複雑化・深刻化したケースについては、地域ケア会議を開催	【総合相談支援業務】●高齢者の身近な相談窓口として多岐にわたる相談に対し、電話や窓口対応の他、必要に応じて速やかに訪問対応を行い、安心した暮らしが継続出来るよう支援【包括的・継続的ケアマネジメント業務】 【介護予防支援・介護予防ケアマネジメント事業】●居宅介護支援事業所の介護支援専門員やサービス事業所等の関係機関と連携を図り、高齢者に適切な支援が提供できるよう相談対応や支援会議の参加等の伴走支援【地域ケア会議の開催】●問題が複雑化・深刻化した困難ケースについては地域ケア会議を開催し、個別ケースの課題解決、支援ネットワーク構築、インフォーマルサービスを含めた地域の見守りネットワークの構築を行い、地域での尊厳のあるその人らしい生活の継続ができるよう支援	a	a	b	c	b	b	Ⅱ
		18,812	17,689	3									Ⅱ

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標3	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
						施策との関連性なし				

基本情報				事務事業評価										
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)	
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性	
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上		
令和５年度		令和６年度								令和５年度	令和６年度			
7764	（介護保険特別会計）社会保障充実事業	7,185	7,132	3	【在宅医療・介護連携推進事業】●在宅医療・介護関係者の研修、上伊那での多職種ミーティングの実施 【生活支援体制整備事業】●飯島町社会福祉協議会に業務を委託して実施（生活支援コーディネーターの配置、協議体の設置）●生活支援の関係者による地域課題を考える場を持ち、課題を抽出●課題解決のためにできることを生活支援コーディネーターを中心に検討し、事業実施【認知症総合支援事業】●認知症サポーター養成講座の開催●認知症予防に関する記事の町広報への掲載●困難ケースに対しては、認知症疾患医療センターと情報共有しながら対応	【在宅医療・介護連携推進事業】●令和６年９月12日に多職種連携のための伊南４市町村の医療・介護関係者による合同研修会を実施し、専門職の関係作りができた。●令和７年１月26日に上伊那地域医療・介護多職種連携ミーティングを開催し、連携について広域での意見交換ができた。●新たな地域包括支援センターシステムを活用し、事務の効率化を図ることができた。【生活支援体制整備事業】●令和６年６月28日に身寄りのない方への支援をテーマに、生活支援に関する検討会を開催（出席者18名）●令和７年１月27日に、いちいの会、いきいきサロンとの合同懇談会を開催し、それぞれの活動や課題について意見交換ができた。（参加者30名）●ボランティア活動を見える化するため、ありがとうポイントの付与を行った。（活動人数96名）【認知症総合支援事業】●認知症サポーター養成講座を飯島中３年生（69人）に、ステップアップ講座を社協ボランティア（３人）に実施●広報９月号へ啓発記事を掲載し、認知症とその権利擁護に関する正しい知識の普及ができた。	a	b	b	c	b	b	Ⅱ	Ⅱ
7,705		7,655	3											

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標3	3	6	2	—	高齢者の生活支援体制整備の充実	医療・介護連携の評価 （連携ができていると思う医療・介護職者）（医療・介護連携に関するアンケート調査にて「他の事業所との連携ができている」と回答する割合） （参考）令和5年度：72.0%	— %	— %	B	II
						認知症カフェ利用者数（延数） （町内にある認知症カフェを利用した延べ人数） ●認知症カフェ利用者は目標に達しないものの、個別相談に対応しており、利用者にとって心の拠り所となっています。	110 人	69 人		
						生活支援サポーター養成研修会新規参加者数（年） （生活支援体制整備事業で行う生活支援サポーター養成研修会の新規参加人数） ●生活支援体制整備事業でボランティア養成を行い、継続した活動につなげられました。	10 人	4 人	B	II

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業コード	事業名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要性		有効性	効率性			今後の方向性
		予算額	決算額										
		令和５年度					令和５年度						
		令和６年度						令和６年度					
7765	（介護保険特別会計）任意事業費	3,136	2,796	3	【介護給付等費用適正化事業】●調査基準の平準化を図るため、各種研修の受講●ケアプラン点検と介護給付費適正化システムを活用した適正なケアマネジメント支援の実施●住宅改修は、事前調査としゅん工後の本人や家族等への確認の実施	【介護給付等費用適正化事業】●ケアプラン点検の対象を拡大し、令和６年度は福祉用具貸与のみ利用のケースの点検も対象として実施●介護給付費適正化システムを活用しヒアリングシートを送付、回収し内部で点検を実施、またケアプラン点検では外部の主任介護支援専門員と連携し保険者と包括の専門職でケアプラン点検を行い、介護給付費適正化の実施と過不足ないサービスの適正利用につなげることができた。（年４回、７件）●理学療法士による調査により、適正な住宅改修が行えた。（13件）	a		b	b	c	b	c
		2,832	2,557	3									Ⅱ

基本情報				事務事業評価										
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)	
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性	
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上		
		令和５年度												令和５年度
		令和６年度											令和６年度	
7767	（介護保険特別会計）一般介護予防事業費	11,980	11,877	2	●一般介護予防事業として「元気アップ講座」「フレイル予防教室」「健幸教室」の実施●「元気アップ講座」「フレイル予防教室」では、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の取り組みとして、専門職による講座の実施	●コロナ感染拡大や天候不良で休止となる教室もありましたが、概ね予定通り実施●フレイル予防教室は4教室から5教室へ拡充して実施●第9期介護保険事業計画の開始に伴い、「生きがい活動教室」を終了し、新たに「元気アップ講座」を開始●高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施で取り組んでいる健康講座において健診受診勧奨を行っており、後期高齢者循環器健診の受診率は年々上昇 【受診率】 令和6年度：22.3% 令和5年度：22.0%	a	b	b	c	b	c	Ⅲ	
		9,643	9,545	2									Ⅲ	

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	当該年度		進捗状況	今後の方向性
	Ⅰ層	2層	3層	プロジェクト			目標値	実績値	令和5年度	
									令和6年度	
基本目標3	3	6	Ⅰ	—	高齢者の社会参加の推進と助け合い活動の創出	【再掲】 健康寿命（平均自立期間）男性 （日常生活動作が自立している期間の平均）	80.7 歳	82.3 歳	B	Ⅱ
						【再掲】 健康寿命（平均自立期間）女性 （日常生活動作が自立している期間の平均）	85.2 歳	84.7 歳		
						【再掲】 要介護認定率 （第Ⅰ号被保険者に占める要支援・要介護者の割合） ●介護予防事業に取り組んでいるものの、後期高齢者数の増加に伴い要介護認定率は上昇しています。	15.5 以下 %	15.9 %	B	Ⅱ
						【再掲】 介護予防に資する通いの場への参加率 （月Ⅰ回以上開催している通いの場へ参加している人数／65歳以上人口） ●フレイル予防教室を拡充したことで、通いの場への参加率は上昇しています。	7.0 %	9.9 %		

基本情報					事務事業評価												
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）		達成 度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)					改善 (Action)					
		予算額	決算額		主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性	有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性					
									町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例	民 間 活 用		手 法 見 直 し	質 の 向 上			
		令和 5 年度					令和 5 年度										
		令和 6 年度					令和 6 年度										
					事務事業との関連性なし												

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標3	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標3	3	4	2	—	包括的に機能する相談・支援体制の整備	●町担当職員と関係機関の担当職員との間の連絡や情報共有を密に行ったことで、緊急的な事案にも迅速に対応ができました。	—	—	—	—
									A	I

【産業振興課】事務事業・実施計画（施策）評価

■達成状況・・・（－）当該年度の評価なし ■事業終了・・・国や県の事業も含む

	事業コード・事業名称		実施計画と連動なし （○）	達成状況 1.目標を大きく上回って達成 4.目標を下回った 2.目標を上回って達成 5.目標を大きく下回った 3.ほぼ目標どおり					頁
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
産業振興課	3111	農業委員会費		3	3	3	4		104
	3211	経営所得安定対策事業		3	3	3	3		105
	3212	機構集積協力金交付事業		3	3	3	3		106
	3213	新規就農・経営継承総合支援事業		3	3	3	4		108
	3221	環境保全型農業直接支援対策事業		3	3	3	3		110
	3225	集落営農支援事業		3	3	3	3		111
	3232	都市・農村交流事業	●	4	4	4	4		112
	3290	農作物災害等対策事業		3	3	3	3		113
	3300	農業振興総合対策事業		3	2	2	3		114
	3301	中山間地域等直接支払事業		3	3	3	3		116
	3404	農地整備事業		3	3	2	3		117
	3413	多面的機能支払		3	3	3	3		118
	3415	農村地域防災減災事業		3	3	3	3		119
	3423	農業基盤整備促進事業		3	3	—	3		120
	3424	農地耕作条件改善事業		3	3	事業終了	事業終了	事業終了	—
	3425	農業水路等長寿命化・防災減災事業		—	—	3	3		121
	3431	ほ場整備事業		—	—	3	3		122
	3741	道の駅本郷建物管理費	●	3	3	3	3		123

	事業コード・事業名称		実施計画と 連動なし (●)	達成状況 1.目標を大きく上回って達成 2.目標を上回って達成 3.ほぼ目標どおり 4.目標を下回った 5.目標を大きく下回った					頁
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
産業振興課	3742	道の駅花の里いいじま管理費		3	2	2	3		124
	3743	道の駅田切の里管理費		3	3	3	3		125
	3801	林業総務費	●	2	2	2	3		126
	3851	緑化推進事業		3	3	3	3		127
	3855	林業振興事業		4	3	3	2		128
	3856	松くい虫防除事業		3	3	3	3		129
	3859	信州の森林づくり事業		3	4	4	3		130
	3863	町有林整備事業		2	3	3	2		131
	3865	森林環境譲与税活用事業		3	3	3	3		132
	3903	林道整備事業		2	2	3	3		133
	4111	商工総務費	●	3	3	3	3		134
	4121	商工業振興費		3	3	2	2		135
	4123	伝統技術等承継支援事業		1	2	事業終了	事業終了	事業終了	—
	4124	くらし復興券1億円事業		3	3	事業終了	事業終了	事業終了	—
	4125	事業承継支援事業		4	4	2	2		138
	4162	企業誘致費		3	2	1	2		143
	5811	農業施設災害復旧事業（補助）	●	3	3	—	—		—
	5812	農業施設災害復旧事業（単独）	●	3	3	3	—		—
	5821	林業施設災害復旧事業（補助）	●	3	—	—	—		—
	5822	林業施設災害復旧事業（単独）	●	3	—	3	—		—

基本 目標 4

<産業振興>

地域特性を生かした 産業の創造と振興のまちづくり

《基本的方向》

ふたつのアルプスの恵みがもたらす農地や森林、水などの地域資源や、培ってきた伝統や文化を生かした、多様な産業による活力あるまちを目指します。

将来にわたって暮らしやすい町であるためには、そこに住みたいという想いだけではなく、暮らし続けるための「しごと」が必要です。地域の特性を生かしながら、新しい時代にも対応できる産業を創造していきます。

※施策の進捗状況

A 順調に推移している B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている

■進捗状況・・・（－）当該年度の評価なし

政策4－（1） 将来を見据えた農 地の有効利用	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① 5年～10年後の農地の利用意向調査の実施	【再掲】担い手への農地利用集積面積（増加）	B	B	B
	② 計画的な農地利用の調整	遊休農地の面積（減少）	B	B	B
	③ 担い手や新規就農希望者とのマッチング	【再掲】担い手への農地利用集積面積（増加）	B	B	B
政策4－（2） 地域の協力による 農作業の効率化	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① 地区営農組合による農地利用調整の推進	農地流動化率	B	B	B
	② 農地所有者の農地保全に対する意識の醸成	【再掲】農地流動化率	A	A	A
	③ 担い手法人等の要請により地区営農組合が草刈り隊を派遣する仕組みづくり	【再掲】畦畔管理指針の作成（延数）	B	B	B
政策4－（3） スマート農業の推 進	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① RTK基地局の活用推進によりスマート農業の普及を図る	スマート農業取り組み事例	B	B	B
	② スマート農業に対応する農業支援情報システムの構築検討	【再掲】スマート農業取り組み事例	A	A	B
	③ 経営体の機械の導入、スマート農業化への支援	【再掲】スマート農業取り組み事例	A	A	A
政策4－（4） 就農希望者への積 極支援	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① 「アグリイノベーション2030」の仕組みづくり	新規就農者数（延数）	B	B	B
	② 新規就農者の積極的な受け入れ・支援	【再掲】新規就農者数（延数）	B	B	B
	③ 国、県、JAの就農支援制度を活用した研修や初期投資の負担軽減	【再掲】新規就農者数（延数）	B	B	B
	④ 営農組合の農地利用調整による円滑な農地の貸借支援	【再掲】担い手への農地利用集積面積（増加）	B	B	B

※施策の進捗状況

A 順調に推移している B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている

■進捗状況・・・（－）当該年度の評価なし

政策４－（５） 地域資源を生かした農業の展開	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和４年度	令和５年度	令和６年度
	① 消費者ニーズを中心に捉えた新たな振興作物の研究	畦畔管理指針の作成（延数）	B	B	B
	② ６次産業化の展開による農業の高付加価値化を研究	【再掲】新規就農者数（延数）	B	B	B
	③ 日曾利園場整備事業を生かしたブドウ等の新植を検討	【再掲】新規就農者数（延数）	B	B	A
	④ 新たな振興作物としての柿の新植を検討	【再掲】新規就農者数（延数）	B	B	B
	⑤ バイオマス発電施設の排熱を利用した付加価値の高い農産物生産を研究	【再掲】新規就農者数（延数）	B	B	B
	⑥ 耕作条件が不利な水田の畑化の検討	【再掲】遊休農地の面積（減少）	B	B	B
	⑦ ミヤマシジミとコマツナギを保全する畦畔管理の推進	【再掲】畦畔管理指針の作成（延数）	B	B	B
	⑧ ピオトープや水田の冬期湛水による生物多様性環境の保全	【再掲】畦畔管理指針の作成（延数）	B	B	B
	⑨ グローバルギャップへの取り組み	【再掲】畦畔管理指針の作成（延数）	B	B	B
	⑩ 地域で生産された農産物を地域で消費する地産地消の取り組み	道の駅年間来場者数（年）	B	B	A
政策４－（６） 農業生産基盤の整備	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和４年度	令和５年度	令和６年度
	① ほ場整備の推進	定性的な成果	B	B	B
	② 水路構造物等長寿命化修繕	水路補修箇所数（年）	B	B	A
	③ 中央道跨水路橋の統廃合検討	定性的な成果	B	B	B
政策４－（７） 地域の特徴を生かした企業誘致	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和４年度	令和５年度	令和６年度
	① 音楽村構想「アルプスの音色が響くまち」の推進	新規企業誘致数（延数）	C	B	C
	② 発酵食品関連企業と連携した発酵食文化の推進	【再掲】新規企業誘致数（延数）	B	B	B
	③ 企業のビジネスマッチングや販路開拓に繋がる支援	メディア掲載回数（年）	B	終了	終了
	④ 優良企業の誘致	地元滞留率	B	A	A
	⑤ わら細工などの伝統技術等の承継支援	【再掲】メディア掲載回数（年）	B	終了	終了
	⑥ 飯島町商工会と連携した工業の支援	工業展参加事業者数	B	B	B

※施策の進捗状況

A 順調に推移している B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている

■進捗状況・・・（－）当該年度の評価なし

政策4－（8） 賑わう商店と買い物環境づくり	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① 商工業者が自ら提案しチャレンジできる仕組みづくり	【再掲】地元滞留率	B	B	B
	② 買い物弱者対策を含めた買い物環境の充実	【再掲】地元滞留率	B	B	B
	③ 飯島町商工会等と連携した商業の支援	【再掲】地元滞留率	B	B	B
	④ 感染症対策を踏まえ必要に応じた商品券の発行等による消費喚起	【再掲】地元滞留率	A	終了	終了
	⑤ 感染症に対応するため非接触等のキャッシュレス決済の推進と支援	定性的な成果	—	—	—
政策4－（9） 新しいワークスタイルの推進と起業支援	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① サテライトオフィスの誘致を推進	観光客数（年）	A	B	B
	② 求人情報の提供と就労サポート体制の充実	定性的な成果	B	B	B
	③ 人材育成の推進・支援	起業数（年）	B	B	B
	④ 飯島町商工会と連携した起業支援	町内の事業所数（延数）	B	B	B
	⑤ テレワークの推進	定性的な成果	—	—	—
政策4－（10） スマート林業の推進	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① ICT技術による森林測量を基にした森林整備の推進及び生産性の向上	定性的な成果	B	B	B
	② 森林環境譲与税を活用した民有林の集約化	森林の管理に関する意向調査した面積（年）	B	B	B
	③ ゾーニングによる計画的な森林整備の推進	町有林の造林面積（年）	B	B	A
	④ 作業路網等、林業基盤整備の推進	定性的な成果	A	A	A
	⑤ 間伐材等を利用した自然エネルギー活用の推進	定性的な成果	B	B	B
政策4－（11） 治山・治水による森林の機能向上	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① 治山・治水事業の推進	定性的な成果	B	B	B

※施策の進捗状況

A 順調に推移している B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている

■進捗状況・・・（－）当該年度の評価なし

政策4－(12) 有害鳥獣等対策の 推進	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① 猟友会や鳥獣被害対策実施隊との連携による有害鳥獣駆除の推進	有害鳥獣捕獲頭数（年）	B	B	B
	② 自然条件及び地域の特性等を考慮した樹種転換の推進	樹種転換実施面積（年）	A	B	B
	③ 松くい虫など森林病虫害の被害拡大防止策の充実	定性的な成果	A	A	B
	④ 枯損木処理による林業被害防止策の強化	松枯損木伐倒処理量（年）	A	A	B
	⑤ 有害鳥獣等対策の啓発活動の推進	有害鳥獣被害対策の啓発（年）	B	B	A

基本情報				事務事業評価										
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)	
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性	
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上		
		令和5年度							令和5年度					
		令和6年度					令和6年度							
3111	農業委員会費	12,014	11,920	3	●各地区の農地利用調整会議に参加、地域の担い手への農地の面的集積●遊休農地解消のための農地パトリールの実施	●担い手への新規集積実績 令和6年度：△4.1ha 令和5年度：10.8ha ●遊休農地の解消 令和6年度：1.2ha 令和5年度：1.3ha	a	a	b	a	a	a	I	
		12,251	11,624	4									I	

実施計画（施策）評価											
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性		
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度		
							目標値	実績値	令和6年度		
基本目標4	4	1	2	—	計画的な農地利用の調整	遊休農地の面積（減少） （農地等の利用の最適化に関する指針）再生可能（A分類）とした遊休農地面積 ●条件の悪い農地は借り手がなく、遊休農地になりやすい状況です。	0.5 ha	1.2 ha	B	II	
						担い手への農地利用集積面積（増加） （農地等の利用の最適化に関する指針）認定農業者等の担い手への集積面積 ●所有者が相続放棄した農地が増加傾向にあります。	5.0 ha	△4.1 ha			
						新規参入の農業経営体数（増加） （農地等の利用の最適化に関する指針）30a以上経営する新規参入の農業経営体数	5人	2人	B	II	
	4	5	6	—	耕作条件が不利な水田の畑化の検討	【再掲】 遊休農地の面積（減少） （農地等の利用の最適化に関する指針）再生可能（A分類）とした遊休農地面積	0.5 ha	1.2 ha	B	II	
									B	II	

基本情報				事務事業評価										
				達成度	計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)					改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性	
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上		
令和５年度		令和６年度		令和５年度		令和６年度								
3211	経営所得 安定対策 事業	2,533	2,530	3	●町、町農業再生協議会、営農組合などと協力し、生産調整を実施●生産調整の中で、町農業再生協議会での転作作物の検討を実施	●営農組合との調整により町内の主食用米の生産調整数量目安値の達成率が99.9%となった。●転作作物の検討を行い、周知・支援を実施●農林水産省「みえるらべる」温室効果ガス削減三ツ星、生物多様性二ツ星の認定を受けた。	a	b	b	b	b	b	Ⅱ	
		1,954	1,954	3									Ⅱ	

実施計画（施策）評価										
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（３層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	Ⅰ 層	Ⅱ 層	Ⅲ 層	プロジェクト			当該年度		令和 5 年度	
							目標値	実績値	令和 6 年度	
基本目標 4	4	3	2	—	スマート農業に対応する農業支援情報システムの構築検討	【再掲】 スマート農業取り組み事例 ●スマート農業機械については、総じて既存の機械より高額であり、差額分の費用対効果を農業経営体が適正に分析し技術導入できるように、情報提供や実演会等の機会提供に努める必要があります。●水稻や土地利用型作物、施設園芸の分野では技術進歩が進んできた一方で、露地野菜や果樹等の分野ではまだまだ効果的な技術が出てきていない状況です。	3 件	11 件	A	Ⅱ
									B	Ⅱ

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	Ⅰ層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標4	4	Ⅰ	Ⅰ	—	5年～10年後の農地の利用意向調査の実施	【再掲】 担い手への農地利用集積面積（増加） （農地等の利用の最適化に関する指針）認定農業者等の担い手への集積面積 ●高齢化や後継者の地元離れ等により、今後益々担い手への農地の集積面積は増加すると思われるが、担い手も受けきれなくなて来ている状況があります。	5.0 ha	△4.Ⅰ ha	B	Ⅱ
						意向調査の実施数（農業経営体） （「農業経営体」とは、世帯で農業を行う家族経営体と法人などの組織経営体に該当する者）	300 件	— 件	B	Ⅱ
	4	Ⅰ	2	—	計画的な農地利用の調整	遊休農地の面積（減少） （農地等の利用の最適化に関する指針）再生可能（A分類）とした遊休農地面積	0.5 ha	Ⅰ.2 ha	B	Ⅱ
						【再掲】 担い手への農地利用集積面積（増加） （農地等の利用の最適化に関する指針）認定農業者等の担い手への集積面積	5.0 ha	△4.Ⅰ ha		
						【再掲】 新規参入の農業経営体数（増加） （農地等の利用の最適化に関する指針）30a以上経営する新規参入の農業経営体数	5 人	2 人		
	4	Ⅰ	3	—	担い手や新規就農希望者とのマッチング	【再掲】 担い手への農地利用集積面積（増加） （農地等の利用の最適化に関する指針）認定農業者等の担い手への集積面積	5.0 ha	△4.Ⅰ ha	B	Ⅱ
									B	Ⅱ
	4	4	4	—	営農組合の農地利用調整による円滑な農地の貸借支援	【再掲】 担い手への農地利用集積面積（増加） （農地等の利用の最適化に関する指針）認定農業者等の担い手への集積面積	5.0 ha	△4.Ⅰ ha	B	Ⅱ
									B	Ⅱ

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	当該年度		進捗状況	今後の方向性
基本目標4	1層	2層	3層	プロジェクト			目標値	実績値	令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
	4	4	1	—	「アグリイノベーション2030」の仕組みづくり	新規就農者数（延数） ●人件費や光熱水費、燃料代の高騰に加え、金属の高騰により新規の施設園芸を断念する農業者が多い状況であり、収益性のある就農の形を組み立てて行く事が年々難しくなって来ています。●全国・全分野的に人手不足の状況が続いており、国県等とも協力して、次の担い手となる世代に「農業」を選んでもらう工夫や取り組みが必要です。	11人	4人	B	II
	4	4	2	—	新規就農者の積極的な受け入れ・支援	【再掲】 新規就農者数（延数）	11人	4人	B	II
	4	4	3	—	国、県、JAの就農支援制度を活用した研修や初期投資の負担軽減	【再掲】 新規就農者数（延数）	11人	4人	B	II
	4	5	3	—	日曽利圃場整備事業を生かしたブドウ等の新植を検討	【再掲】 新規就農者数（延数）	11人	4人	B	II
	4	5	4	—	新たな振興作物としての柿の新植を検討	【再掲】 新規就農者数（延数）	11人	4人	B	II
	4	5	5	—	バイオマス発電施設の排熱を利用した付加価値の高い農産物生産を研究	【再掲】 新規就農者数（延数）	11人	4人	B	II
									B	II
									B	II
									B	II
									B	II

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)				改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度							
3221	環境保全 型農業直 接支援対 策事業	1,552	1,190	3	●国際水準GAPに取り組むための 研修会の実施 （参考）GAP：農業生産工程管理	●国際水準GAPに取り組むための 研修会は、必須ではなくなった。● 越百黄金が、農林水産省「みえるら べる」温室効果ガス削減三ツ星、生 物多様性二ツ星認定を受けた。	a	a	b	a	a	a	Ⅲ
		1,431	919	3			Ⅲ						

実施計画（施策）評価											
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性		
基本目標4	Ⅰ層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度		
							目標値	実績値	令和6年度		
基本目標4	4	5	Ⅰ	—	消費者ニーズを中心に捉えた新たな振興作物の研究	畦畔管理指針の作成（延数） （環境に配慮した農業を展開するための畦畔管理指針（基準等）を作成）	Ⅰ 件	Ⅰ 件	B	Ⅱ	
									B	Ⅱ	
	4	5	2	—	6次産業化の展開による農業の高付加価値化を研究	【再掲】 新規就農者数	Ⅱ 人	4 人	B	Ⅱ	
									B	Ⅱ	

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要性		有効性	効率性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民間 での 事例		民間 活用	手法 見直し	質の 向上	
令和 5 年度											令和 5 年度		
令和 6 年度											令和 6 年度		
3225	集落営農 支援事業	2,990	2,905	3	●地区営農組合の自立支援と担い手 法人の連携強化を図るため、 4 地区 との懇談する機会の調整	●自立状況に合わせて地区営農組合 へ補助金として支援	a	b	b	a	b	b	I
		3,035	2,765	3									I

実施計画（施策）評価											
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3 層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗 状況	今後の 方向性			
基本 目標 4	Ⅰ 層	2 層	3 層	プロジェ クト					当該年度		令和 5 年度
									目標値	実績値	令和 6 年度
4	4	2	Ⅰ	—	地区営農組合による農地利用調整の 推進	農地流動化率 (経営耕地面積に対する借入農地面積の割合)	74.0 %	70.9 %	B	I	
									B	I	

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
		令和５年度					令和６年度			令和５年度		令和６年度	
3232	都市・農村交流事業	85	50		4	●都市との交流による農産物の流通、地域の活性化推進●グリーンツーリズムへの住民意識の高揚	●(株)南信州観光公社との共催で、農家民宿にかかる説明会を開催（参加者２名）	a	b	c	c	a	b
		110	69	4									Ⅱ

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度							
3290	農作物災害等対策事業	2,738	2,664	3	●国庫補助事業を活用した狩猟器具の購入による鳥獣被害防止の実施	●国庫補助事業を活用した狩猟器具の購入により鳥獣被害防止を図った。（狩猟わな発信機・受信機）	a	a	b	a	a	b	Ⅱ
		3,193	3,028	3			Ⅱ						

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況	今後の方向性		
基本目標4	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
		4	2	2	—	農地所有者の農地保全に対する意識の醸成	【再掲】 農地流動化率 （経営耕地面積に対する借入農地面積の割合）	74.0 %	70.9 %	A
									A	I
	4	5	1	—	消費者ニーズを中心に捉えた新たな振興作物の研究	畦畔管理指針の作成（延数） （環境に配慮した農業を展開するための畦畔管理指針（基準等）を作成）	1 件	1 件	B	II
									B	II

基本情報				事務事業評価												
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)			
事業コード	事業名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要性		有効性	効率性			今後の方向性			
		予算額	決算額				町民ニーズ	民間での事例		民間活用	手法見直し	質の向上				
		令和5年度												令和5年度		
		令和6年度												令和6年度		
3300	農業振興総合対策事業	28,825	27,766	2	●スマート農業を推進するため飯島町農業再生協議会によるRTK-GNSS基地局の運用を開始●物価高が続く中で町の主幹産業の担い手である農業者を支援し、農業経営継続への負担を軽減することを目的とした交付金の交付（農業資材等物価高騰対策事業交付金）	●農村環境を守るために重要な小規模な経営体への補助制度を実施（7,487千円）●女性が働きやすい環境を整備する経営体への補助を実施（6,000千円）●担い手のスマート農業導入を支援（8,771千円）●農業資材等物価高騰対策事業交付金の交付（7,900千円）	a	b	b	b	b	b	Ⅱ			
		31,491	31,185	3									Ⅱ			

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）		進捗状況	今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標4	4	1	2	—	計画的な農地利用の調整	【再掲】 遊休農地の面積（減少） （農地等の利用の最適化に関する指標）再生可能（A分類）とした遊休農地面積 ●条件の悪い農地は借り手がなく、遊休農地になりやすい状況です。	0.5 ha	1.2 ha	B	II
					【再掲】 担い手への農地利用集積面積（増加） （農地等の利用の最適化に関する指標）認定農業者等の担い手への集積面積 ●所有者が相続放棄した農地が増加傾向にあります。	5.0 ha	△4.1 ha	B		
					【再掲】 新規参入の農業経営体数（増加） （農地等の利用の最適化に関する指標）30a以上経営する新規参入の農業経営体数	5 人	2 人			
	4	2	3	—	担い手法人等の要請により地区営農組合が草刈り隊を派遣する仕組みづくり	【再掲】 畦畔管理指針の作成（延数） （環境に配慮した農業を展開するための畦畔管理指針（基準等）を作成）	1 件	1 件	B	I
									B	II
	4	3	1	—	R T K基地局の活用推進によりスマート農業の普及を図る	スマート農業取り組み事例 ●スマート農業機械については、総じて既存の機械より高額であり、差額分の費用対効果を農業経営体が適正に分析し技術導入できるように、情報提供や実演会等の機会提供に努める必要があります。●水稻や土地利用型作物、施設園芸の分野では技術進歩が進んできた一方で、露地野菜や果樹等の分野ではまだまだ効果的な技術が出てきていない状況です。	3 件	11 件	B	I
									B	II
	4	3	2	—	スマート農業に対応する農業支援情報システムの構築検討	【再掲】 スマート農業取り組み事例	3 件	11 件	A	II
									B	II
	4	3	3	—	経営体の機械の導入、スマート農業化への支援	【再掲】 スマート農業取り組み事例	3 件	11 件	A	II
									A	I
	4	5	1	—	消費者ニーズを中心に捉えた新たな振興作物の研究	畦畔管理指針の作成（延数） （環境に配慮した農業を展開するための畦畔管理指針（基準等）を作成）	1 件	1 件	B	II
									B	II
	4	5	7	—	ミヤマシジミとコマツナギを保全する畦畔管理の推進	【再掲】 畦畔管理指針の作成（延数） （環境に配慮した農業を展開するための畦畔管理指針（基準等）を作成）	1 件	1 件	B	II
								B	II	
4	5	8	—	ビオトープや水田の冬期湛水による生物多様性環境の保全	【再掲】 畦畔管理指針の作成（延数） （環境に配慮した農業を展開するための畦畔管理指針（基準等）を作成）	1 件	1 件	B	II	
								B	II	
4	5	9	—	グローバルギャップへの取り組み	【再掲】 畦畔管理指針の作成（延数） （環境に配慮した農業を展開するための畦畔管理指針（基準等）を作成）	1 件	1 件	B	II	
								B	II	

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標4	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標4	4	2	2	—	農地所有者の農地保全に対する意識の醸成	【再掲】 農地流動化率 （経営耕地面積に対する借入農地面積の割合）	74.0 %	70.9 %	A	I
									A	I

基本情報				事務事業評価											
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)		
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性		
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上			
									令和5年度					令和5年度	
									令和6年度				令和6年度		
3404	農地整備 事業	50,417	9,525	2	●小規模な農業用排水路の改良● ため池監視システムの運用●ため池 の浚渫工事の実施	●地元要望のあった箇所に現物●た め池監視システムを活用し大雨等の 管理作業に運用●地元要望のあっ た、ため池の浚渫工事を実施	a	a	b	a	b	a	I		
		59,542	58,641	3			I								

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況	今後の方向性		
基本目標4	Ⅰ層	Ⅱ層	Ⅲ層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標4	4	6	2	—	水路構造物等長寿命化修繕	水路補修箇所数（年） （多面的機能支払交付金の長寿命化事業実績数） ●修繕要望箇所の中には広範囲に及び、老朽化がみられ、大規模改修が必要となるため、当該事業での採択が難しく、町施工箇所の増加が見込まれます。	50 箇所	63 箇所	B	I
									A	I

基本情報				事務事業評価										
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)	
事業費（千円）		主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等		必要性		有効性	効率性			今後の 方向性			
												町民 ニーズ	民間 での 事例	民間 活用
予算額	決算額				令和５年度			令和６年度		令和５年度		令和６年度		
事業 コード	事業 名称													
3413	多面的機能支払	73,980	73,971	3	●多面的機能支払交付金制度の取り組み	●小規模な工事を行うことのできる長寿命化事業の配分が要望額に対して少ないため、交付金の範囲内で地元施工をしている状況●長寿命化については町単独での事業を実施し、自動水門遠隔操作装置の導入	a	a	a	a	a	a	I	
		80,769	80,710	3			I							

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
		令和５年度											
		令和６年度											令和６年度
3415	農村地域 防災減災 事業	21,300	21,170	3	●飯島町中央道跨水路橋耐震対策工 事（花の里地区）の適正な事務処理 の実施●飯島地区JR寺平水管橋、原 井用水工事が着手できるよう地元調 整	●花の里地区では水路橋の耐震補強 工事の完了●ＪＲ寺平水管橋の工事 に着手	a	a	b	a	a	a	I
		33,043	33,043	3									I

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標4	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標4	4	6	2	—	水路構造物等長寿命化修繕	【再掲】 水路補修箇所数（年） （多面的機能支払交付金の長寿命化事業実績数） ●修繕要望箇所の中には広範囲に及び老朽化がみられ、大規模改修が必要となるため、当該事業での採択が難しく、町施工箇所の増加が見込まれます。	50箇所	63箇所	B	I
									A	I

基本情報					事務事業評価									
					達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）		主 な 取 組 内 容		主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性	
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上		
令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度								
3425	農業水路等長寿命化・防災減災事業	419	0	3	●南町地区農業用水路改良工事	●関係者との調整や迂回路の確保等に関する協議を行い工事を実施	a	a	b	a	a	a	Ⅱ	
		9,531	9,381	3									I	

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標4	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標4	4	6	2	—	水路構造物等長寿命化修繕	【再掲】 水路補修箇所数（年） （多面的機能支払交付金の長寿命化事業実績数） ●修繕要望箇所の中には広範囲に及ぶ老朽化がみられ、大規模改修が必要となるため、当該事業での採択が難しく、町施工箇所の増加が見込まれます。	50箇所	63箇所	B	I
									A	I

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
		令和５年度					令和６年度			令和５年度		令和６年度	
3431	ほ場整備 事業	339	335		3	●日曽利地区：県営事業化に向けた 手続き●島河原地区：事業化に向け た検討	●日曽利地区は、法手続き等の事務 手続きを行い県営事業として開始● 島河原地区は、継続して地元との調 整は必要だが、地権者会において事 業を実施していくことを確認	a	a	b	a	a	a
		21,383	20,968	3									Ⅰ

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和 5 年度		令和 6 年度		令和 5 年度		令和 6 年度							
3741	道の駅本郷建物管理費	454	400	3	●道の駅本郷の適正管理による情報発信●地域づくりの推進・農業振興（農産物直売、農産加工品直売）	●施設管理者により適正に施設が運営された。●前年までに行った修繕の効果により、本年度については大きな施設修繕は無かった。	b	a	a	c	a	c	Ⅱ
		284	184	3									Ⅰ

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標4	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
					施策との関連性なし					

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
		令和５年度											
令和６年度									令和６年度				
3742	道の駅花の里いいじま管理費	10,733	9,907	2	●道の駅花の里いいじまによる情報発信・地域づくりの推進●必要な修繕等の実施●ＥＶ充電器設置に向けた研究	●長引くコロナ禍を脱し、施設を訪れる方の人数が回復して来た。●施設建設から23年経過し、老朽化した箇所が多く見て取れる中、優先順位を考えながら修繕対応を行っている。本年度については食堂施設へ修繕事業を実施した。●地域等からも要望のあった、ＥＶ充電設備を整備	a	a	b	c	a	c	Ⅱ
		14,474	13,014	3									Ⅰ

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)				改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和５年度		令和６年度		令和５年度		令和６年度							
3743	道の駅田切の里管理費	9,217	7,992	3	●ECサイトの生産者の掲載の増加を図る（登録者数分）●観光農園実施への支援	●長引くコロナ禍を脱し、施設を訪れる方の人数が回復して来た。●施設完成から約10年経過し、修繕が必要となって来ていた駐車場区画の引き直しや安全対策等を実施	a	a	b	c	a	c	Ⅱ
		12,759	11,985	3									

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標4	4	5	10	—	地域で生産された農産物を地域で消費する地産地消の取り組み	道の駅年間来場者数（年） （道の駅花の里いいじま、道の駅田切の里への来場者数） ●道の駅施設は単なる休憩施設から地域の魅力発信・地域振興の拠点としての役割を求められることが増加してきている。●全国的には弱い道の駅が淘汰される事例も出てきており、指定管理者が実力を発揮し、魅力的かつ経営としても強い施設づくりに取り組んでもらえるように連携を取り支えていく事が必要	310,000 人	323,046 人	B	Ⅱ
									A	Ⅱ

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性		今 後 の 方 向 性	
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し		質 の 向 上
令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度							
3801	林業総務費	8,379	8,149	2	●森の学校の実施●市町村森林整備支援事業等を活用した、危険・支障木伐採によるライフラインの確保●森林整備計画の意見徴収等	●地元要望等のあった危険・支障木の伐採を行い、ライフラインの確保	a	a	b	a	b	a	Ⅱ
		7,675	7,112	3									Ⅰ

実施計画（施策）評価											
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性		
基本目標4	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度		
							目標値	実績値	令和6年度		
						施策との関連性なし					

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度							
3851	緑化推進 事業	579	385	3	●植栽ボランティア●森の学校、緑の少年団	●町内の小学生に対し「森の学校」を開催し、森林への関心を深める普及啓発活動を実施●植栽ボランティア春・夏作業において、坊主平のモミジは順調な成長がみられた。●各地区や町内の学校に対し、緑の募金還元金を財源とした補助金を交付	a	a	b	a	a	a	I
		598	428	3			I						

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標4	4	10	3	—	ゾーニングによる計画的な森林整備の推進	町有林の造林面積（年） （町有林にて造林（間伐・更新伐等）を行った面積） ●町有林について、30数年ぶりに主伐・再造林を行い、森林の適正な更新を図ることができました。	5.0 ha	1.5 ha	B	I
						間伐実施面積（年） （町内で施業された間伐実施面積） ●町西側の山林には急峻な地形地が多いため、今回のような主伐・再造林を効率的に行うことができない状況です。	75.0 ha	4.6 ha	A	I

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)					改善 (Action)	
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額							町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例	民 間 活 用	
		令和５年度					令和５年度						
		令和６年度						令和６年度					
3856	松くい虫 防除事業	3,405	3,324	3	●防除対策の実施（枯損木処理、地上薬剤散布）	●被害拡大防止のため、枯れたアカマツの適正な処理を実施●枯損木破砕処理（21.75㎡）、地上薬剤散布（2ha）●本年度は商工会60周年記念式典に合わせ、記念ノベルティ（ペン立て）を作成・配布し、森林環境譲与税への関心を高めた。	b	a	b	b	b	a	I
		2,535	2,459	3									II

実施計画（施策）評価												
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性			
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度			
							目標値	実績値	令和6年度			
基本目標4	4	12	3	—	松くい虫など森林病虫害の被害拡大防止策の充実	●枯損木処理等を計画的に実施したことで、被害拡大を防ぐことにつながっています。	—	—	—	—	A	I
											B	II
	4	12	4	—	枯損木処理による林業被害防止策の強化	松枯損木伐倒処理量（年） （松くい虫被害により枯死した木を伐倒処理した材積量） ●松くい虫による被害が高止まり状態であり、高標高域への被害拡大も散見されています。	10.0	㎡	21.8	㎡	A	I
											B	II

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和５年度		令和６年度		令和５年度		令和６年度							
3859	緑化推進 事業	0	0	4	●県等が実施する補助事業に町独自で補助金を交付し、補助の嵩上げをすることで町の林業振興を図る。	●森林整備実施面積により、林業事業体一者に嵩上げ補助金を交付	a	a	a	a	a	a	Ⅱ
		148	148	3			Ⅱ						

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標4	4	10	3	—	ゾーニングによる計画的な森林整備の推進	【再掲】 町有林の造林面積（年） （町有林にて造林（間伐・更新伐等）を行った面積） ●町有林について、30数年ぶりに主伐・再造林を行い、森林の適正な更新を図ることができました。	5.0 ha	1.5 ha	B	I
						【再掲】 間伐実施面積（年） （町内で施業された間伐実施面積） ●町西側の山林には急峻な地形地が多いため、今回のような主伐・再造林を効率的に行うことができない状況です。	75.0 ha	4.6 ha	A	I

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
		令和５年度											
		令和６年度					令和６年度						
3863	町有林整備事業	4,529	4,525	3	●町有林の間伐	●事業の実施だけでなく、町民向けの現地見学会やシンポジウムを実施し、事業への関心を高めた。●森林経営計画に基づき、町有林の主伐・再造林（1.44ha）を実施	a	a	a	a	b	a	Ⅱ
		10	9	2									I

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標4	4	10	3	—	ゾーニングによる計画的な森林整備の推進	【再掲】 町有林の造林面積（年） （町有林にて造林（間伐・更新伐等）を行った面積） ●町有林について、30数年ぶりに主伐・再造林を行い、森林の適正な更新を図ることができました。	5.0 ha	1.5 ha	B	I
						【再掲】 間伐実施面積（年） （町内で施業された間伐実施面積） ●町西側の山林には急峻な地形地が多いため、今回のような主伐・再造林を効率的に行うことができない状況です。	75.0 ha	4.6 ha	A	I

基本情報				事務事業評価										
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)	
事業コード	事業名称	事業費（千円）			主な 取組 内容	主な 取組 内容の 実績等	必要性		有効性	効率性			今後の 方向性	
		予算額	決算額				町民 ニーズ	民間 での 事例		民間 活用	手法 見直し	質の 向上		
令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度								
3903	林道整備 事業	33,012	32,637	3	●企業局交付金を活用した林道横根山線の改修工事●林道横根山線の通行止め先エリア内における落石対策工事●林道辰巳ヶ沢入線の落石対策工事	●企業局交付金により、林道横根山線の道路拡幅、舗装工事等を実施●林道横根山線の落石対策工事に着手●林道辰巳ヶ沢入線の落石対策工事を実施	a	a	b	a	a	a	I	
		36,073	35,725	3									I	

実施計画（施策）評価												
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性			
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度					
							目標値		実績値		令和6年度	
基本目標4	4	10	4	—	作業路網等、林業基盤整備の推進	●林道横根山線と林道辰巳ヶ沢入線について、登山客等の通行が増加しており、通行車両や人の安全確保を図るため、法面からの落石防止等の対策をお香必要があります。	—	—	—	—	A	I
											A	I

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
							令和５年度						
令和６年度												令和６年度	
4121	商工業振興費	235,983	230,244	2	●飯島町商工業振興事業補助金の交付●エネルギー価格高騰対策事業者支援事業交付金の実施●町制度資金のあっせん、利子補給事業●発酵食品のまちづくりの推進●いいちゃん産業祭りの実施	●物価・エネルギー価格高騰の影響を受けている町内事業者の事業継続のための支援を実施（エネルギー価格高騰対策事業者支援事業交付金（240事業所：32,480千円）●いいちゃん産業祭りの会場において発酵食品のまちづくりのPR活動	a	a	a	a	a	a	Ⅱ
		243,989	242,471	2									Ⅱ

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	Ⅰ層	Ⅱ層	Ⅲ層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標4	4	7	Ⅰ	○	音楽村構想「アルプスの音色が響くまち」の推進	新規企業誘致数（延数） （町や土地開発公社が所有する土地や町内の空き工場等への企業誘致） ●令和6年8月1日付で久根平工業団地に隣接する旧大村技研(株)工場建物及び土地を、平和パルプ工業(株)が購入したことで成果目標を達成しました。	Ⅰ社	Ⅰ社	B	Ⅲ
									C	Ⅲ
	4	7	2	○	発酵食品関連企業と連携した発酵食文化の推進	【再掲】 新規企業誘致数（延数） （町や土地開発公社が所有する土地や町内の空き工場等への企業誘致）	Ⅰ社	Ⅰ社	B	Ⅱ
									B	Ⅲ

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	Ⅰ層	Ⅱ層	Ⅲ層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標4	4	8	3	—	飯島町商工会等と連携した商業の支援	【再掲】 地元滞留率 （町内で買物をする世帯の割合） （参考）平成30年3.4％、令和3年度4.4％	6.0　％	4.4　％	B	Ⅱ
									B	Ⅱ
	4	9	3	—	人材育成の推進・支援	起業数（年） （町内で起業した件数）	2　件	1　件	B	Ⅰ
									B	Ⅱ
	4	9	4	—	飯島町商工会と連携した起業支援	町内の事業所数（延数） （町内の事業所数維持（経済センサス）） （参考）平成28年度：432事業所	432　事業所	—　事業所	B	Ⅰ
									B	Ⅰ

基本情報				事務事業評価										
				達成度	計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)					改善 (Action)
事業コード	事業名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要性		有効性	効率性			今後の方向性	
		予算額	決算額				町民ニーズ	民間での事例		民間活用	手法見直し	質の向上		
令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度								
4162	企業誘致費	121,286	120,661	I	●既存企業の工場等新增設に係る補助金支援●商業施設誘致のための造成工事発注●飯島町土地開発公社と連携した企業誘致	●商業施設誘致の成果として「ウエルシア上伊那飯島町店」が8月にオープンした。また、新たに連携協定を結ぶなど民間事業者と連携した事業展開を進めた。●久根平工業団地にある工場が空き工場となるところ、工場を購入する新規企業を誘致●土地開発公社案件で分譲宅地が2件売却	a	b	a	a	b	b	II	
		20,755	20,478	2									II	

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	Ⅰ層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標4	4	7	1	○	音楽村構想「アルプスの音色が響くまち」の推進	【再掲】 新規企業誘致数（延数） （町や土地開発公社が所有する土地や町内の空き工場等への企業誘致）	1 社	1 社	B	Ⅲ
									C	Ⅲ
	4	7	2	○	発酵食品関連企業と連携した発酵食文化の推進	【再掲】 新規企業誘致数（延数） （町や土地開発公社が所有する土地や町内の空き工場等への企業誘致）	1 社	1 社	B	Ⅱ
									B	Ⅲ
	4	7	4	○	優良企業の誘致	【再掲】 新規企業誘致数（延数） （町や土地開発公社が所有する土地や町内の空き工場等への企業誘致）	1 社	1 社	A	Ⅱ
						【再掲】 地元滞留率 （町内で買物をする世帯の割合） （参考）平成30年3.4％、令和3年度4.4％	6.0 %	4.4 %	A	Ⅱ

基本情報				事務事業評価									
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）		達成 度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)					改善 (Action)	
		予算額	決算額		主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性	有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性	
									町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例	民 間 活 用		手 法 見 直 し
令和 5 年度							令和 5 年度						
令和 6 年度						令和 6 年度							
					事務事業との関連性なし								

実施計画（施策）評価												
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性			
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度			
							目標値	実績値	令和6年度			
基本目標4	4	6	3	—	中央道跨水路橋の統廃合検討	●関係所管課（建設水道課）と現地調査等を行い、統廃合の素案の見直しを行うことができました。	—	—	—	—	B	I
											B	I

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業費（千円）		主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等		必要性		有効性	効率性			今 後 の 方 向 性		
予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民間 での 事例		民間 活用	手法 見直 し	質の 向上			
令和 5 年度													
令和 6 年度										令和 6 年度			
					事務事業との関連性なし								

実施計画（施策）評価										
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3 層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標 4	Ⅰ 層	Ⅱ 層	Ⅲ 層	プロジェクト			当該年度		令和 5 年度	
							目標値	実績値	令和 6 年度	
基本目標 4	4	9	Ⅰ	—	サテライトオフィスの誘致を推進	観光客数（年） （与田切公園、千人塚公園、道の駅花の里いいじま、道の駅田切の里の利用者数） ●観光客数は両公園においては昨年度と比較し10.8%増（7,100人増）となりました。これは新型コロナウイルス感染症の流行がある程度収まり観光需要が回復してきたことや、国内のインバウンドが好調なことにより観光客数が底上げされたことによるものと推察されます。	400,000 人	318,100 人	B	Ⅱ
						観光客数（年） （与田切公園及び千人塚公園の利用者数）	60,000 人	72,900 人	B	Ⅱ

基本情報					事務事業評価										
					達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)					改善 (Action)		
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）		主 な 取 組 内 容		主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性		
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上			
		令和 5 年度													
		令和 6 年度													
					事務事業との関連性なし										

実施計画（施策）評価										
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3 層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	Ⅰ 層	2 層	3 層	プロジェクト			当該年度		令和 5 年度	
							目標値	実績値	令和 6 年度	
基本目標 4	4	9	2	—	求人情報の提供と就労サポート体制の充実	●「企業等実態調査」、「企業訪問」を実施したことにより、町内企業の雇用状況及び課題の把握することができました。結果を参考に、引き続き、上伊那広域連合が主催する若者人材確保事業に参画し、町内企業の P Rにつなげていきます。また、飯島町社会福祉協議会とも連携し、就労支援にもつなげていきます。	—	—	—	—
									B	Ⅱ

実施計画（施策）評価												
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性			
	Ⅰ層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度			
							目標値	実績値	令和6年度			
基本目標4	4	10	Ⅰ	—	ICT技術による森林測量を基にした森林整備の推進及び生産性の向上	●ICT技術の活用に関する研修会や、先進地で活躍する方の講演会等 をとおして、職員の知識向上を高めることができました。	—	—	—	—	B	Ⅱ
											B	Ⅱ

基本情報					事務事業評価									
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）		達成 度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)	
		予算額	決算額		主な 取組 内容	主な 取組 内容の 実績等	必要 性	有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性		
									町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例	民 間 活 用		手 法 見 直 し	質 の 向 上
		令和 5 年度					令和 5 年度							
令和 6 年度		令和 6 年度												
					事務事業との関連性なし									

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標4	4	10	5	○	間伐材等を利用した自然エネルギー活用の推進	●環境循環ライフ構想プロジェクト会議において、バイオマスエネルギーの使用方法等の検討を行うことができました。	—	—	—	—

基本情報					事務事業評価									
					達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）		主 な 取 組 内 容		主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性	
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上		
		令和５年度					令和６年度			令和５年度		令和６年度		
					事務事業との関連性なし									

実施計画（施策）評価												
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性			
基本目標4	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度			
							目標値	実績値	令和6年度			
基本目標4	4	11	1	—	治山・治水事業の推進	●上伊那地域振興局林務課と地元要望箇所等の現地調査を行い、長野県に対し要望活動を行うことができました。	—	—	—	—	B	I
											B	I

基本情報					事務事業評価									
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）		達成 度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)	
		予算額	決算額		主な 取組 内容	主な 取組 内容の 実績等	必要 性		有効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性	
							町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上		
		令和 5 年度					令和 6 年度			令和 5 年度		令和 6 年度		
								事務事業との関連性なし						

実施計画（施策）評価											
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性		
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度		
							目標値	実績値	令和6年度		
基本目標4	4	12	1	—	猟友会や鳥獣被害対策実施隊との連携による有害鳥獣駆除の推進	有害鳥獣捕獲頭数（年） （個体数調整目的で捕獲した有害鳥獣（ニホンジカ、イノシシ、ニホンザル）の頭数） ●ほぼ計画どおりの捕獲頭数となりました。	50 頭	90 頭	B	I	
									B	I	

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標4	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標4	4	12	2	—	自然条件及び地域の特性等を考慮した樹種転換の推進	樹種転換実施面積（年） （町内山林において、保全松林緊急保護整備事業を活用し樹種転換を実施した面積） ●樹種転換を行う際は既存木の伐採のほか、植栽や年数回の下草刈りや除伐といった保育作業が必要となります。そのため、林業事業体の負担が大きく、事業実施の目標達成を阻む要因となります。	1 ha	0 ha	B	I
									B	I

基本情報				事務事業評価										
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)					改善 (Action)		
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性	
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上		
令和５年度														令和５年度
令和６年度													令和６年度	
								事務事業との関連性なし						

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	Ⅰ層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標4	4	12	5	—	有害鳥獣等対策の啓発活動の推進	有害鳥獣被害対策の啓発（年） （町広報への記事掲載） ●全国的にクマの市街地出没のニュースが多く報道され町民の方の関心も高い中、予防啓発に関する広報を効果的な時期に実施できました。	1回	1回	B	I
									A	I

【建設水道課】 事務事業・実施計画（施策）評価

■達成状況・・・（－）当該年度の評価なし ■事業終了・・・国や県の事業も含む

	事業コード・事業名称		実施計画と 連動なし (●)	達成状況 1.目標を大きく上回って達成 2.目標を上回って達成 3.ほぼ目標どおり 4.目標を下回った 5.目標を大きく下回った					頁
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
建設 水道課	1175	子育て世帯0－3歳上下水道関連応援事業		—	3	3	3		158
	2861	上水道整備事業	●	3	2	3	4		159
	2941	合併処理浄化槽設置整備事業		3	2	2	2		160
	2942	合併処理浄化槽管理費		3	3	3	3		161
	4201	土木総務費		3	3	3	3		162
	4207	地籍調査事業		3	3	3	3		164
	4221	道路維持費		3	3	3	3		165
	4231	町道整備事業		3	3	3	3		166
	4235	社会資本整備総合交付金事業		3	3	3	3		167
	4238	県営農道整備事業		3	3	3	3		168
	4240	踏切道改良計画事業		—	—	3	4		169
	4252	道路メンテナンス事業		3	3	3	3		170
	4261	国県関連事業		3	3	3	3		171
	4263	道の駅本郷管理費	●	3	3	3	3		172
	4264	国道153号伊那バレー・リニア北バイパス 改良促進費		3	3	3	3		173
	4311	河川総務費		3	3	3	3		174
	4322	河川整備事業		3	3	3	3		175
	4411	都市計画総務費		3	3	3	3		176

	事業コード・事業名称		実施計画と 連動なし (●)	達成状況					頁
				1.目標を大きく上回って達成 4.目標を下回った	2.目標を上回って達成 5.目標を大きく下回った	3.ほぼ目標どおり			
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
建設 水道課	4511	町営住宅管理費		3	3	3	3		178
	4512	町営住宅整備事業		3	3	2	3		179
	4531	住宅耐震対策促進事業		3	3	3	3		180
	4532	空き家対策事業		3	3	2	3		182

基本 目標 5

暮らしを支える 強靱で快適なライフラインの創造

<建設水道>

※基本的方向》

住民の安全・安心で豊かな暮らしを支える、強靱で快適なライフラインを創造します。

道路・橋りょう、上下水道を中心とした公共インフラは暮らしの重要な要素です。リニア中央新幹線の開通や時代の変革など、将来を見据えたインフラ整備や維持管理、強靱化を進めることで暮らしやすいまちを実現します。

※施策の進捗状況

A 順調に推移している B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている

■進捗状況・・・（－）当該年度の評価なし

政策5－（1） 暮らしを支える道路の整備	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① 国道、県道の整備促進	定性的な成果	B	B	B
	② 町道の整備	町道の改良延長（幅員5.5m～）	B	B	B
	③ 道路構造物の長寿命化修繕	町管理橋梁の点検数（延数）	A	A	A
	④ 道路橋及び水路橋の統廃合の検討	定性的な成果	B	B	B
	⑤ 地域や住民との公助による道路の維持管理	定性的な成果	B	B	B
	⑥ 国道153号伊那バレー・リニア北バイパスの計画促進	定性的な成果	B	B	B
	⑦ 交通量の少ない道路等の用途廃止や代替策の研究	定性的な成果	B	B	B
政策5－（2） 安全・安心の河川整備	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① 一級河川天竜川、与田切川及び中田切川の整備・砂防事業の促進	与田切川、中田切川の整備率	B	B	B
	② 県管理河川の整備・砂防事業の促進	定性的な成果	B	B	B
	③ 町管理河川の適正な維持管理	定性的な成果	B	B	B
政策5－（3） 将来を見据えた都市づくり	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① 住民の希望する未来や国土利用計画に基づく都市計画等の見直し	現都市計画の見直し案の作成及び計画決定	B	B	B
	② 都市計画マスタープランの更新による、総合的な都市計画の推進	【再掲】現都市計画の見直し案の作成及び計画決定	B	B	B
	③ 景観保全を目的とした、住宅・看板設置の指導	景観計画に定められた景観形成基準への適合率	A	B	B

※施策の進捗状況

A 順調に推移している B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている

■進捗状況・・・（－）当該年度の評価なし

政策５－（４） 住宅施策と空き家 対策	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和４年度	令和５年度	令和６年度
	① 公営住宅の適正管理（長寿命化・計画的な維持修繕）と統廃合の促進	長寿命化計画に基づく住宅ストック数	A	A	A
	② 住宅の耐震診断・耐震改修の促進、若しくは建替えの推奨	一般住宅の耐震化率	C	C	C
	③ 特定空家等候補の抑制と空き家の適正管理及び利活用の促進	特定空家等候補数	B	B	B
	④ 公営住宅については、適正な管理により入居率の向上	町営住宅の入居率	A	A	A
	⑤ 耐震診断・耐震改修・耐震シェルター設置の推進	木造住宅等耐震診断事業の実施数	C	C	C
政策５－（５） 地籍調査事業の推 進	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和４年度	令和５年度	令和６年度
	① 地籍調査事業の推進	国土調査実施済進捗率	B	B	B
政策５－（６） 安全で安心な水道 の確保	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和４年度	令和５年度	令和６年度
	① 建替えも視野に入れた浄水場耐震化の実施	定性的な成果	B	B	B
	② 老朽管路の更新継続	水道管の管路耐震化率	B	B	B
	③ 隣接自治体への用水供給事業の推進	定性的な成果	A	—	—
	④ 豊かな水資源を活用した水力発電等による水道料金の値下げ	定性的な成果	B	A	—
政策５－（７） 快適で衛生的な下 水道・浄化槽の推 進	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和３年度	令和４年度	令和６年度
	① 下水道・合併浄化槽へのつなぎ込み推進	下水道・合併浄化槽へのつなぎ込み率	A	A	A
	② 下水道処理施設の統廃合	定性的な成果	A	A	A
	③ 経営実態に適合した料金体系の検討	定性的な成果	—	—	—

基本情報				事務事業評価										
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)	
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性	
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上		
		令和５年度												令和５年度
		令和６年度											令和６年度	
1175	子育て世帯０～３歳上下水道関連応援事業	1,000	770	3	●子育て世帯０～３歳上下水道関連応援事業補助金の交付	●子育て世帯０～３歳児補助金の交付取扱いに係る適正な事務執行を行うことができました。（補助額：１人／５千円）①令和６年度対象者：１６６人 ②令和６年度交付者：１５２人③令和６年度支出額：７６０千円（参考） ①令和５年度対象者：１７４人②令和５年度交付者：１５４人③令和５年度支出額：７７０千円	a	a	a	a	a	a	I	
		900	760	3									I	

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標5	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
				○	人口増プロジェクトの施策として位置付け					

基本情報				事務事業評価											
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)		
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性		
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上			
		令和 5 年度												令和 5 年度	
		令和 6 年度												令和 6 年度	
2861	上水道整備事業	500	500	3	●計画的な遠距離給水管工事の実施（1件／年）	●遠距離給水件数0件●新築案件は多かったと思うが、配水本管より離れた場所での新築がなかったため。	a	a	a	a	a	a	I		
		500	0	4									I		

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標5	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
					施策との関連性なし					

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要性		有効性	効率性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民間 での 事例		民間 活用	手法 見直 し	質の 向上	
令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度							
2942	合併処理 浄化槽管 理費	7,247	6,961	3	●口頭、電話などで適切な維持管理の啓発●水環境の維持	●消耗品（4千円）●印刷製本費（260千円）●合併処理浄化槽維持管理補助金（6,500千円） 【内訳】 ①飯島地区188件（1,880千円） ②田切地区161件（1,610千円） ③本郷地区144件（1,440千円） ④七久保地区157件（1,570千円） ●合併浄化槽修繕等経費補助金件数（14件：288千円）	a	a	a	a	a	a	I
		7,585	7,052	3									I

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標5	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標5	5	7	1	○	下水道・合併浄化槽へのつながり推進	【再掲】 下水道・合併浄化槽へのつながり込み率 （公共下水道と農集排及び合併処理浄化槽の管接続の率） ●快適で衛生的な生活環境と河川等の水質を保全するため、下水道や浄化槽の普及の周知により、目標値を達成することができました。●令和5年度末下水道つながり込み率86.6%から令和6年度末87.2%	86.2 %	87.2 %	A	I
									A	I

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標5	5	1	2	○	町道の整備	町道の改良延長（幅員5.5m～） （センターラインのある規格道路（5.5m以上）の整備済延長） ●道路改良事業を進めるにあたっては、地元関係者との入念な協議や調整が必要であり、事業の進捗にも影響を及ぼします。●国の補助事業を活用して事業の進捗を図っておりますが、例年、国の予算付けについては要望どおりにならないことが多いため、計画的な進捗が図れないことが課題となっております。	45.6 km	45.2 km	B	I
									B	I
	5	1	7	—	交通量の少ない道路等の用途廃止や代替策の研究	●道路等の用途廃止や代替策について関係課と連携を図ることにより、道路周辺管理計画の方針を策定することができました。	—	—	B	II
									B	II
	5	2	1	—	一級河川天竜川、与田切川及び中田切川の整備・砂防事業の促進	与田切川、中田切川の整備率 （最上流部から下流部まで整備が完了している割合） ●河川整備及び砂防事業を進める上で、事業対象範囲が広いため、関係者及び地権者が広範囲に及びます。そのため、事業実施主体である国土交通省天竜川上流河川事務所と、地元関係者及び地権者との繋ぎ役を果たしながら、町として事業の進捗を図っていく必要があります。	83.4 %	80.6 %	B	I
									B	I
	5	2	2	—	県管理河川の整備・砂防事業の促進	●長野県への事業要望により高遠入沢川の砂防事業を推進することができました。	—	—	B	I
									B	I

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度							
4221	道路維持費	58,358	56,970	3	●道路維持補修●現物支給事業●道路除草●道路除雪・融雪剤散布	●道路補修を緊急性の高い箇所から実施●現物支給事業により各自治会へ補修資材の提供●適切な時期に幹線道路の除草を実施●除雪会議を開催し、委託業者と対応調整●令和5年度新設の協働のまちづくり推進費により、従来からの自治会除雪に加えて除草作業も支援することができた。	a	a	b	c	a	c	Ⅱ
		80,402	78,043	3									Ⅱ

実施計画（施策）評価										
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3 層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	Ⅰ 層	2 層	3 層	プロジェクト			当該年度		令和 5 年度	
							目標値	実績値	令和 6 年度	
基本目標 5	5	Ⅰ	5	—	地域や住民との公助による道路の維持管理	●道路補修を緊急性の高い箇所から実施することにより事故等の防止に努めることができました。●広域幹線道路である広域 1 号・2 号線の除草作業を実施し、交通の安全確保に努めました。	—	—	—	Ⅱ
										Ⅱ

基本情報				事務事業評価										
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)	
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性	
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上		
		令和５年度												令和５年度
		令和６年度											令和６年度	
4235	社会資本整備総合交付金事業	243,692	241,893	3	●南田切線道路改良事業（改良工事の実施）●高尾本線道路改良事業（改良工事の実施）●鳥居原横断線他道路改良事業（用地買収及び補償、改良工事の着手）●上ノ原幹線道路改良事業（測量設計の実施）	●補助金を活用し各事業を実施 ①南田切線道路改良事業（工事）②高尾本線道路改良事業（工事）③鳥居原横断線他道路改良事業（用地買収及び補償、工事）④上ノ原幹線道路改良事業（測量設計）	a	a	b	c	b	c	I	
		248,815	248,812	3									I	

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	Ⅰ層	Ⅱ層	Ⅲ層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標5	5	Ⅰ	Ⅱ	○	町道の整備	【再掲】 町道の改良延長（幅員5.5m～） （センターラインのある規格道路（5.5m以上）の整備済延長） ●道路改良事業を進めるにあたっては、地元関係者との入念な協議や調整が必要であり、事業の進捗にも影響を及ぼします。●国の補助事業を活用して事業の進捗を図っておりますが、例年、国の予算付けについては要望どおりにならないことが多いため、計画的な進捗が図れないことが課題となっております。	45.6 km	45.2 km	B	I
									B	I

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和５年度		令和６年度		令和５年度		令和６年度							
4240	踏切道改良計画事業	7,040	7,040	3	●新田第一踏切の改良に向けたＪＲ東海との調整	●ＪＲ東海によるＪＲ貨物との用地調整が難航したため、ＪＲ東海との工事協定締結に至らず、次年度へ先送りすることとなった。	a	a	b	a	a	a	I
		25,913	0	4			I						

実施計画（施策）評価												
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	当該年度		進捗状況	今後の方向性		
	1層	2層	3層	プロジェクト			目標値		実績値		令和5年度	令和6年度
基本目標5	5	1	2	○	町道の整備	町道の改良延長（幅員5.5m～） （センターラインのある規格道路（5.5m以上）の整備済延長） ●道路改良事業を進めるにあたっては、地元関係者との入念な協議や調整が必要であり、事業の進捗にも影響を及ぼします。●国の補助事業を活用して事業の進捗を図っておりますが、例年、国の予算付けについては要望どおりにならないことが多いため、計画的な進捗が図れないことが課題となっております。	45.6 km	45.2 km	B	I		
									B	I		

実施計画（施策）評価										
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3 層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標 5	Ⅰ 層	Ⅱ 層	Ⅲ 層	プロジェクト			当該年度		令和 5 年度	
							目標値	実績値	令和 6 年度	
	5	Ⅰ	3	—	道路構造物の長寿命化修繕	町管理橋梁の点検数（延数） （町内127橋ある橋梁を計画的に点検します。） ●飯島町が管理する橋梁は127橋あり、建設から数十年が経過して老朽化を迎えております。このような背景から計画的に橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取組が不可欠となります。●橋梁は「損傷が大きくなる前に予防的な対策を適切に行う」ことが、寿命を延ばすことになります。	122 橋	122 橋	A	Ⅱ
	5	Ⅰ	4	—	道路橋及び水路橋の統廃合の検討	●道路橋及び水路橋の統廃合について関係課と協議をしたことにより、統廃合計画の方針を策定することができました。	— ー	— ー	B	Ⅱ
									B	Ⅱ

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度							
4261	国県関連 事業	215	90	3	●県道北林飯島線の改良事業について、県が実施する補償物件調査・地元説明会等へ協力して事業の進捗を図る。●県道伊那生田飯田線（竜東線）の改良事業について、島河原地区の土地改良事業との連携を図り、県への要望活動を継続	●県道北林飯島線の道路改築工事が着手の運びとなり、工事実施の広報や用地買収の登記を実施●県道伊那生田飯田線（竜東線）の改良については、竜東線吉瀬大草整備促進期成同盟会を通じて、県及び県議会議員等に対して要望活動を実施●県道千人塚公園線の改良については、円滑な整備促進を図るため、道路管理者である県に代わって町が将来の事業予定地を先行取得	a	a	b	a	a	c	Ⅱ
		6,869	6,853	3									Ⅱ

実施計画（施策）評価												
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性			
基本目標5	Ⅰ層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度			
							目標値	実績値	令和6年度			
	5	Ⅰ	Ⅰ	○	国道、県道の整備促進	●県道改良事業においては、地権者や地元関係者と入念な打合せを行い、用地・補償契約、工事と円滑に実施することができました。	—	—	—	—	B	Ⅱ
											B	Ⅱ

基本情報				事務事業評価												
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)			
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性			
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上				
		令和５年度														令和５年度
		令和６年度														令和６年度
4263	道の駅本郷管理費	1,088	946	3	●駐車場の維持管理●トイレの維持管理●合併浄化槽の維持管理	●駐車場・トイレの管理を(株)ふるさとの味いじまに委託し、適切な管理が行われた。●合併処理浄化槽の管理を(有)七久保衛生社に委託し、適切な管理が行われた。	a	a	c	c	a	b	Ⅱ			
		1,365	1,226	3			Ⅱ									

基本情報				事務事業評価											
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)		
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性		
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上			
		令和５年度												令和５年度	
		令和６年度												令和６年度	
4264	国道１５ ３号伊那 バレー・ リニア北 バイパス 改良促進 費	98	48	3	●長野県に対して事業促進要望●関係機関及び同盟会４町村との連絡調整●自動運転交通システム等についての研究と勉強会の実施	●同盟会総会を開催して、当年度の事業計画等が決定●同盟会長の改選に伴い、事務局を高森町へ引き継いだ。●長野県へ国道１５３号の道路改良促進に関する要望書を提出	a	a	b	a	a	b	Ⅱ		
		73	52	3									Ⅱ		

実施計画（施策）評価											
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性		
	Ⅰ層	Ⅱ層	Ⅲ層	プロジェクト			当該年度		令和5年度		
							目標値	実績値	令和6年度		
基本目標5	5	Ⅰ	6	—	国道153号伊那バレー・リニア北バイパスの計画促進	●長野県への国道153号の道路改良促進に関する要望書を提出したことにより、改良の必要性について関係者の理解を深めることができました。	—	—	—	B	Ⅱ
										B	Ⅱ

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業コード	事業名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要性		有効性	効率性			今後の方向性
		予算額	決算額				町民ニーズ	民間での事例		民間活用	手法見直し	質の向上	
		令和5年度											
4322	河川整備事業	6,500	6,067	3	●準用河川北田川の河川改良工事の実施●準用河川古川の河川改修事業への着手●準用河川大井川の河川改修事業への着手●河川補修（小破修繕）	●準用河川北田川の河川改良工事を完了●準用河川古川と大井川の河川改修工事に着手	a	a	b	c	a	a	I
		21,993	21,206	3									I

実施計画（施策）評価												
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性			
	Ⅰ層	Ⅱ層	Ⅲ層	プロジェクト			当該年度					
							目標値		実績値		令和6年度	
基本目標5	5	2	3	—	町管理河川の適正な維持管理	●河川改修工事を実施したことにより災害への対策を強化することができました。	—	—	—	—	令和5年度	
											B	I
											B	I

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度							
4411	都市計画 総務費	5,697	5,244	3	●都市計画マスタープラン改定及び 立地適正化計画策定にあたって、ま ちづくりに関する住民ニーズや意向 を把握し都市計画上の課題を明らか にする。●都市の現況調査、地域別 単位での現況把握・分析を行い、そ れらを踏まえて計画の改定・策定の 方向性について検討	●町の将来を担う若者の意見を反映 した計画を策定するため、中学生ア ンケート調査を実施●住民の皆様 にまちづくりに対するご意見やご提案 を伺うことを目的に、住民ワーク ショップを開催●第2回庁内検討委 員会を開催し、関係各課と計画案等 の検討●第1回計画策定員会を開催 し、学識経験者や公募町民・関係団 体と計画案等の検討●街路灯のＬＥ Ｄ化及び塗装改修工事を実施●特定 用途制限地域の設定に向けて、適用 区域及び制限等の検討	a	a	b	a	b	c	Ⅱ
		14,805	14,334	3			Ⅱ						

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	当該年度		進捗状況	今後の方向性
基本目標5	Ⅰ層	2層	3層	プロジェクト			目標値	実績値	令和5年度	
									令和6年度	
	5	3	Ⅰ	—	住民の希望する未来や国土利用計画に基づく都市計画等の見直し	現都市計画の見直し案の作成及び計画決定 （計画を策定した件数）	Ⅰ 件	0 件	B	Ⅱ
									B	Ⅱ
	5	3	2	—	都市計画マスタープランの更新による、総合的な都市計画の推進	【再掲】 現都市計画の見直し案の作成及び計画決定 （計画を策定した件数）	Ⅰ 件	0 件	B	Ⅱ
									B	Ⅱ
	5	3	3	—	景観保全を目的とした、住宅・看板設置の指導	景観計画に定められた景観形成基準への適合率 （景観形成基準の累計適合件数／届出の総数）	100.0 %	100.0 %	B	Ⅱ
						広告物条例に基づく許可基準の適合率（3年ごと点検） （適用基準の累計適合件数／点検広告物の総数） ●次回、令和7年度	— %	— %	B	Ⅱ

基本情報				事務事業評価										
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)	
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性	
		予算額	決算額							民間 活用	手法 見直し	質の 向上		
		令和5年度					町 民 ニ ー ズ	民間 での 事例						令和5年度
		令和6年度											令和6年度	
4512	町営住宅 整備事業	35,311	34,777		2	●長野県住宅供給公社への償還	●長寿命化計画に基づき、老朽化した豊岡と舟久保住宅の除却工事・用途廃止を行った。●民間事業者が建設した住宅を借り上げる「借上型町営住宅事業」の新設に伴い、居住者の募集や移転補償を行った。	a	b	a	c	b	a	Ⅲ
		76,932	76,738	3	Ⅲ									

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	Ⅰ層	Ⅱ層	Ⅲ層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標5	5	4	Ⅰ	○	公営住宅の適正管理（長寿命化・計画的な維持修繕）と統廃合の促進	【再掲】 長寿命化計画に基づく住宅ストック数 （町営住宅（GH・GR除く）の総戸数）	97 戸	97 戸	A	I
						【再掲】 公営住宅数 （公営の住宅数）	5 箇所	5 箇所	A	I

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標5	Ⅰ層	Ⅱ層	Ⅲ層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標5	5	4	2	—	住宅の耐震診断・耐震改修の促進、若しくは建替えの推奨	一般住宅の耐震化率 （耐震性を満たす住宅数／耐震改修住宅総数）	85.0 %	76.0 %	C	Ⅲ
									C	Ⅱ
	5	4	5	—	耐震診断・耐震改修・耐震シェルター設置の推進	木造住宅等耐震診断事業の実施数 （耐震診断を実施した件数）	5 件	8 件	C	Ⅱ
						住宅耐震補強事業補助金の交付件数 （耐震診断後に補強工事を実施した住宅の件数）	1 件	0 件		
						耐震シェルター等設置事業補助金の交付件数 （耐震シェルターか耐震ベッドの設置件数）	1 件	0 件	C	Ⅱ

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)				改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性		今 後 の 方 向 性	
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し		質 の 向 上
令和５年度		令和６年度		令和５年度		令和６年度							
4532	空き家対策事業	4,763	4,710	2	●空家所有者への管理依頼●空家に対する早期取り組み（死亡や転出等の届出で空き家が発生した場合、窓口で意向調査を実施）●特定空家の行政代執行を実施	●危険な空き家の解体補助等により、５件の特定空家候補を解体してもらったことができた。	a	b	b	a	a	b	Ⅲ
		2,543	2,485	3			Ⅲ						

実施計画（施策）評価										
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3 層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	Ⅰ 層	2 層	3 層	プロジェクト			当該年度		令和 5 年度	
							目標値	実績値	令和 6 年度	
基本目標 5	5	4	3	○	特定空家等候補の抑制と空き家の適正管理及び利活用の促進	特定空家等候補数 （老朽化 C 判定の空家総数）	34 戸	28 戸	B	Ⅱ
						空家のうち利活用された年間の件数 （売買や賃貸がなされた空家数）	25 件	20 件	B	Ⅱ

基本情報					事務事業評価									
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）		達成 度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)					改善 (Action)		
		予算額	決算額		主な 取組 内容	主な 取組 内容 の 実績 等	必要 性	有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性		
									町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例	民 間 活 用		手 法 見 直 し	質 の 向 上
							令和 5 年度							
		令和 6 年度					令和 6 年度							
								事務事業との関連性なし						

実施計画（施策）評価											
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性		
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度		
							目標値	実績値	令和6年度		
基本目標5	5	6	1	○	建替えも視野に入れた浄水場耐震化の実施	●樽ヶ沢浄水場を建て替えた場合の検討として、高濁度時に採水した原水を水処理メーカーの協力によりジャーテスト処理試験を実施し、浄水方法を選定するための根拠資料とすることができました。●安定した水道水の供給のため、県の企業局と新水力発電「越百のしずく発電所」工事の進捗状況の確認をしました。岩盤などで掘削作業が難航しており、工期延長の説明がありました。これを踏まえ、中川村への用水供給量が増えていくことから、高濁度時の課題や問題点など再確認し、今後の進め方についてアドバイスをいただきました。	—	—	—	—	
											B
									B	II	

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和5年度		令和6年度		令和5年度			令和6年度						
					事務事業との関連性なし								

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標5	5	6	2	—	老朽管路の更新継続	水道管の管路耐震化率 （施設管路の耐震化を進める） ●難工事箇所が残ってきておりますが引き続き老朽管の更新に努めます。	79.6 %	80.0 %	B	Ⅱ
						水道事業の有収率 （総水量に対して漏水等を除く料金回収できた水量の割合）	84.5 %	80.0 %	B	Ⅱ

基本情報					事務事業評価									
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）		達成 度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)	
		予算額	決算額		主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性	有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性		
									町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例	民 間 活 用		手 法 見 直 し	質 の 向 上
		令和 5 年度					令和 5 年度							
		令和 6 年度					令和 6 年度							
											事務事業との関連性なし			

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標5	5	6	3	—	隣接自治体への用水供給事業の推進	—	—	—	—	—
									—	—

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)					改善 (Action)	
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性	有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性	
		予算額	決算額						民間 活用	手法 見直し	質の 向上		
		令和5年度					町 民 ニ ー ズ	民間 での 事例					令和5年度
		令和6年度											令和6年度
					事務事業との関連性なし								

実施計画（施策）評価											
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	当該年度		進捗状況	今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト			目標値	実績値	令和5年度		
										令和6年度	
基本目標5	5	6	4	—	豊かな水資源を活用した水力発電等による水道料金の値下げ	—	—	—	A	I	
											—

基本情報					事務事業評価									
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）		達成 度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)					改善 (Action)		
		予算額	決算額		主な 取組 内容	主な 取組 内容の 実績等	必要 性		有効 性	効 率 性		今 後 の 方 向 性		
							町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し		質 の 向 上	
		令和 5 年度					令和 5 年度							
令和 6 年度		令和 6 年度												
					事務事業との関連性なし									

実施計画（施策）評価												
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性			
基本目標5	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度			
							目標値		実績値		令和6年度	
	5	7	2	—	下水道処理施設の統廃合	●移動脱水車については、半導体不足の影響で搭載機器類の納期遅延による年度繰越しを経て、令和6年6月に納車しました。移動脱水車の脱水能力をUPしたことにより飯島町、中川村それぞれの脱水効率が向上しました。		— — — —		A	Ⅱ	
										A	Ⅱ	

【地域創造課】 事務事業・実施計画（施策）評価

■達成状況・・・（－）当該年度の評価なし ■事業終了・・・国や県の事業も含む

	事業コード・事業名称		実施計画と 連動なし (●)	達成状況 1.目標を大きく上回って達成 4.目標を下回った 2.目標を上回って達成 5.目標を大きく下回った 3.ほぼ目標どおり					頁
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
地域創造課	1162	国際・友好都市交流費	●	3	3	3	3		191
	1165	儲かる飯島町チャレンジ事業		4	3	3	3		192
	1166	活性化推進事業	●	3	2	2	4		194
	1170	地域おこし協力隊起業支援事業	●	3	—	2	—		195
	1171	定住促進事業		3	3	3	3		196
	1172	出会い・婚活推進事業		4	4	3	3		199
	1173	ふるさといいじま応援基金費	●	2	2	2	4		202
	1174	元気なまちづくり推進事業		3	3	3	3		203
	1176	環境循環ライフ構想推進費		3	3	3	3		204
	1178	飯島流ワーケーション事業		—	3	3	3		206
	1192	協働のまちづくり推進費		3	3	3	3		208
	4141	観光費		3	3	3	3		211
	4143	観光施設管理費		2	2	2	3		212
	4144	山岳観光費		3	4	3	3		214
	4441	与田切公園管理費		2	3	3	3		215

基本 目標 6

<地域創造>

魅力向上で住みたい・住み続けたい地域づくり

《基本的方向》

住民が自らの地域に誇りと愛着を持ち、住みたい、住み続けたいと思える魅力あるまちを目指します。

町の魅力を発掘し磨き上げる取り組みを進めることで、交流人口や関係人口、定住人口の増加を目指すとともに、将来を見据えた暮らしやすい地域づくりを住民と共に進めていきます。

※施策の進捗状況

A 順調に推移している B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている

■進捗状況・・・（－）当該年度の評価なし

政策6－（1） 町の魅力を生かした観光地域づくり	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① 与田切公園、千人塚公園をベースとした与田切溪谷の整備と活用	観光客数（与田切公園、千人塚公園、道の駅花の里いいじま、道の駅田切の里）（年間）	A	B	B
	② 観光事業者の育成	飯島流ワーケーション推進協議会参加事業者数（延数）	A	B	A
	③ 地域資源の掘り起こしとプログラム化	いいじま体験プログラムの作成の数（延数）	A	A	A
	④ 滞在型旅行商品の造成・販売	【再掲】いいじま体験プログラムの作成の数（延数）	A	A	A
	⑤ 周辺市町村と連携した広域観光ルートの開発	広域観光ルート数	B	B	B
	⑥ 感染症に対応するための安心安全な観光地づくりの推進	定性的な成果	B	B	B
政策6－（2） 儲かる飯島町の創出	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① インターネット販売事業の拡大	観光消費額	B	C	B
	② 関係団体や企業と連携した特産品流通の仕組みづくり	定性的な成果	B	C	C
	③ 都市企業の社会貢献活動や福利厚生活動の受入	受入企業数	A	A	A
	④ 住民が主体となった地域資源の掘り起こしと磨き上げ	特産品、料理メニュー等の開発件数（延数）	B	A	A
政策6－（3） 若者や子育て世代の人口を増やす	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① 郷土愛の醸成によるUIターンの促進	若者世帯のUIターン世帯数（年）	B	B	C
	② 若者がUターンしたいと思える働き方や生活環境の整備	民間宅地開発支援事業補助金の利用件数（年）	B	B	B
	③ 女性の「子育て」と「就労」を支援する取り組み	町民ライター記事掲載数	B	B	B
	④ 若者が主体的に参加運営する事業への支援	イベント等相談対応件数（年）	C	C	C
	⑤ 感染症対策を踏まえた若者への都市部からのUIターンの促進	【再掲】若者世帯のUIターン世帯数（年）	B	B	B

※施策の進捗状況

A 順調に推移している B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている

■進捗状況・・・（－）当該年度の評価なし

政策6－（4） 若い世代の結婚を 応援	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① 若年層が気軽に相談できる体制づくりと交流機会の提供	婚姻数（年）	B	B	B
	② ライフデザイン意識の醸成	ライフデザイン特集記事掲載回数（年）	C	C	C
	③ 県外から地方へ嫁ぎたい人々を呼び込む取り組み	【再掲】婚姻数（年）	C	B	C
	④ 若年層の住まいに関する支援の拡充	結婚新生活支援事業補助金利用件数（年）	B	B	B
	⑤ 定例的な結婚相談の実施	結婚相談による成婚数（年）	B	B	B
政策6－（5） 住民参加で盛り上 げるコミュニティ 機能の充実	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① 協働による共に支え合うまちづくりの推進	協働のまちづくり推進事業補助金利用件数（年）	A	A	A
	② 住民が参加しやすいまちづくりの仕組みづくり	【再掲】協働のまちづくり推進事業補助金利用件数（年）	A	A	A
	③ 住民みんなで進めるきれいでやすらぎのある環境づくり	定性的な成果	B	B	B
	④ 人が集い活気のある「賑わいの場」づくり	定性的な成果	B	B	B
	⑤ 利便性の高いまちなかの「生活の場」づくり	定性的な成果	C	B	B
	⑥ 感染症に対応するための新しい生活様式に沿ったコミュニティの研究	定性的な成果	B	B	B
政策6－（6） 将来を見据えた自 治組織への支援	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① 将来を見据えた自治組織（区・地域づくり委員会・自治会）のあり方検討	定性的な成果	B	B	B
	② 行政施策による自治組織の負担軽減	定性的な成果	B	B	B
	③ 自治組織への加入促進	自治会加入率	B	B	B
飯島ルネサンス 「環境循環ライフ 構想」プロジェク ト	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	—	水力発電の設置予定数（年）	B	B	B
	—	木質バイオマス発電の設置予定数（バイオマス発電）（年）			
	—	バイオマス発電の排熱を活用した農業施設数（年）			
	—	いいじま体験プログラムの参加者数（ワーケーション）（延数）			

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和５年度		令和６年度		令和５年度		令和６年度							
1162	国際・友好都市交流費	150	72	3	●みなこいワールドフェスタ（飯島町会場）への支援●駒ヶ根協力隊を育てる会への参加●姉妹都市等との交流●民間ボランティア日本語教室立ち上げ・運営に関する協力	●駒ヶ根協力隊を育てる会幹事会出席（１回）●当町の産業まつりに鳥羽市と斑鳩町参加●日本語教育の学習者やスタッフ募集、会場確保	a	a	b	a	a	b	I
		144	24	3								I	

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標6	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標6					施策との関連性なし					

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)				改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度							
1165	儲かる飯島町チャレンジ事業	8,878	8,462	3	●営業部活動 総会、前年度に引き続き在り方の検討●インターネット販売は楽天市場を継続実施、営業部活動と同じく今後の在り方について検討	●営業部については、あり方の検討を進め、過去8年の中で営業部から派生や独立した取り組みが継続されており「一定の成果が得られた」ことから一旦の区切りとして令和6年7月に解散となった。●また、インターネット販売もあり方の検討を進めてきた結果、当初の目的である「町の出店店舗から出店者が独立して自身のECサイトを運営していくこと」や、町側に経営の視点が欠けていることなどの理由から継続は困難であると判断し、令和7年3月で楽天市場の出店を終了	b	b	c	b	b	b	V
		4,766	4,151	3									V

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標6	6	2	1	—	インターネット販売事業の拡大	販売独立業者数（延数） （営業部楽天販売から独立した店舗数） ●インターネット販売は特定の事業者の特定商品が売れる傾向にあり、新たな販路の開拓に至っていません。	2 店舗	0 店舗	C	Ⅲ
						観光消費額 （与田切公園、千人塚公園、道の駅花の里いいじま、道の駅田切の里の売上合計） ●観光客数は回復傾向にあるが、名物となる特産品等がないこと、宿泊ができる場所が少ないことなどから、長期滞在による経済効果が薄いことが要因ではないかと考えられます。	560,000 千円	451,191 千円	B	Ⅳ

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	Ⅰ層	Ⅱ層	Ⅲ層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標6	6	2	4	—	住民が主体となった地域資源の掘り起こしと磨き上げ	特産品、料理メニュー等の開発件数（延数） （ワークショップで検討した新規メニュー件数） （参考）令和5年度：19件	— 件	— 件	A	I
									A	II

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和５年度		令和６年度			令和５年度		令和６年度						
1166	活性化推進事業	52,057	51,694	2	●ふるさと納税額増加による財源確保●魅力ある返礼品の発掘●寄附リピーターの確保●キッチンカー等の積極的な貸し出しによる町内事業者支援	●ふるさと納税寄付額について、目標とした寄付額を達成できなかった。●ふるさと納税事務の一括委託に向けて委託事業者や返礼品事業者との調整を進め地盤固めをすることができた。●オンラインワンストップの利用を行い、寄付者の利便性向上と事務処理の簡便化を図った。●キッチンカーにおいては、各種イベントでの活用を促進し、町のPRに貢献できた。●着ぐるみいいちゃんの修理を行い、積極的な活用を促した。●東京いいじま会を開催（１回）	a	a	a	b	b	a	Ⅱ
		26,473	26,177	4									Ⅱ

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標6	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
					施策との関連性なし					

基本情報				事務事業評価											
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)		
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要性		有効性	効率性			今 後 の 方 向 性		
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上			
									令和５年度					令和５年度	
									令和６年度				令和６年度		
1170	地域おこし協力隊 起業支援事業	2,000	2,000	2	●地域おこし協力隊起業支援補助金 交付事業●協力隊ミーティング及び 情報提供の実施	●本年度の地域おこし協力隊起業支援補助金（申請０件） （参考）令和５年度２件	a	a	a	a	a	a	I		
		0	0	—									—		

実施計画（施策）評価											
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性		
基本目標6	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度		
							目標値	実績値	令和6年度		
					施策との関連性なし						

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和5年度		令和6年度								令和5年度	令和6年度		
1171	定住促進事業	155,194	154,056	3	●県外での移住セミナーや移住フェアへの参加●田舎暮らし体験トレーラーハウスやリサーチ住宅を活用した移住体験の提供●若者世帯等の定住を促進するための、「飯島でマイホーム」住宅関連補助金の運用●移住者座談会の実施●U I J ターン支援補助金など移住者向け補助金の運用	●町単独のセミナーは実施できませんでしたが、県外での移住フェアやセミナー、相談会は東京4回、大阪1回、名古屋1回と可能な限り足を延ばしました。また、オンラインでの移住セミナーにも積極的に参加（3回）●人口増プロジェクト内の定住促進ワーキンググループにて検討を進めた若者世帯等の定住を促進するための住宅関連補助金について施行●各種補助金について要綱等に基づき適正に執行 ①「飯島町に光をそそぐマイホーム取得補助金」（若者世帯の住宅等取得に際し、上限200万円を補助）令和6年度申請25件のうち11件利用、14件は次年度繰越し（参考：令和5年度8件利用）②「飯島町民間宅地開発補助金」（3区画以上の宅地造成補助）令和6年度1件（参考：令和5年度2件）③「飯島町に光をそそぐ住宅リフォーム支援補助金」（若者世帯の住宅リフォームに際し、上限200万円を補助）令和6年度38件（参考：令和5年度2件）④「飯島町に光をそそぐマイホーム取得奨励金」（若者世帯の住宅取得に係る固定資産税相当額の補助）令和5年分、令和6年分交付決定者61件	a	b	b	b	b	b	Ⅱ
		123,097	119,407	3									Ⅱ

実施計画（施策）評価											
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3 層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	当該年度		進捗状況	今後の方向性	
	Ⅰ 層	2 層	3 層	プロジェクト			目標値	実績値	令和 5 年度		
									令和 6 年度		
基本目標 6	6	3	Ⅰ	○	郷土愛の醸成による U I ターンの促進	若者世帯の UI ターン世帯数（年） （UI ターンにより定住した世帯数） ●「飯島でマイホーム」住宅関連補助事業の最終年であったことから、若者世帯の移住定住者が増加しました。	7 世帯	ⅠⅠ 世帯	B	Ⅱ	
									C	Ⅱ	
	6	3	2	○	若者が U ターンしたいと思える働き方や生活環境の整備	民間宅地開発支援事業補助金の利用件数（年） （民間宅地開発支援事業補助金を利用した件数）	20 件	3 件	B	Ⅱ	
						住宅取得支援事業補助金の利用件数（年） （住宅取得支援事業補助金を利用した件数） ●「飯島でマイホーム」住宅関連補助事業の最終年であったことから、若者世帯の利用が一定数ありました。	20 件	Ⅰ9 件			
						住宅取得奨励金の利用件数（年） （住宅取得奨励金を利用した件数）	20 件	57 件	B	Ⅱ	

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和５年度		令和６年度		令和５年度		令和６年度							
1172	出会い・婚活推進事業	1,650	951	3	●結婚相談員の委嘱と結婚相談の実施●婚活関係のイベントの開催●国の地域少子化対策重点推進交付金を活用した新婚生活に係る支援の実施	●結婚相談員業務（相談件数は、①対面29件②メール相談130件③お見合い6件④交際4件）●婚活関係のイベントの実施（①上伊那結婚相談促進連絡会合同②国の交付金を活用した新成人向けイベント③移住婚希望者をオンラインイベントを各1回開催）●国の交付金を活用した新婚世帯に対する補助事業は、町のホームページやチラシで周知はしたが申請なし●住婚希望者をオンラインで結んだイベントを銀座NAGANOで開催（1回）●定例結婚相談を毎月第2火曜日に他市町村に登録の有る方とのマッチングを実施●登録者へ他市町村で開催される婚活イベントの情報を提供	a	b	b	b	b	b	Ⅱ
		2,859	1,753	3									Ⅲ

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	当該年度		進捗状況	今後の方向性
1層	2層	3層	プロジェクト	目標値			実績値	令和5年度		
							令和6年度			
基本目標6	6	4	1	○	若年層が気軽に相談できる体制づくりと交流機会の提供	婚姻数（年） （婚姻した組数） ●出会いの場の提供として上伊那合同でのイベント1回、町単独イベントを2回開催したが、女性参加者が少なく、マッチングにはつながりませんでした。	40 組	28 組	B	Ⅱ
									B	Ⅲ
	6	4	3	○	県外から地方へ嫁ぎたい人々を呼び込む取り組み	【再掲】 婚姻数（年） （婚姻した組数） ●県外在住の女性向けに婚活イベント（オンライン）を開催したが、その後の問合せはありませんでした。	40 組	28 組	B	Ⅱ
									C	Ⅱ

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標6	6	4	4	○	若年層の住まいに関する支援の拡充	【再掲】 婚姻数（年） （婚姻した組数）	40組	28組	B	II
						結婚新生活支援事業補助金利用件数（年） （結婚新生活支援事業補助金を利用した件数） ●結婚新生活支援事業補助金の申請ゼロ件●「飯島でマイホーム」住宅関連補助事業の最終年であったことから、若者世帯の利用が一定数ありました。	5件	0件	B	II
	6	4	5	○	定例的な結婚相談の実施	【再掲】 婚姻数（年） （婚姻した組数）	40組	28組	B	II
						結婚相談による成婚数（年） （相談者の成婚件数） ●定例結婚相談については広報誌でお知らせしているが、新規登録者が少なく、毎月の相談者も固定化しています。	1件	0件	B	II

基本情報				事務事業評価											
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)		
事業コード	事業名称	事業費（千円）			主な 取組 内容	主な 取組 内容の 実績等	必要性		有効性	効率性			今後の 方向性		
		予算額	決算額				町民 ニーズ	民間 での 事例		民間 活用	手法 見直し	質の 向上			
		令和５年度													
		令和６年度													
1173	ふるさと いいじま 応援基金 費	96,799	96,779	2	●ふるさと納税額増加による財源確保●魅力ある返礼品の発掘●寄附リピーターの確保	●ふるさと納税寄附額総計 令和６年度：45,538千円 令和５年度：96,779千円 令和４年度：65,818千円 令和３年度：53,880千円	a	a	b	b	b	a	Ⅱ		
		45,538	45,538	4									Ⅱ		

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度							
1174	元気なまちづくり 推進事業	12,422	11,051	3	●いいじまラブリーフェスタへの支援●信州飯島風鈴街道「りんりん祭り」への支援●千人塚祭典●米俵マラソン●まちの駅運営への支援	●各種団体に補助金を交付し、イベントが実施され、多くの集客を集めてまちを元気にすることができた。（千人塚祭典、ラブリーフェスタ、りんりん祭、米俵マラソン）●スマホ教室、パンづくり体験等の開催やまちなかへのイルミネーション設置等●イルミネーション点灯式に合わせ駅前イベントを実施	a	b	b	b	a	a	Ⅱ
		12,625	11,691	3			Ⅱ						

実施計画（施策）評価												
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性			
	Ⅰ層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度			
							目標値		実績値		令和6年度	
基本目標6	6	5	4	—	人が集い活気のある「賑わいの場」づくり	●まちの駅いいちゃんを中心として、新たな講座や体験会を実施することで、賑わいの場が構築され年齢や性別を超えた住民間でのコミュニティを作ることができました。また、来場者数が年を追うごとに増加しており、関係人口の増や活気あふれるまちづくりへ貢献できました。	—	—	—	—	B	I
											B	I
	6	5	5	—	利便性の高いまちなかの「生活の場」づくり	●まちの駅いいちゃんで販売している野菜等を買いくる高齢者と下校途中の小中学生にまちの駅利用を呼び掛けたことで、世代を超えたコミュニティの場を作ることができました。	—	—	—	—	B	Ⅱ
											B	Ⅱ

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標6	—	—	—	○	—	水力発電の設置予定数（年） （町内に設置される予定の水力発電における系統接続申請数） ●水力発電事業や木質バイオマス発電事業はエネルギー事業であり、稼働安定性や持続可能性及び経済性を見定めた上での事業立案が必要です。	I 基	0 基	B	II
						木質バイオマス発電の設置予定数（バイオマス発電）（年） （町内に設置される予定のバイオマス発電における系統接続申請数）	I 基	0 基		
						バイオマス発電の排熱を活用した農業施設数（年） （アグリイノベーション2030における排熱を活用した高度施設園芸数）	I 箇所	0 箇所	B	II
						いいじま体験プログラム等の参加者数（ワーケーション） （飯島流ワーケーションにおける体験プログラム及び宿泊者数） ●飯島流ワーケーション事業については、目標値として定めたいいじま体験プログラム等の参加者数（ワーケーション）を大きく上回っています。●顧客確保と宿泊稼働率向上が課題であり、他の町内宿泊業関係者と連携した取り組みを進めています。	80 人	968 人		

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	Ⅰ層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標6	—	—	—	○	—	【再掲】 水力発電の設置予定数（年） （町内に設置される予定の水力発電における系統接続申請数） ●水力発電事業や木質バイオマス発電事業はエネルギー事業であり、稼働安定性や持続可能性及び経済性を見定めた上での事業立案が必要です。	Ⅰ 基	0 基	B	Ⅱ
						【再掲】 木質バイオマス発電の設置予定数（バイオマス発電）（年） （町内に設置される予定のバイオマス発電における系統接続申請数）	Ⅰ 基	0 基		
						【再掲】 バイオマス発電の排熱を活用した農業施設数（年） （アグリイノベーション2030における排熱を活用した高度施設園芸数）	Ⅰ 箇所	0 箇所	B	Ⅱ
						【再掲】 いいじま体験プログラム等の参加者数（ワーケーション） （飯島流ワーケーションにおける体験プログラム及び宿泊者数） ●飯島流ワーケーション事業については、目標値として定めたいいじま体験プログラム等の参加者数（ワーケーション）を大きく上回っています。●顧客確保と宿泊稼働率向上が課題であり、他の町内宿泊業関係者と連携した取り組みを進めています。	80 人	968 人		

実施計画（施策）評価											
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	当該年度		進捗状況	今後の方向性	
I層	2層	3層	プロジェクト	令和5年度			令和6年度				
				目標値			実績値	令和5年度	令和6年度		
基本目標6	6	5	1	—	協働による共に支え合うまちづくりの推進	協働のまちづくり推進事業補助金利用件数（年） （補助金の利用件数）	10 件	10 件	A	I	
									A	I	
	6	5	2	—	住民が参加しやすいまちづくりの仕組みづくり	【再掲】 協働のまちづくり推進事業補助金利用件数（年） （補助金の利用件数）	10 件	10 件	A	I	
									A	I	
	6	5	3	—	住民みんなで進めるきれいでやさらしい環境づくり	●花の苗無料配布を行うことで、例年申込のある企業や団体に加えて新たなグループ等も加わり、花づくりを通じたコミュニティ形成や町内の環境整備につなげることができました。	—	—	B	I	
									B	I	
	6	5	6	—	感染症に対応するための新しい生活様式に沿ったコミュニティの研究	●地域づくり支援員を軸とした積極的な活動により、区及び自治会との連携強化が図られ、コミュニティ機能が充実しました。	—	—	B	II	
									B	II	
	6	6	1	—	将来を見据えた自治組織（区・地域づくり委員会・自治会）のあり方検討	●全自治会から資料（総会資料・規約等）を収集し、まとめて分析したものを公表して自治会内の負担軽減の参考にしていただくとともに、地域活性化につながる事業を起こしたい団体に協働のまちづくり補助金を交付して、課題の解決を図ることができました。●「住みよいいいじま自治会紹介」チラシや各自治会の加入金・年会費を調査、集計し情報共有を図ったことにより、他自治会の例を参考として、自治会主体にて改善を模索するなどの動きが見られました。	—	—	B	II	
									B	II	

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標6	6	6	2	—	行政施策による自治組織の負担軽減	●全自治会から資料（総会資料・規約等）を収集し、まとめて分析したものを公表して自治会内の負担軽減の参考にしていただくとともに、地域活性化につながる事業を起こしたい団体に協働のまちづくり補助金を交付して、課題の解決を図ることができました。●「住みよい地域推進費」としての一括交付制度や新任自治会長同士の情報交換会の実施により、自治会における横のつながりがより活発となってきています。	—	—	B	II
	6	6	3	—	自治組織への加入促進	自治会加入率 （自治会加入世帯数（〇〇世帯）／総世帯（〇〇世帯）×100％（令和2年度〇〇％）※日本人世帯、賃貸住宅含む） ●転入者に役場窓口にて、町が作成した対象自治会のチラシ等を基に丁寧な説明をすることで、自治会加入の必要性を多くの方に理解いただき、自治会長への連絡承諾書を記入いただき、自治会長に繋げることができました。	90.0 %	87.9 %	B	II
						自治会加入率 （民間アパートを除く） （自治会加入世帯数（〇〇世帯）／総世帯（〇〇世帯）×100％（令和2年度〇〇％）※日本人世帯の割合（民間アパート除く）	90.0 %	91.0 %	B	II

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和５年度		令和６年度		令和５年度		令和６年度							
4141	観光費	4,714	4,266	3	●WEBサイト保守など観光PRの実施●観光戦略会議による観光基本計画の具体内容を検討	●観光WEBサイトについて記事の更新及び保守を実施●観光戦略会議においては、昨年度に引き続き与田切川左岸の活用について検討をすすめ、令和７年３月２1日に町へ提案書●トレーラーハウス宿泊者への一部対応●「チャレンジナガノ」制度等を活用し企業との懇談を進め、今後の運営者を決定	a	b	b	b	b	b	Ⅱ
		3,346	3,108	3									Ⅱ

実施計画（施策）評価											
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3 層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性		
	Ⅰ 層	2 層	3 層	プロジェクト			当該年度		令和 5 年度		
							目標値	実績値	令和 6 年度		
基本目標 6	6	Ⅰ	2	—	観光事業者の育成	飯島流ワーケーション推進協議会参加事業者数（延数） （推進協議会への参加事業者数） ●今年度まで 4 年間に渡り地域協議会とともに活動し、町内の構成員による意思決定や、ツアーメニューの開拓などの一定の成果を得てきました。今後の展開としてより良い形で民間主導で運営ができるよう、長野県主催による企業とのマッチング「チャレンジナガノ」制度等を活用し企業との懇談を進め、「日本旅行」による今後の運営が決定しました。	— 者	— 者	B	Ⅱ	
									A	Ⅱ	
	6	Ⅰ	3	—	地域資源の掘り起こしとプログラム化	いいじま体験プログラムの作成の数（延数） （ワーケーション推進協議会の中で作成した飯島町の地域資源を活用した体験プログラム数）	— 個	— 個	A	I	
									A	Ⅱ	

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	当該年度		進捗状況	今後の方向性
基本目標6	1層	2層	3層	プロジェクト			目標値	実績値	令和5年度	
										令和6年度
基本目標6	6	1	1	—	与田切公園、千人塚公園をベースとした与田切溪谷の整備と活用	観光客数（与田切公園、千人塚公園、道の駅花の里いいじま、道の駅田切の里）（年） （利用者数合計） ●観光客数は両公園においては昨年度と比較し10.8%増（7,100人増）となりました。これは新型コロナウイルス感染症の流行がある程度収まり観光需要が回復してきたことや、国内のインバウンドが好調なことにより観光客数が底上げされたことによるものと推察されます。 （参考） 令和5年度：309,100人 令和4年度：316,400人	400,000 人	318,100 人	B	II
						観光客数（与田切公園及び千人塚公園）（年） （第6次総合計画総合計画で設定した指標のうち、与田切公園及び千人塚公園の利用者数合計） （参考） 令和5年度：65,800人 令和4年度：73,300人	60,000 人	72,900 人	B	II

基本情報				事務事業評価												
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)			
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性			
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上				
													令和5年度		令和5年度	
													令和6年度		令和6年度	
4441	与田切公園管理費	31,917	31,543	3	●与田切公園の維持管理（指定管理）●次期指定管理者の選定●坊主平キャンプ場にトイレ、シャワー、炊事場の設置●昨年度作成した公園再整備計画（案）について保護者アンケートの実施	●指定管理期間（2年）の区切りのため次期指定管理者を公募し、前期から引き続き「伊那リゾート」が令和7年度から5年間指定管理者と決定●坊主平キャンプ場の今後の活用に向け、既設のトイレに加え、トイレ（女性用2基及びバリアフリー1基）、シャワー（2室）、炊事場の整備●公園再整備計画（案）に対して意見等を募るため、「きずなネット」登録者（保育園182件、小学校416件、中学校195件、計793件、※保護者重複あり）全員にアンケート調査を実施し1111件（14.0％）の回答	a	b	b	c	b	c	Ⅱ			
		47,963	47,468	3									Ⅰ			

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標6	6	1	1	—	与田切公園、千人塚公園をベースとした与田切溪谷の整備と活用	【再掲】 観光客数（与田切公園、千人塚公園、道の駅花の里いいじま、道の駅田切の里）（年） （利用者数合計） ●観光客数は両公園においては昨年度と比較し10.8%増（7,100人増）となりました。これは新型コロナウイルス感染症の流行がある程度収まり観光需要が回復してきたことや、国内のインバウンドが好調なことにより観光客数が底上げされたことによるものと推察されます。 （参考） 令和5年度：309,100人 令和4年度：316,400人	400,000人	318,100人	B	II
						【再掲】 観光客数（与田切公園及び千人塚公園）（年） （第6次総合計画総合計画で設定した指標のうち、与田切公園及び千人塚公園の利用者数合計） （参考） 令和5年度：65,800人 令和4年度：73,300人	60,000人	72,900人	B	II

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和5年度		令和6年度									令和5年度	令和6年度	
					事務事業との関連性なし								

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標6	6	1	4	—	滞在型旅行商品の造成・販売	【再掲】 いいじま体験プログラムの作成 （ワーケーション推進協議会の中で作成した飯島の地域資源を活用した体験プログラム数） ●今年度まで4年間に渡り地域協議会とともに活動し、町内の構成員による意思決定や、ツアーメニューの開拓などの一定の成果を得てきました。今後の展開としてより良い形で民間主導で運営ができるよう、長野県主催による企業とのマッチング「チャレンジナガノ」制度等を活用し企業との懇談を進め、「日本旅行」による今後の運営が決定しました。	— 個	— 個	A	I
									A	II

基本情報					事務事業評価									
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）		達成 度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)	
					主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性	
		町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例							民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上		
							令和5年度							令和6年度
											事務事業との関連性なし			

実施計画（施策）評価												
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性			
基本目標6	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度			
							目標値	実績値	令和6年度			
基本目標6	6	1	6	—	感染症に対応するための安心安全な観光地づくりの推進	●新型コロナウイルス感染症対策として検温、手指消毒などを継続実施しクラスターの発生等はありませんでした。	—	—	—	—	B	Ⅲ
											B	Ⅲ

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標6	6	2	3	—	都市企業の社会貢献活動や福利厚生活動の受入	受入企業数 （社会貢献活動、福利厚生活動を実施する企業の受入件数） ●飯島流ワーケーション事業において、9社に対して受け入れ及びモニターツアーを実施しました。	2 社	9 社	A	Ⅱ
									A	Ⅱ

基本情報				事務事業評価													
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）		達成 度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)					改善 (Action)					
		予算額	決算額		主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性				
							町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上					
		令和5年度												令和6年度		令和5年度	
											事務事業との関連性なし						

実施計画（施策）評価											
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3 層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性		
基本目標 6	Ⅰ 層	Ⅱ 層	Ⅲ 層	プロジェクト			当該年度		令和 5 年度		
							目標値	実績値	令和 6 年度		
基本目標 6	6	4	2	○	ライフデザイン意識の醸成	ライフデザイン特集記事掲載回数（年） （ライフデザインを考えるきっかけとしてもらうための広報記事の掲載回数） ●オンラインとのハイブリッドセミナーを開催したが参加者数が少なく、広報の記事掲載には至りませんでした。	2 回	0 回	C	Ⅲ	
									C	Ⅲ	

【教育委員会事務局】事務事業・実施計画（施策）評価

■達成状況・・・（－）当該年度の評価なし ■事業終了・・・国や県の事業も含む

	事業コード・事業名称		実施計画と連動なし （●）	達成状況 1.目標を大きく上回って達成 4.目標を下回った 2.目標を上回って達成 5.目標を大きく下回った 3.ほぼ目標どおり					頁
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
教育委員会事務局	2611	児童福祉総務費		2	2	3	3		227
	2641	認可保育園運営費		3	2	2	3		228
	2661	放課後児童健全育成事業		2	3	3	3		231
	2671	子育て支援センター事業		4	3	3	3		232
	2673	子ども・子育て支援事業		3	3	3	3		233
	5111	教育委員会費	●	2	3	3	3		235
	5121	学校教育総務費		3	3	3	3		236
	5122	奨学基金費	●	4	3	3	3		237
	5123	子ども支援費		3	2	2	3		238
	5124	子ども広場推進事業	●	3	3	3	3		239
	5126	学校支援費	●	4	3	3	3		240
	5127	地域教育推進活動費	●	—	—	—	2		241
	5131	教員住宅管理費		3	3	3	3		242
	5211	飯島小学校管理費		2	3	3	3		243
	5221	飯島小学校教育振興費		3	3	3	3		245
	5241	七久保小学校管理費		2	3	3	3		247
	5251	七久保小学校教育振興費		3	3	3	3		249
	5311	中学校管理費		2	2	2	3		251

	事業コード・事業名称		実施計画と 連動なし (●)	達成状況 1.目標を大きく上回って達成 2.目標を上回って達成 3.ほぼ目標どおり 4.目標を下回った 5.目標を大きく下回った					頁
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
教育委員会事務局	5312	英語指導助手招致費		3	3	3	2		253
	5321	中学校教育振興費	●	3	3	3	3		254
	5611	生涯学習費		3	3	3	3		256
	5612	男女共同参画推進費		3	3	3	3		258
	5623	公民館費		3	3	3	3		259
	5631	図書館費		3	3	3	3		260
	5641	文化館費		3	3	3	3		262
	5651	文化財保護費		4	4	3	3		264
	5652	埋蔵文化財調査費	●	3	3	3	3		265
	5661	歴史民俗資料館費		3	3	3	3		266
	5711	保健体育総務費		2	3	3	3		267
	5713	国民スポーツ大会費		—	—	—	3		269
	5721	体育館等管理費		3	3	3	3		270
	5722	屋外運動場管理費		2	3	3	3		271
	5731	海洋センター費		3	3	3	3		272
	5741	学校給食センター費		3	3	3	3		274

基本 目標 7

<教育>

「子どもの元気」と「学びの力」でいきいき豊かな暮らし

《基本的方向》

将来にわたり活力のある暮らしやすいまちのため、家庭・学校・地域・企業が一体となって子育てを支援する、安心して子どもを産み育てられるまちを目指します。次世代を担う子どもたち一人ひとりが確かな学力と豊かな人間性、柔軟な創造性を身につけ、「生きる力」を育む学校教育を推進するとともに、誰もが生きいきと充実した人生を送ることのできる生涯学習の環境を整えます。

※施策の進捗状況

A 順調に推移している B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている

■進捗状況・・・（－）当該年度の評価なし

政策7-（1） 子どもの健やかな 体と豊かな心を育 てる	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① 待機児童ゼロ維持のため、保育環境の整備	保育園待機児童数（年）	B	B	B
	② 専門スタッフによる教室により、その子に合った早期の支援・保育の提供	定性的な成果	B	B	B
	③ 園における運動あそびや、絵本との触れ合いの充実	定性的な成果	B	B	B
	④ 子どもに関する様々な悩みに寄り添える相談体制の充実	定性的な成果	B	B	B
	⑤ 保育園、学校、家庭、地域、関係機関、行政等の連携強化	要保護児童数（年）	B	B	B
政策7-（2） 学校教育の充実	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① 国際交流事業を通じ、主体的に学び考え行動できるグローバルな人材の育成	定性的な成果	—	—	B
	② ICTを活用した教育環境の充実と教育の推進	教材提示装置整備率（飯島小学校、七久保小学校、飯島中学校）	A	B	B
	③ 安全で安心な学校給食の推進と地域に開かれた多目的給食センターの実現	給食事故件数（年）	B	B	B
	④ 郷土愛プロジェクト等を通じ地域を知り「ふるさと飯島」への愛を育む	定性的な成果	B	B	B
	⑤ 感染症に対応する情報技術を活用した教育環境の整備の推進	学校内での新型コロナクラスター発生件数（年）	A	B	A
	⑥ 心に寄り添い輝く笑顔あふれる教育活動の推進	学校満足度調査（生活）の割合	B	B	B

※施策の進捗状況

A 順調に推移している B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている

■進捗状況・・・（－）当該年度の評価なし

政策7-（3） 子どものための家 庭環境づくりの支 援	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① 関連組織間の連携による子育てと仕事の両立支援	定性的な成果	B	B	B
	② 子育て世代が安心して子育てできるような、家庭の在り方を自ら学べる講座の開催	子育て支援センター利用者延べ人数	B	B	B
	③ 切れ目のない子育て支援の実現に向けた体制の一元化	定性的な成果	B	B	B
政策7-（4） 学ぼう「知ること・為すこと・共に生きること」	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① 全町的な生涯学習活動の推進	講座参加人数（年）	B	—	—
	② 生涯学習センターと関係機関との連携強化	定性的な成果	B	—	—
	③ 各公民館事業の支援	定性的な成果	B	B	B
	④ 図書館・歴史民俗資料館・文化館・スポーツ施設等の連携強化	定性的な成果	B	—	—
	⑤ 生涯学習事業情報の一元化と情報発信	定性的な成果	B	—	—
	⑥ 指導者やボランティアの情報整備と活用	定性的な成果	C	—	—
	⑦ 現代課題や地域課題を踏まえた講座の開催	定性的な成果	B	—	—
政策7-（5） スポーツライフ 「いつでも・どこでも・いつまでも」	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① スポーツ関連団体と連携した生涯スポーツの推進	定性的な成果	B	—	—
	② 少年スポーツの活動支援	定性的な成果	B	B	B
	③ スポーツクラブ・サークルの活動支援	定性的な成果	B	—	—
	④ 「飯島町総合型スポーツクラブ」と連携した生涯スポーツの推進	定性的な成果	B	—	—
	⑤ 誰もが気軽に楽しめるニュースポーツの普及促進	定性的な成果	B	—	—
	⑥ 住民が利用しやすいスポーツ環境の整備・充実	スポーツ実施率（週1回以上運動をする人）	B	B	B

※施策の進捗状況

A 順調に推移している B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている

■進捗状況・・・（－）当該年度の評価なし

政策7-(6) 芸術・文化を守りつなぐ	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	① 住民が利用しやすい文化施設の運営	文化館利用人数（年）	B	B	B
	② 心を豊かにし、感性を高める文化事業の開催	定性的な成果	B	B	—
	③ 町内の楽器製造企業との連携による音楽環境の醸成	定性的な成果	B	—	—
	④ 学校との連携による歴史民俗資料館を活用した学習支援	定性的な成果	B	B	—
	⑤ 感染症に対応する安全な施設運営方法の研究	定性的な成果	B	—	C

基本情報				事務事業評価										
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)	
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性	
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上		
		令和5年度												令和5年度
		令和6年度											令和6年度	
2611	児童福祉 総務費	2,833	2,611	3	●家庭相談員による、相談業務を継続して実施●飯田児童相談所、学校、保育園、保健センター等関係機関との情報交換を密にした体制の強化	●実務者会議（4回）の開催●ケース会議（随時）の開催●要保護児童12名（内令和6年新規5名）、要支援児童40名（内令和6年新規10名）について、関係機関との情報共有及び支援の対応	a	a	a	a	b	b	Ⅲ	
		26,214	25,871	3										I

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標7	7	1	5	—	保育園、学校、家庭、地域、関係機関、行政等の連携強化	要保護児童数（年） （飯島町要保護児童地域対策協議会で登録している要保護児童の登録数） ●要保護児童数は横ばいの状況です。家庭問題、経済的問題など多数の問題を抱えている家庭に、関係部署と連携しながら支援を行っています。	8人	12人	B	I
									B	I

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	当該年度		進捗状況	今後の方向性
	Ⅰ層	2層	3層	プロジェクト			目標値	実績値	令和5年度	
									令和6年度	
基本目標7	7	Ⅰ	Ⅰ	○	待機児童ゼロ維持のため、保育環境の整備	保育園待機児童数（年） （10月1日現在の保育園入園待機児童数）	0 人	0 人	B	Ⅱ
						登園状況管理誤り件数 （登園・欠席等の誤りや漏れの件数）	0 件	0 件	B	Ⅱ
	7	Ⅰ	2	—	専門スタッフによる教室により、その子に合った早期の支援・保育の提供	●臨床心理士や言語聴覚士等の専門スタッフがチームとなり、それぞれの専門的視点から園児等を見ることで、その子にあった適切な支援が実施できました。また、今年度は、個別の言語聴覚士相談を18回実施することができ、早くから言語の支援ができました。	—	—	B	Ⅱ
									B	Ⅱ
	7	Ⅰ	3	—	園における運動あそびや、絵本との触れ合いの充実	●運動遊びを通して、体を動かして遊ぶ楽しさ、「できた」の経験の積み重ねができました。また、運動遊びの講師が来て教えてくださることで、保育士のスキルも上がり、日常的な運動遊びにつながりました。●遊戯室・戸外と好きなところで、好きな器具を使い体を動かして遊び、体力増進につながりました。●毎日絵本に触れることで、絵本の楽しさを知ることができたり、新しい言葉を知ったり、様々なことを想像する機会ができました。また、家庭へ絵本の貸し出しを行ったことで、親子のコミュニケーションの時間が増えた家庭もありました。	—	—	B	Ⅱ
									B	Ⅱ

実施計画（施策）評価												
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性			
基本目標7	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度					
							目標値		実績値		令和6年度	
基本目標7	7	3	1	—	関連組織間の連携による子育てと仕事の両立支援	●安心して預けられる保育の場の提供ができるよう、保育士の処遇改善を図り、保育士確保、残留に努め、保保育園の体制を維持しました。また、女性の就業相談やファミリーサポートセンター事業の整備に努めました。	—	—	—	—	B	II
											B	II

基本情報				事務事業評価												
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)			
事業コード	事業名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要性		有効性	効率性			今後の方向性			
		予算額	決算額				町民ニーズ	民間での事例		民間活用	手法見直し	質の向上				
		令和５年度												令和５年度		
		令和６年度												令和６年度		
2661	放課後児童健全育成事業	14,757	14,535	3	●支援員との連携を密にし、安定した運営を図るため定期的な打ち合わせ会の開催●支援員と学童支援システムの運用協議、機能確認の実施●新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応を進めながら適正な施設運営を実施●老朽化した機器や設備の更新●児童対応に十分な支援員の確保	●年間を通じて支援員との定期的な打ち合わせを引き続き実施●コロナ禍後の感染症等拡大防止の観点から、引き続き消毒等の感染対策を実施●児童図書50冊購入●老朽化した備品の更新（ランドセル収納棚１台、スチールロッカー１台）	a	b	b	a	b	b	Ⅱ			
		15,865	15,647	3									Ⅱ			

実施計画（施策）評価										
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3 層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標 7	Ⅰ 層	Ⅱ 層	Ⅲ 層	プロジェクト			当該年度		令和 5 年度	
							目標値	実績値	令和 6 年度	
基本目標 7	7	3	Ⅰ	—	関連組織間の連携による子育てと仕事の両立支援	●安心して預けられる保育の場の提供ができるよう、保育士の処遇改善を図り、保育士確保、残留に努め、保保育園の体制を維持しました。また、女性の就業相談やファミリーサポートセンター事業の整備に努めました。	—	—	B	Ⅱ
									B	Ⅱ

基本情報				事務事業評価																					
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)												
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性												
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上													
													令和5年度											令和5年度	
													令和6年度											令和6年度	
2673	子ども・子育て支援事業	3,511	3,382	3	●2～5か月児を持つ母親対象のBP1（第1子向け）及びBP2（第2子以降向け）プログラムの実施●子育て支援センター連絡会議（こども室・保健医療係・支援センター）の開催●赤ちゃん訪問の実施●子育て支援講座の開催（参考） 「BP1」初めて赤ちゃんを育てている母親のためのプログラム 「BP2」2人目以上の赤ちゃんを育てている母親と赤ちゃんが一緒に参加するプログラム	●「BP1」を2回実施（10名参加）●「BP2」を1回実施（4名参加）●子育て支援センター連絡会議を開催（開催数6回）●赤ちゃん訪問の際に、中学生、ボランティア、支援センター来訪者が手作りしたスタイに作成者からのメッセージを添えて配布●子育て支援講座として、浅井先生をお招きし、「子育ておしゃべり会」を開催（参加者10名）	a	b	b	b	b	b	Ⅱ												
		4,416	3,942	3								Ⅱ													

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標7	7	1	4	—	子どもに関する様々な悩みに寄り添える相談体制の充実	●妊娠9か月頃に面談する機会を設けるプレママ相談（個別相談）を実施することにより、支援センターを身近な場所と捉え、出産後、月齢の早い段階からの支援センター利用を勧めています。 （参考）登録家庭件数 ・令和5年度：177件 ・令和6年度：170件	—	—	B	II
									B	II
	7	3	1	—	関連組織間の連携による子育てと仕事の両立支援	●安心して預けられる保育の場の提供ができるよう、保育士の処遇改善を図り、保育士確保、残留に努め、保保育園の体制を維持しました。また、女性の就業相談やファミリーサポートセンター事業の整備に努めました。	—	—	B	II
									B	II

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度							
5111	教育委員会費	1,529	1,494	3	●定例教育委員会・臨時教育委員会の開催●総合教育会議の開催	●各種委員会の開催（定例教育委員会12回、総合教育会議1回）	a	a	a	a	a	a	I
		1,547	1,509	3									I

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標7	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
					施策との関連性なし					

基本情報				事務事業評価										
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)	
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性	
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上		
		令和5年度												
		令和6年度												令和6年度
5121	学校教育 総務費	10,641	9,669	3	●就学児検診、職員健康診断、学校関係職員のストレスチェックの実施 ●感染症等の拡大防止対策の支援●ICT支援員の導入	●就学児検診対象者実施率100%●学校関係職員を対象にストレスチェックを行い98.3%（1.7%下降）実施●総合リスク（仕事のストレスによる心理的ストレス反応）は全国平均を100（高いほど悪い）として64ポイント（前年度より7ポイント改善）、全国より33ポイント良好な結果となった。●ICT支援員を1名配置し、日常的な業務や現場からの要望や課題に対処できる体制を図った。	a	b	b	b	b	b	Ⅱ	
		20,964	18,268	3									Ⅱ	

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標7	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標7	7	2	1	—	国際交流事業を通じ、主体的に学び考え行動できるグローバルな人材の育成	異文化交流事業実施数 （外国の学校との交流、外国の方を招いての授業、海外協力隊等との事業の実施数） ●各校年間3回（各学期1回ずつ）を目標としたが、学校カリキュラム等の関係で中学校で実施することができなかったため、学校と連携して年間計画として実施してもらえるように協議をしていく必要があります。	9回	8回	—	—
									B	II

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
		令和 5 年度							令和 5 年度				
		令和 6 年度					令和 6 年度						
5122	奨学基金費	3	2	3	●奨学金事業の適正な管理運営の実施●ふるさと飯島奨学金返還支援補助金の運用	●奨学金に係る適正な事務執行（貸付中1名、償還中5名）●ふるさと飯島奨学金返還支援補助金の適正な事務執行（町内事業所就業対象者4件、町外事業所就業対象者6件）	a	b	b	a	b	b	Ⅱ
		1,461	1,460										3

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標7	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
					施策との関連性なし					

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
		令和５年度					令和５年度			令和５年度		令和５年度	
		令和６年度					令和６年度			令和６年度		令和６年度	
5123	子ども支 援費	19,009	17,769	2	●教育支援委員会の実施●必要に応 じて専門家の巡回相談●教育相談室 （中間教室）の運営	●教育支援委員会の実施（６回）● 教育相談室（中間教室）利用生徒・ 児童数（中学校10名、小学校８ 名）	a	b	b	b	a	b	Ⅱ
		5,848	5,433	3									Ⅱ

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
		令和５年度											
		令和６年度											令和６年度
5124	子ども広 場推進事 業	1,265	899	3	●子どもたちの居場所づくりとして 各地区で子ども広場を設置●運営に 係る費用（報償費等）の支援●各方 面での支援員募集	●子ども広場運営に係る適正な事務 の執行（４地区報償費1,287千円、 ４地区消耗品費56千円）	a	b	b	b	b	b	I
		1,830	1,344	3									II

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標7	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
					施策との関連性なし					

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業コード	事業名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要性		有効性	効率性			今後の 方向性
		予算額	決算額				町民 ニーズ	民間 での 事例		民間 活用	手法 見直し	質の 向上	
令和5年度		令和6年度			令和5年度		令和6年度						
5126	学校支援費	4,715	4,257	3	●コミュニティスクール活動の中で地域人材を活用し、様々な大人と子どもたちとの異世代間交流●地域未来塾を開講し、生徒へ学習支援を実施●生徒に金銭的負担のない事業の実施●タブレットを活用した学習方法の拡大	●小学校クラブ活動に、地域から多くのクラブ講師を招いた。●いいじま未来塾をの実施（37回）●特別講座の実施（1回）	a	b	b	a	a	a	Ⅱ
		1,944	1,562	3									Ⅱ

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標7	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
					施策との関連性なし					

基本情報				事務事業評価										
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)	
事業コード	事業名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要性		有効性	効率性			今後の方向性	
		予算額	決算額				町民ニーズ	民間での事例		民間活用	手法見直し	質の向上		
令和５年度		令和５年度												
令和６年度		令和６年度												
5127	地域教育推進活動費	—	—	—	●中学校を中心とした外国語教育の推進●住民を対象とした英会話講座、表現アート講座の実施●飯島町 EnglishCampの実施	●町内学校で、ＪＩＣＡやＪＯＣＡ、地球人ネットワークと協力し、各学期に１回全校を対象とした異文化交流事業を実施●住民を対象に英会話講座を開催し、外国語教育の推進●表現アート講座を開催し、自己肯定感の育成を図った。	a	b	b	b	b	b	—	
		5,899	5,835	2									Ⅱ	

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標7	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
					施策との関連性なし					

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和５年度		令和６年度		令和５年度		令和６年度							
5131	教員住宅 管理費	1,350	1,317	3	●施設の管理運営を適正に実施●飯 島町学校施設等長寿命化計画等に基 づく計画的な修繕の実施	●必要に応じて住宅設備修繕等の実 施（水栓取替、畳の表替え、給湯器 修繕等）	b	b	c	b	b	c	Ⅳ
		1,131	1,092	3									Ⅳ

実施計画（施策）評価										
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3 層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	Ⅰ 層	Ⅱ 層	Ⅲ 層	プロジェクト			当該年度		令和 5 年度	
							目標値	実績値	令和 6 年度	
基本目標 7	7	2	6	—	心に寄り添い輝く笑顔あふれる教育活動の推進	学校満足度調査（生活）の割合 （小中学校の児童・生徒を対象にしたアンケート調査で「学校へ行くのが楽しい」と答えた人の割合） ●学校満足度調査（生活）の割合について、コロナ禍の影響から抜け出し、友達同士の関わりに制限がなくなったことにより、充実していると感じている児童生徒が増えてきたと考えられます。	85.0 %	87.0 %	B	Ⅱ
						学校満足度調査（学習）の割合 （小中学校の児童・生徒を対象にしたアンケート調査で「学習内容がわかりやすい」と答えた人の割合） ●学校満足度調査（学習）の割合について、ICT 支援員を配置し ICT 機器を活用した授業が増え、個々のスキルも上がってきたことにより、学習内容が定着しやすくなってきたことが考えられます。	84.0 %	87.0 %	B	Ⅱ

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和５年度		令和５年度											
令和６年度		令和６年度											
5211	飯島小学校管理費	35,767	33,666	3	●飯島町学校施設等長寿命化計画等に基づいた計画的な施設維持管理●各種支援員の配置●感染症等への継続した対策の実施●老朽化した設備等の修繕●備品等の更新	●感染症等の対策を継続しながら、コロナ禍以前の事業内容で実施●学校の要望に応じて、継続した各種支援員の配置（特別支援教育支援員２名（令和５年度２名）、学習支援員１名（令和５年度１名））●学校施設等の必要な修繕を実施	a	b	b	a	b	b	Ⅱ
		39,953	38,706	3			Ⅱ						

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標7	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標7	7	2	5	—	感染症に対応する情報技術を活用した教育環境の整備の推進	学校内での新型コロナクラスター発生件数（年） （学校内で新型コロナクラスターが発生した件数） ●感染症対策が習慣化してきており、日常的に意識することでクラスターの発生をおさえることができました。	0 件	0 件	B	Ⅱ
									A	I

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標7	7	2	6	—	心に寄り添い輝く笑顔あふれる教育活動の推進	【再掲】 学校満足度調査（生活）の割合 （小中学校の児童・生徒を対象にしたアンケート調査で「学校へ行くのが楽しい」と答えた人の割合） ●学校満足度調査（生活）の割合について、コロナ禍の影響から抜け出し、友達同士の関わりに制限がなくなったことにより、充実していると感じている児童生徒が増えてきたと考えられます。	85.0 %	87.0 %	B	II
						【再掲】 学校満足度調査（学習）の割合 （小中学校の児童・生徒を対象にしたアンケート調査で「学習内容がわかりやすい」と答えた人の割合） ●学校満足度調査（学習）の割合について、ICT支援員を配置しICT機器を活用した授業が増え、個々のスキルも上がってきたことにより、学習内容が定着しやすくなってきたことが考えられます。	84.0 %	87.0 %	B	II

基本情報				事務事業評価											
				達成度	計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)				改善 (Action)		
事業コード	事業名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要性		有効性	効率性			今後の方向性		
		予算額	決算額							民間活用	手法見直し	質の向上			
							令和５年度							町民ニーズ	民間での事例
							令和６年度								
5221	飯島小学校教育振興費	15,431	15,014	3	●情報機器の計画的な整備、一台端末の更新●ソフト（活用）面の充実・強化を実施●経済的な理由で学習面で不利な児童生徒が出ないように、家庭の支援を実施（就学援助費）	●必要な情報機器の更新等（電子黒板４台）●準要保護就学援助費の支給（36名）●各教科教材備品の更新（アコーディオン（音楽）、逆上がり補助版、跳び箱　ほか（体育））	a	b	b	b	b	b	Ⅱ		
		18,126	17,653	3									Ⅱ		

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	Ⅰ層	Ⅱ層	Ⅲ層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標7	7	2	2	—	ICTを活用した教育環境の充実と教育の推進	教材提示装置整備率 （飯島小学校、七久保小学校、飯島中学校） （普通教室、特別支援教室への整備率（電子黒板、書画カメラ、タブレットPCのセット）） ●必要な機器やアプリ等の選定に時間がかかり、必要な時に必要なものを導入できない場合があります。	100.0 %	92.0 %	B	I
									B	I

実施計画（施策）評価										
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3 層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	Ⅰ 層	2 層	3 層	プロジェクト			当該年度		令和 5 年度	
							目標値	実績値	令和 6 年度	
基本目標 7	7	2	4	○	郷土愛プロジェクト等を通じ地域を知り「ふるさと飯島」への愛を育む	●与田切川流域の上司場や発電所での学習（小学校）を通して、自分が住んでいる地域について学びを深めることができました。●「ふるさとフェスin飯島」（中学校・キャリア教育）を開催し、町内事業所や事業者との交流を通して、身近にある仕事について学び、地元理解を深めることができました。	—	—	B	Ⅱ
									B	I
	7	2	6	—	心に寄り添い輝く笑顔あふれる教育活動の推進	【再掲】 学校満足度調査（生活）の割合 （小中学校の児童・生徒を対象にしたアンケート調査で「学校へ行くのが楽しい」と答えた人の割合） ●学校満足度調査（生活）の割合について、コロナ禍の影響から抜け出し、友達同士の関わりに制限がなくなったことにより、充実していると感じている児童生徒が増えてきたと考えられます。	85.0 %	87.0 %	B	Ⅱ
						【再掲】 学校満足度調査（学習）の割合 （小中学校の児童・生徒を対象にしたアンケート調査で「学習内容がわかりやすい」と答えた人の割合） ●学校満足度調査（学習）の割合について、ICT支援員を配置しICT機器を活用した授業が増え、個々のスキルも上がってきたことにより、学習内容が定着しやすくなってきたことが考えられます。	84.0 %	87.0 %	B	Ⅱ

基本情報				事務事業評価										
				達成度	計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)					改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性	
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上		
令和５年度		令和５年度												
令和６年度		令和６年度												
5241	セ久保小 学校管理 費	23,736	22,515	3	●飯島町学校施設等長寿命化計画等に基づいた計画的な施設維持管理●各種支援員の配置●感染症等への継続した対策の実施●老朽化した設備等の修繕●備品等の更新	●感染症等の対策を継続しながら、コロナ禍以前の事業内容で実施●学校の要望に応じて、継続した各種支援員の配置（特別支援教育支援員２名（令和５年度２名）、学習支援員１名（令和５年度１名））●学校施設等の必要な修繕の実施	a	b	b	a	b	b	Ⅱ	
		31,404	30,013	3									Ⅱ	

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標7	7	2	5	—	感染症に対応する情報技術を活用した教育環境の整備の推進	【再掲】 学校内での新型コロナクラスター発生件数（年） （学校内で新型コロナクラスターが発生した件数） ●感染症対策が習慣化してきており、日常的に意識することでクラスターの発生をおさえることができました。	0 件	0 件	B	Ⅱ
									A	I

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標7	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標7	7	2	6	—	心に寄り添い輝く笑顔あふれる教育活動の推進	【再掲】 学校満足度調査（生活）の割合 （小中学校の児童・生徒を対象にしたアンケート調査で「学校へ行くのが楽しい」と答えた人の割合） ●学校満足度調査（生活）の割合について、コロナ禍の影響から抜け出し、友達同士の関わりに制限がなくなったことにより、充実していると感じている児童生徒が増えてきたと考えられます。	85.0 %	87.0 %	B	II
						【再掲】 学校満足度調査（学習）の割合 （小中学校の児童・生徒を対象にしたアンケート調査で「学習内容がわかりやすい」と答えた人の割合） ●学校満足度調査（学習）の割合について、ICT支援員を配置しICT機器を活用した授業が増え、個々のスキルも上がってきたことにより、学習内容が定着しやすくなってきたことが考えられます。	84.0 %	87.0 %	B	II

基本情報				事務事業評価										
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)	
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性	
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上		
		令和 5 年度												令和 5 年度
		令和 6 年度											令和 6 年度	
5251	七久保小 学校教育 振興費	8,016	7,507	3	●新型コロナウイルスを含め、感染症拡大防止のための措置の継続●長寿命化計画に基づく計画的な修繕●児童数の減等にもなう学校のあり方の検討●支援が必要な児童へ支援が届くよう、必要な支援員数の確保	●必要な情報機器の更新等（電子黒板 2 台）、児童用端末iPad更新（90 台））●準要保護就学援助費の支給（3 名）●各教科教材備品の更新（アコーディオン、電子キーボード（音楽））	a	b	b	b	b	b	Ⅱ	
		14,398	14,027	3										Ⅱ

実施計画（施策）評価										
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3 層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標 7	Ⅰ 層	2 層	3 層	プロジェクト			当該年度		令和 5 年度	
							目標値	実績値	令和 6 年度	
基本目標 7	7	2	2	—	I C Tを活用した教育環境の充実と教育の推進	【再掲】 教材提示装置整備率 （飯島小学校、七久保小学校、飯島中学校） （普通教室、特別支援教室への整備率（電子黒板、書画カメラ、タブレットPCのセット）） ●必要な機器やアプリ等の選定に時間がかかり、必要な時に必要なものを導入できない場合があります。	100.0 %	92.0 %	B	I
									B	I

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和4年度	
基本目標7	7	2	4	○	郷土愛プロジェクト等を通じ地域を知り「ふるさと飯島」への愛を育む	●与田切川流域の上司場や発電所での学習（小学校）を通して、自分が住んでいる地域について学びを深めることができました。●「ふるさとフェスin飯島」（中学校・キャリア教育）を開催し、町内事業所や事業者との交流を通して、身近にある仕事について学び、地元理解を深めることができました。	—	—	B	II
									B	I
	7	2	6	—	心に寄り添い輝く笑顔あふれる教育活動の推進	【再掲】 学校満足度調査（生活）の割合 （小中学校の児童・生徒を対象にしたアンケート調査で「学校へ行くのが楽しい」と答えた人の割合） ●学校満足度調査（生活）の割合について、コロナ禍の影響から抜け出し、友達同士の関わりに制限がなくなったことにより、充実していると感じている児童生徒が増えてきたと考えられます。	85.0 %	87.0 %	B	II
						【再掲】 学校満足度調査（学習）の割合 （小中学校の児童・生徒を対象にしたアンケート調査で「学習内容がわかりやすい」と答えた人の割合） ●学校満足度調査（学習）の割合について、ICT支援員を配置しICT機器を活用した授業が増え、個々のスキルも上がってきたことにより、学習内容が定着しやすくなってきたことが考えられます。	84.0 %	87.0 %	B	II

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)					改善 (Action)	
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要性		有効性	効率性			今後の 方向性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民間 での 事例		民間 活用	手法 見直 し	質の 向上	
令和５年度		令和６年度		令和５年度		令和６年度							
5311	中学校管理費	35,032	33,452	2	●飯島町学校施設等長寿命化計画等に基づいた計画的な施設維持管理●各種支援員の配置●感染症等への継続した対策の実施●老朽化した設備等の修繕●備品等の更新	●感染症等の対策を継続しながら、コロナ禍以前の事業内容で実施●学校の要望に応じて、継続した各種支援員の配置①特別支援教育支援員１名（令和５年度１名）②学習支援員１名（令和５年度１名）③心の相談員１名（令和５年度１名）●学校施設等の必要な修繕を実施	a	b	b	b	b	b	Ⅱ
		43,261	41,304	3			Ⅱ						

実施計画（施策）評価										
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3 層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標 7	Ⅰ 層	2 層	3 層	プロジェクト			当該年度		令和 5 年度	
							目標値	実績値	令和 6 年度	
基本目標 7	7	2	5	—	感染症に対応する情報技術を活用した教育環境の整備の推進	【再掲】 学校内での新型コロナクラスター発生件数（年） （学校内で新型コロナクラスターが発生した件数） ●感染症対策が習慣化してきており、日常的に意識することでクラスターの発生をおさえることができました。	0 件	0 件	B	Ⅱ
									A	I

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標7	7	2	6	—	心に寄り添い輝く笑顔あふれる教育活動の推進	【再掲】 学校満足度調査（生活）の割合 （小中学校の児童・生徒を対象にしたアンケート調査で「学校へ行くのが楽しい」と答えた人の割合） ●学校満足度調査（生活）の割合について、コロナ禍の影響から抜け出し、友達同士の関わりに制限がなくなったことにより、充実していると感じている児童生徒が増えてきたと考えられます。	85.0 %	87.0 %	B	II
						【再掲】 学校満足度調査（学習）の割合 （小中学校の児童・生徒を対象にしたアンケート調査で「学習内容がわかりやすい」と答えた人の割合） ●学校満足度調査（学習）の割合について、ICT支援員を配置しICT機器を活用した授業が増え、個々のスキルも上がってきたことにより、学習内容が定着しやすくなってきたことが考えられます。	84.0 %	87.0 %	B	II

基本情報				事務事業評価											
				達成度	計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)						改善 (Action)
事業コード	事業名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要性		有効性	効率性			今後の方向性		
		予算額	決算額							民間活用	手法見直し	質の向上			
							町民ニーズ							民間での事例	
							令和５年度							令和５年度	
令和６年度		令和６年度													
5312	英語指導 助手招致費	5,508	5,183	3	●ＡＬＴを設置し１年間の活動支援を実施●小中学校だけでなく、保育園での活動も実施●外国の学校との交流事業の検討	●国際理解教育の一環として、海外学校との交流事業計画のスタート●異文化交流事業としてＡＬＴを含めた様々な国の人たちと交流する機会の設定●年度途中でALTが退職し、一時的に不在期間ができてしまった。	a	b	b	b	b	b	Ⅱ		
		4,231	4,048	2									Ⅱ		

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標7	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
					施策との関連性なし					

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
		令和5年度											
		令和6年度					令和6年度						
5321	中学校教育振興費	17,176	15,839	3	●コロナ禍後における適正な教育活動の推進●ICT教育・GIGAスクール構想に基づいた継続した環境整備（ハード）を実施●ソフト（活用）面の充実・強化を実施●老朽化した教材等の更新を実施・経済的な理由で学習面で不利な児童生徒が出ないように、家庭の支援を実施（就学援助費）	●必要な情報機器の更新（電子黒板4台）●英語学習アプリ「TerraTalk」を導入し、英語教育支援●準要保護就学援助費を支給（19名）●各教科教材備品の更新（文化筆（音楽）、ベルトサンダー、集じん機（技術）、生物顕微鏡ほか（理科）理振補助金活用）	a	b	b	b	b	b	Ⅱ
		19,107	18,198	3									Ⅱ

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標7	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標7	7	2	2	—	ICTを活用した教育環境の充実と教育の推進	【再掲】 教材提示装置整備率 （飯島小学校、七久保小学校、飯島中学校） （普通教室、特別支援教室への整備率（電子黒板、書画カメラ、タブレットPCのセット）） ●必要な機器やアプリ等の選定に時間がかかり、必要な時に必要なものを導入できない場合があります。	100.0 %	92.0 %	B	I
									B	I

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	Ⅰ層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標7	7	2	4	○	郷土愛プロジェクト等を通じ地域を知り「ふるさと飯島」への愛を育む	●与田切川流域の上司場や発電所での学習（小学校）を通して、自分が住んでいる地域について学びを深めることができました。●「ふるさとフェスin飯島」（中学校・キャリア教育）を開催し、町内事業所や事業者との交流を通して、身近にある仕事について学び、地元理解を深めることができました。	—	—	B	Ⅱ
									B	I
	7	2	6	—	心に寄り添い輝く笑顔あふれる教育活動の推進	【再掲】 学校満足度調査（生活）の割合 （小中学校の児童・生徒を対象にしたアンケート調査で「学校へ行くのが楽しい」と答えた人の割合） ●学校満足度調査（生活）の割合について、コロナ禍の影響から抜け出し、友達同士の関わりに制限がなくなったことにより、充実していると感じている児童生徒が増えてきたと考えられます。	85.0 %	87.0 %	B	Ⅱ
						【再掲】 学校満足度調査（学習）の割合 （小中学校の児童・生徒を対象にしたアンケート調査で「学習内容がわかりやすい」と答えた人の割合） ●学校満足度調査（学習）の割合について、ICT支援員を配置しICT機器を活用した授業が増え、個々のスキルも上がってきたことにより、学習内容が定着しやすくなってきたことが考えられます。	84.0 %	87.0 %	B	Ⅱ

基本情報				事務事業評価									
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）		達成 度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
					主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例				民 間 活 用	手 法 見 直 し		質 の 向 上			
予算額	決算額	令和５年度		令和６年度						令和５年度	令和６年度		
5611	生涯学習費	11,006	10,649	3	●学級講座の計画及び運営●生き粋出前講座の推進●20歳を祝う集いの開催	●成人教育講座の開催 令和６年度：20講座、99回 延べ926人参加 令和５年度：18講座、102回 延べ979人参加 ●高齢者教育講座の開催 令和６年度：1講座、6回 延べ170人参加 令和５年度：1講座、7回 延べ176人参加 ●生き粋出前講座の開催 令和６年度：140回開講 延べ2,920人参加 令和５年度：145回開講 延べ2,559人参加 ●20歳を祝う集い（8月15日） 令和６年度：対象者106人中81人参加 令和５年度：対象者99人中67人参加 ●講座案内について、広報いいじまに４ページで掲載し情報発信を図った。	a	a	a	a	a	a	Ⅱ
		11,322	10,751	3									Ⅱ

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	Ⅰ層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標7	7	4	1	—	全町的な生涯学習活動の推進	講座参加人数（年） （各講座への参加者数の合計）	1,500 人	— 人	—	—
									—	—
	7	4	2	—	生涯学習センターと関係機関との連携強化	—	— —	— —	—	—
									—	—
	7	4	5	—	生涯学習事業情報の一元化と情報発信	—	— —	— —	—	—
									—	—
	7	4	6	—	指導者やボランティアの情報整備と活用	—	— —	— —	—	—
									—	—
	7	4	7	—	現代課題や地域課題を踏まえた講座の開催	—	— —	— —	—	—
									—	—
	7	6	2	—	心を豊かにし、感性を高める文化事業の開催	—	— —	— —	B	I
									—	—

基本情報				事務事業評価										
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)	
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性	
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上		
		令和５年度												令和５年度
		令和６年度											令和６年度	
5612	男女共同 参画推進 費	288	110	3	●男女共同参画社会推進懇話会の開催（２回／年）●男女共同参画アンケートの実施●いいちゃん文化祭へ男女共同参画コーナーの設置●11月の「女性に対する暴力をなくす運動」の「パープルライトアップ」への参加●男女共同参画社会推進講演会の開催	●男女共同参画社会推進懇話会の開催（２回／年）●講演会の開催（１回27人聴講）●いいちゃん文化祭へ男女共同参画コーナーを設置●町広報紙に毎月４コママンガを掲載して啓発	a	a	b	a	b	b	Ⅱ	
		193	154	3									Ⅱ	

実施計画（施策）評価											
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3 層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性		
基本目標 7	Ⅰ 層	2 層	3 層	プロジェクト			当該年度		令和 5 年度		
							目標値	実績値	令和 6 年度		
基本目標 7	7	4	7	—	現代課題や地域課題を踏まえた講座の開催	—	—	—	—	—	
									—	—	

基本情報				事務事業評価											
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)		
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性		
		予算額	決算額							町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例	民 間 活 用		手 法 見 直 し	質 の 向 上
							令和５年度		令和５年度						
							令和６年度		令和６年度						
5623	公民館費	24,984	24,506	3	●４つの公民館それぞれ創意工夫して公民館活動を展開し、地域住民による利用を増やし活性化を図る	●館長主事会の開催（６回）●全公民館でエアコン設置工事●公民館活動委託料のほか、文化祭交付金、運動会交付金、公民館敷地料交付金などで活動を支援●施設修繕補助（飯島公民館１件、七久保公民館３件）	a	a	a	a	b	a	Ⅱ		
		37,217	36,616	3									Ⅱ		

実施計画（施策）評価												
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性			
基本目標7	Ⅰ層	Ⅱ層	Ⅲ層	プロジェクト			当該年度		令和5年度			
							目標値		実績値		令和6年度	
	7	4	3	—	各公民館事業の支援	●生涯学習センターと連携しながら4つの公民館がそれぞれ創意工夫して公民館活動を展開したにより、活性化が図られました。	—	—	—	—	B	Ⅱ
	7	4	7	—	現代課題や地域課題を踏まえた講座の開催	—	—	—	—	—	—	
										—	—	
	7	6	5	—	感染症に対応する安全な施設運営方法の研究	●「デジタルアーカイブ化」を導入している先進自治体の事例を参考に取組み状況を確認することができたが、具体的な計画など策定はできなかった。引き続き、デジタル映像の形で保存・蓄積、次世代に継承できるよう研究を進めて行きます。	—	—	—	—	—	—
											C	Ⅱ

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	Ⅰ層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標7	7	4	4	—	図書館・歴史民俗資料館・文化館・スポーツ施設等の連携強化	—	—	—	—	—
									—	—
	7	6	Ⅰ	—	住民が利用しやすい文化施設の運営	文化館利用人数（年） （前年4月1日現在の人口の4倍を目標とする。令和5年以降は推測値） ●利用者数は令和5年度の33,188人に比べ令和6年度28,601人（前年比86.2%）と減少しましたが、コロナワクチン接種会場としての利用者数を除いて比較すると令和5年度25,118人に対し令和6年度28,601人（前年比113.9%）と増加しました。	35,094 人	28,601 人	B	Ⅰ
									B	Ⅱ
	7	6	5	—	感染症に対応する安全な施設運営方法の研究	●「デジタルアーカイブ化」を導入している先進自治体の事例を参考に取組み状況を確認することができたが、具体的な計画など策定はできなかった。引き続き、デジタル映像の形で保存・蓄積、次世代に継承できるよう研究を進めて行きます。	—	—	—	—
									C	Ⅱ

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標7	7	4	4	—	図書館・歴史民俗資料館・文化館・スポーツ施設等の連携強化	—	—	—	—	—
	7	6	1	—	住民が利用しやすい文化施設の運営	【再掲】 文化館利用人数（年） （前年4月1日現在の人口の4倍を目標とする。令和5年以降は推測値） ●利用者は令和5年度の33,188人に比べ令和6年度28,601人（前年比86.2%）と減少しましたが、コロナワクチン接種会場としての利用者数を除いて比較すると令和5年度25,118人に対し令和6年度28,601人（前年比113.9%）と増加しました。	35,094 人	28,601 人	B	I
									B	II
	7	6	2	—	心を豊かにし、感性を高める文化事業の開催	—	—	—	B	I
									—	—
	7	6	3	—	町内の楽器製造企業との連携による音楽環境の醸成	—	—	—	—	—
									—	—
	7	6	5	—	感染症に対応する安全な施設運営方法の研究	●「デジタルアーカイブ化」を導入している先進自治体の事例を参考に取組み状況を確認することができたが、具体的な計画など策定はできなかった。引き続き、デジタル映像の形で保存・蓄積、次世代に継承できるよう研究を進めて行きます。	—	—	—	—
									C	II

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要性		有 効 性	効率性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和5年度		令和5年度											
令和6年度		令和6年度											
5651	文化財保護費	324	281	3	●文化財の指定等●陸軍登戸研究所について聞き取り調査を行い報告書の作成●文化財標柱等の更新を適切に実施	●「飯島町に疎開した陸軍登戸研究所から戦争と平和を考える」を開催 ①特別展示6日間、190人観覧 ②講演会・座談会45人聴講 ●「飯島町文化財MAP」の更新	a	a	b	a	a	a	Ⅱ
		626	573	3			Ⅱ						

実施計画（施策）評価											
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性		
基本目標7	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度		
							目標値	実績値	令和6年度		
	7	4	4	—	図書館・歴史民俗資料館・文化館・スポーツ施設等の連携強化	—	—	—	—	—	—
7	6	5	—	感染症に対応する安全な施設運営方法の研究	●「デジタルアーカイブ化」を導入している先進自治体の事例を参考に取組み状況を確認することができたが、具体的な計画など策定はできなかった。引き続き、デジタル映像の形で保存・蓄積、次世代に継承できるよう研究を進めて行きます。	—	—	—	—	—	—
										C	Ⅱ

基本情報				事務事業評価										
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)	
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性	
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上		
		令和5年度												令和6年度
													令和5年度	令和6年度
5652	埋蔵文化財調査費	509	282	3	●埋蔵文化財包蔵地内での開発がある場合は、工事立ち合いのほか、必要により試掘等の調査の実施	●試掘調査の実施 令和6年度：1件 令和5年度：2件 ●工事立ち合いの実施 令和6年度：17件 令和5年度：12件 ●慎重工事の実施 令和6年度：3件 令和5年度：0件	a	a	b	a	a	a	I	I

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標7	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
					施策との関連性なし					

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)					改善 (Action)	
事業コード	事業名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要性		有効性	効率性			今後の方向性
		予算額	決算額				町民ニーズ	民間での事例		民間活用	手法見直し	質の向上	
令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度							
5661	歴史民俗資料館費	24,107	23,373	3	●飯島町歴史民俗資料館のうち、飯島陣屋を常時開館して博物館活動を行い、陣嶺館は予約により開館する ●講座等を生涯学習センターと共同で開講	●開館日数 令和6年度：243日 令和5年度：174日 ●入館者数 令和6年度：839人 令和5年度：840人 ●「小正月飾りづくり」イベントの開催 令和6年度：21人参加 令和5年度：40人参加 ●古文書講座、古文書クラブ、いいちゃん名所めぐり散歩の開催 ●陣嶺館秋の特別開館は開催しなかった（登戸研究所関係事業を実施したため）	a	b	b	b	b	b	I
		4,691	4,314	3									I

実施計画（施策）評価														
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）			進捗状況	今後の方向性				
基本目標7	1層	2層	3層	プロジェクト		当該年度			令和5年度					
						目標値		実績値	令和6年度					
						7	4	4	—	図書館・歴史民俗資料館・文化館・スポーツ施設等の連携強化	—	—	—	—
7	6	4	—	学校との連携による歴史民俗資料館を活用した学習支援	—	—	—	—	B	Ⅱ				
									—	—				

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)					改善 (Action)	
事業コード	事業名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要性		有効性	効率性			今後の方向性
		予算額	決算額				町民ニーズ	民間での事例		民間活用	手法見直し	質の向上	
令和5年度		令和6年度						令和5年度		令和6年度			
5711	保健体育総務費	6,017	5,463	3	●体育館開放日の啓発、運営●出前講座や囲碁ボール大会等ニュースポーツの普及活動●各種スポーツ大会の実施	●体育館開放の実施 令和6年度：12回開催、272人参（1月～3月は、飯島体育館・B＆G海洋センター体育館でのみ開催） 令和5年度：12回開催、429人参加 ●ニュースポーツ出前講座を開催 ●町長杯囲碁ボール大会を開催 令和6年度：16チーム50人参加 令和5年度：16チーム49人参加 ●各種スポーツ大会を25大会中21大会実施 ●オンラインイベント「オクトーバーラン＆ウォーク」に参加 ●部活動の地域移行について研究を進め、男子バレーボールについて、中川村との合同チーム「レッドディアーズ」を発足	a	a	b	b	b	b	I
		7,355	6,834	3									

実施計画（施策）評価											
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3 層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性		
基本目標 7	1 層	2 層	3 層	プロジェクト			当該年度		令和 5 年度		
							目標値		実績値		令和 6 年度
基本目標 7	7	4	4	—	図書館・歴史民俗資料館・文化館・スポーツ施設等の連携強化	—			—	—	
									—	—	
	7	5	1	—	スポーツ関連団体と連携した生涯スポーツの推進	—			—	—	
									—	—	

[illegible]

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)					改善 (Action)	
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和５年度		令和６年度		令和５年度		令和６年度							
5713	国民スポーツ大会費	—	—	—	●リハーサル大会（滋賀県）、本大会（佐賀県）への視察および事業報告会への出席●長野県主催の会議、ヒアリングへの対応●駒ヶ根市事業への協力・参加●駒ヶ根市、長野県ホッケー協会との定例会議出席	●リハーサル大会（滋賀県米原市）、本大会（佐賀県伊万里市）への視察および事業報告会への出席●長野県主催の会議、ヒアリングへの対応●駒ヶ根市主催のホッケー普及事業「ホッケー国際試合観戦ツアー」へ「I I J I M Aホッケークラブ」が参加●ホッケー体験会の開催①飯島町スポーツ連絡協議会研修会（60人）②飯島町文化祭 ホッケー体験ブース（50人）③スポーツ活動拠点構築事業「みなこいホッケー体験会」（24人）	a	a	b	b	b	b	—
		8,747	8,489	3									Ⅲ

実施計画（施策）評価												
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性			
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度			
							目標値	実績値	令和6年度			
基本目標7	7	5	6	—	住民が利用しやすいスポーツ環境の整備・充実	【再掲】 スポーツ実施率（週1回以上運動をする人） （「飯島町スポーツ推進計画」の見直しに合わせ、5年に1回アンケート調査を実施します。） ●目標には届いていませんが、過去の調査（平成22年度46.2％、平成28年度44.1％）に比べ、令和4年度は55.0％とスポーツ実施率は上昇しています。チームスポーツよりも、健康づくりを目的としたウォーキングなど個人で取り組む運動への志向が強くなっています。	—	％	—	％	B	I
											B	I

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
		令和５年度					令和６年度			令和５年度		令和６年度	
5721	体育館等 管理費	5,027	5,020		3	●利用者による自主管理を徹底しながら、利用の促進	●年間延べ利用者数 令和６年度：31,522人 令和５年度：29,668人 令和４年度：27,227人	a	b	b	b	b	b
		4,861	4,732	3	I								

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標7	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標7	7	5	6	—	住民が利用しやすいスポーツ環境の整備・充実	【再掲】 スポーツ実施率（週1回以上運動をする人） （「飯島町スポーツ推進計画」の見直しに合わせ、5年に1回アンケート調査を実施します。） ●目標には届いていませんが、過去の調査（平成22年度46.2％、平成28年度44.1％）に比べ、令和4年度は55.0％とスポーツ実施率は上昇しています。チームスポーツよりも、健康づくりを目的としたウォーキングなど個人で取り組む運動への志向が強くなっています。	— %	— %	B	I
									B	I

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度							
5722	屋外運動場管理費	19,677	19,567	3	●柏木運動場整備事業に伴う、用地測量および用地買収●利用者による自主管理を徹底しながら、利用の促進●利用者の安全確保のため、屋外運動場の照明施設の照度調査を実施し、夜間利用を制限	●柏木運動場整備事業にともなう、用地測量および用地買収●年間延べ利用者数 令和6年度：10,939人 令和5年度：11,172人 令和4年度：10,091人	a	b	b	b	b	b	Ⅱ
		28,601	27,994	3									Ⅱ

実施計画（施策）評価										
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3 層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	Ⅰ 層	2 層	3 層	プロジェクト			当該年度		令和 5 年度	
							目標値	実績値	令和 6 年度	
基本目標 7	7	5	6	—	住民が利用しやすいスポーツ環境の整備・充実	【再掲】 スポーツ実施率（週1回以上運動をする人） （「飯島町スポーツ推進計画」の見直しに合わせ、5年に1回アンケート調査を実施します。） ●目標には届いていませんが、過去の調査（平成22年度46.2%、平成28年度44.1%）に比べ、令和4年度は55.0%とスポーツ実施率は上昇しています。チームスポーツよりも、健康づくりを目的としたウォーキングなど個人で取り組む運動への志向が強くなっています。	— %	— %	B	I
									B	I

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	当該年度		進捗状況	今後の方向性
	Ⅰ層	2層	3層	プロジェクト			目標値	実績値	令和5年度	
									令和6年度	
基本目標7	7	5	4	—	「飯島町総合型スポーツクラブ」と連携した生涯スポーツの推進	—	—	—	—	—
	7	5	6	—	住民が利用しやすいスポーツ環境の整備・充実	【再掲】 スポーツ実施率（週1回以上運動をする人） （「飯島町スポーツ推進計画」の見直しに合わせ、5年に1回アンケート調査を実施します。） ●目標には届いていませんが、過去の調査（平成22年度46.2%、平成28年度44.1%）に比べ、令和4年度は55.0%とスポーツ実施率は上昇しています。チームスポーツよりも、健康づくりを目的としたウォーキングなど個人で取り組む運動への志向が強くなっています。	— %	— %	B	I
									B	I

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)					改善 (Action)	
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度							
5741	学校給食 センター 費	27,930	25,384	3	●安心・安全な給食の提供を実施●食材調達や地元食材の調達について研究を実施●学校給食衛生管理基準に基づいた学校給食センターの運営●車両、備品等の整備を実施●物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、物価高が続く中で安定的な学校給食を提供するため学校給食会計への補助	●新しい給食センターとして三年目となり、一年をとおして安心・安全な給食を提供地産地消を常に意識し、可能な限り地元食材を使用●食育への理解を深めるため、給食だより等で情報発信●配送車や備品等の管理を日常的に行い、適切な給食センター運営に努めた。●学校給食費負担軽減事業（学校給食会計へ4,164千円交付、うち3,304千円が物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金分）	a	b	b	b	b	b	Ⅱ
		26,307	25,617	3			Ⅱ						

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標7	7	2	3	—	安全で安心な学校給食の推進と地域に開かれた多目的給食センターの実現	給食事故件数（年） （学校給食提供における、食中毒、異物混入等の件数） ●調理された給食が給食センターから学校へ渡った後に事故が起こる場合が想定されるので、給食センターだけでなく学校での事故防止も徹底します。	0 件	1 件	B	II
									B	II

【企画政策課・会計課・議会事務局】事務事業・実施計画（施策）評価

■達成状況・・・（－）当該年度の評価なし ■事業終了・・・国や県の事業も含む

	事業コード・事業名称		実施計画と連動なし （●）	達成状況 1.目標を大きく上回って達成 4.目標を下回った 2.目標を上回って達成 5.目標を大きく下回った 3.ほぼ目標どおり					頁
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
企画政策課	1161	企画費		3	3	3	3		278
	1179	地域力創造推進プロジェクト	●	—	—	—	3		279
	1131	財政管理費		3	3	3	3		280
	1151	財産管理費	●	3	3	3	3		281
	1155	登記事務費	●	3	3	3	4		282
	事業コード・事業名称		実施計画と連動なし （●）	達成状況 1.目標を大きく上回って達成 4.目標を下回った 2.目標を上回って達成 5.目標を大きく下回った 3.ほぼ目標どおり					頁
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
会計課	1141	会計管理費		3	3	3	3		295
	1154	物品集中購買費		3	3	3	3		296
	事業コード・事業名称		実施計画と連動なし （●）	達成状況 1.目標を大きく上回って達成 4.目標を下回った 2.目標を上回って達成 5.目標を大きく下回った 3.ほぼ目標どおり					頁
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
議会事務局	1001	議会費		3	3	3	3		297
	1511	統計調査総務費	●	2	3	—	—		298
	1521	指定統計調査費	●	3	3	3	3		299
	1601	監査委員費		3	3	3	3		300

基本 目標 8

<企画政策・会計・
議会事務>

将来を実現する 創像力にあふれた行政基盤づくり

《基本的方向》

いかなる状況においても安定した暮らしやすいまちであるために、社会の変化に対応できる、将来にわたって持続可能な行財政基盤の構築を目指します。人口減少や少子高齢化、地方分権の進展、住民ニーズの多様化・高度化に、創造力と実行力で応えられる簡素で効率的な行政組織を構築していきます。

※施策の進捗状況

A 順調に推移している B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている

■進捗状況・・・（－）当該年度の評価なし

政策 8－（１） 将来像を目指す仕 組みづくり	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和４年度	令和５年度	令和６年度
	① 評価・見直しによる総合計画の進捗管理	定性的な成果	B	B	B
	② プロジェクトチームの編成による施策の推進	プロジェクトチームによる問題解決件数（延数）	A	A	B
	③ 「政策アイデアコンテスト」の開催	政策アイデアコンテンツによる施策実現（延数）	A	A	A
政策 8－（２） 住民ニーズに応え る行政改革	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和４年度	令和５年度	令和６年度
	① 住民ニーズや情勢の変化に対応した組織改革	定性的な成果	B	B	B
	② 簡素で効率的な行政組織のための事務事業改革	定性的な成果	A	A	A
	③ 形骸化した事業・事務等の統廃合の推進	定性的な成果	C	C	C
政策 8－（３） 効果的・効率的な 財政運営	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和４年度	令和５年度	令和６年度
	① 中長期的な財政状況の把握と効率的な財政運営の推進	定性的な成果	B	B	B
	② 新たな財源確保の研究	定性的な成果	B	B	B
	③ 起債残高の縮減と実質公債費比率の抑制	実質公債費比率の抑制	B	B	B
	④ 計画的な各基金の積み立ての推進	標準財政規模に対する財政調整基金積立額の割合	A	B	B
	⑤ 選択と集中による事業の最適化推進	定性的な成果	B	B	B
	⑥ 公共施設の大規模修繕や災害発生時を想定した財政運営の推進	【再掲】標準財政規模に対する財政調整基金積立額の割合	A	B	B

※施策の進捗状況

A 順調に推移している B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている

■進捗状況・・・（－）当該年度の評価なし

政策 8－（４） 公共施設の適正管理・有効活用	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和４年度	令和５年度	令和６年度
	① 施設の有効活用や維持管理コストの効率化	公共建築物の削減延床面積（延数）	B	B	A
	② 施設の総量を段階的に減らす取り組み	公共建築物延床面積の抑制（延数）	B	B	A
政策 8－（５） 適正な会計事務	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和４年度	令和５年度	令和６年度
	① 会計事務を標準化するための資料作成	定性的な成果	B	B	B
	② 会計処理に関する職員説明会の実施	定性的な成果	A	A	A
	③ 物品の集中購買による経費節減	定性的な成果	A	A	A
	④ 事務用消耗品の共有化、再利用化推進	共有化する事務用消耗品数（延数）	B	B	A
政策 8－（６） 議会・監査の支援	施策	主な成果指標等	進捗状況※		
			令和４年度	令和５年度	令和６年度
	① 議会運営に必要な資料や情報の提供	定性的な成果	B	B	B
	② 監査業務の支援	定性的な成果	B	B	B

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業費（千円）		主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等		必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性		
					町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上			
令和５年度							令和６年度					令和５年度	
事業 コード	事業 名称				予算額	決算額	3	●飯島町第６次総合計画の進行管管理●飯島町第６次総合計画の中間見直し●飯島町第６次総合計画改訂版（素案）策定●飯島町基本構想審議会の開催（外部評価の実施、諮問）●実施計画説明会の開催●人口増プロジェクト会議の開催、戦略（施策）の立案●飯島町行財政改革推進本部会及び飯島町行財政改革推進本部幹事会の開催●「事務事業提案」及び「政策アイデア」募集	a	a	b	a	a
1161	企画費	9,802	9,414	3	●飯島町第６次総合計画の進行管管理●飯島町第６次総合計画の中間見直し●飯島町第６次総合計画改訂版（素案）策定●飯島町基本構想審議会の開催（外部評価の実施、諮問）●実施計画説明会の開催●人口増プロジェクト会議の開催、戦略（施策）の立案●飯島町行財政改革推進本部会及び飯島町行財政改革推進本部幹事会の開催●「事務事業提案」及び「政策アイデア」募集	a	a	b	a	a	a	I	
		10,670	10,425	3	●飯島町第６次総合計画の進行管管理●飯島町第６次総合計画の中間見直し●飯島町第６次総合計画改訂版（素案）策定●飯島町基本構想審議会の開催（外部評価の実施、諮問）●実施計画説明会の開催●人口増プロジェクト会議の開催、戦略（施策）の立案●飯島町行財政改革推進本部会及び飯島町行財政改革推進本部幹事会の開催●「事務事業提案」及び「政策アイデア」募集	a	a	b	a	a	a	I	

実施計画（施策）評価												
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性			
基本目標8	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度			
							目標値	実績値	令和6年度			
基本目標8	8	1	1	—	評価・見直しによる総合計画の進捗管理	●実施計画（施策評価）シート・事務事業評価シートを活用し適正な進行管理を行うことができました。●飯島町第6次総合計画改訂版（素案）策定（令和7年1月）し、飯島町基本構想審議会（令和7年2月）へ諮問することができました。	—	—	—	—	B	I
											B	II

基本情報				事務事業評価											
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)		
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性		
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上			
令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度									
1179	地域力創造推進プロジェクト	—	—	—	●令和6年9月24日「飯島町と地域力創造株式会社との包括連携協定の締結」●地域力創造アドバイザー業務契約●地域活性化起業人（人材派遣）制度の協定（地域力創造推進プロジェクト活用事業（空き家等の対策業務、相談業務など地域活動の促進及び町内事業者の事業拡大に関する業務など））●地域おこし協力隊募集・選考業務	●地域力創造アドバイザー業務【相談業務】駅前周辺の賑わい創出について、町内イベントの実施について、旅館の跡取問題についてなど（12件）【参加イベント】飯島町事業承継ネットワーク会議（キックオフミーティング）（10月）まちの駅いいちゃん10周年とサブカルFEST A参加（10月）北町自治会集会・清掃活動（随時）いいちゃん産業祭り（11月）いいじま環境フェア（12月）他【事業提案】空き家リストを地図にプロットすることによる空き家分布の可視化●地域活性化起業人【空き家調査】179棟の現況調査【成果品】「飯島町空き家帳簿」及び「空き家情報を地図にプロットした分布図」●地域おこし協力隊募集・選考業務（募集媒体：Wantedly、SMOUT、LOCALMATCH）	a	b	b	b	a	a	—	Ⅳ	
		10,900	10,516	3											

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標8	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
					施策との関連性なし		—	—	—	—

基本情報				事務事業評価										
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)	
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性	
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上		
令和５年度		令和６年度												
1151	財産管理費	1,899	1,882	3	●「飯島町公共施設等総合管理計画」及び各個別施設計画に基づき、実施計画や新年度予算編成時において、施設の長寿命化対策の実施時期を調整●公会計は、外部団体との連結を含め、「統一的基準」による財務諸表の作成を行い公表実施●管理する未利用財産（土地）の後活用について、引き続き、町・長野県のホームページへの掲載により未利用財産のPRを実施●七久保地区で計画されていた民間事業者の太陽光発電事業について、地元の理解が得られたため、計画区域内にある認定外道路等を売却	●公会計は、財務諸表の作成を行い３月末に公表●未利用財産（土地）は、後活用につなげられず実績なし。●不要な認定外道路等を売却することにより、一般財源を確保	a	a	c	a	a	a	Ⅱ	
		3,786	3,765	3									Ⅱ	

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況	今後の方向性		
基本目標8	1層	2層	3層	プロジェクト						
									当該年度	
						目標値	実績値	令和6年度		
					施策との関連性なし					

基本情報				事務事業評価										
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)	
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性	
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上		
		令和５年度												令和５年度
		令和６年度												令和６年度
1155	財産管理費	351	30	3	●国土調査及び道水路等に係る嘱託登記の処理未登記解消事業として、未登記の解消	●国土調査及び道水路等に係る嘱託登記を適正に処理した。 令和６年度：48件（筆） 令和５年度：54件（筆） 令和４年度：52件（筆） ●未登記解消は実施できなかった。 令和６年度：０件（筆） 令和５年度：１件（筆） 令和４年度：４件（筆）	a	a	b	a	b	b	Ⅱ	
		351	275	4									Ⅱ	

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標8	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
					施策との関連性なし					

基本情報				事務事業評価										
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）		達成 度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)					改善 (Action)		
		予算額	決算額		主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性		今 後 の 方 向 性		
							町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し		質 の 向 上	
		令和 5 年度									令和 5 年度			
令和 6 年度								令和 6 年度						
					事務事業との関連性なし									

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	Ⅰ層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標8	8	Ⅰ	2	○	プロジェクトチームの編成による施策の推進	プロジェクトチームによる問題解決件数（延数） ●令和7年度の新規事業はありませんでしたが、【子育て・婚活】産後ケア費助成金の拡充しました。 （参考）令和6年度：0件 令和5年度：Ⅰ件 令和4年度：Ⅰ2件 令和3年度：5件	2 件	Ⅰ8 件	A	Ⅱ
									B	Ⅱ

基本情報					事務事業評価											
					達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)					改善 (Action)			
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）		主 な 取 組 内 容		主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性		今 後 の 方 向 性				
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し		質 の 向 上			
												令和 5 年度		令和 5 年度		
												令和 6 年度		令和 6 年度		
						事務事業との関連性なし										

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標8	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標8	8	1	3	—	「政策アイデアコンテスト」の開催	政策アイデアコンテストによる施策実現（延数） ●時差出勤勤務の導入（令和7年4月予定）●飯島町公開型・統合型地理情報（GIS）システム導入（令和7年度） （参考）令和6年度：0件 令和5年度：2件 令和4年度：2件	1件	4件	A	II
									A	II

基本情報					事務事業評価												
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）		達成 度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)					改善 (Action)					
		予算額	決算額		主な 取組 内容	主な 取組 内容の 実績等	必要 性	有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性					
									町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例	民 間 活 用		手 法 見 直 し	質 の 向 上			
							令和5年度										
							令和6年度							令和6年度			
											事務事業との関連性なし						

実施計画（施策）評価											
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性		
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度		
							目標値	実績値	令和6年度		
基本目標8	8	2	1	—	住民ニーズや情勢の変化に対応した組織改革	●行財政改革プランに基づく「推進本部会議」「推進本部幹事会」を通じ、効率的な行政運営を実現するための「組織機構見直しの基本方針」に基づき、令和7年4月に向けた組織改編を決定しました。●引き続き、社会状況の複雑な変化や、多様化・高度化する町民ニーズを踏まえ、本町が目指すべき将来像である「新しい発想で考える アルプスのまち 豊かな未来・自然・暮らし」を実現するために、効率的・効果的な組織体制となるよう見直しを検討を進めます。	—	—	—	—	
											B
										B	I

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標8	8	2	2	—	簡素で効率的な行政組織のための事務事業改革	●職員が事務事業に関する提案を行う制度「職員提案」と「政策アイデア」を一本化し、事務事業改善に取り組みました。 【事務事業】 ●令和6年度：公用車を総務課で一括管理（令和8年4月から実施予定）	—	—	A	II
									A	II

基本情報				事務事業評価											
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)					改善 (Action)			
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性		
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上			
令和５年度														令和５年度	
令和６年度													令和６年度		
								事務事業との関連性なし							

実施計画（施策）評価										
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3 層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	Ⅰ 層	2 層	3 層	プロジェクト			当該年度		令和 5 年度	
							目標値	実績値	令和 6 年度	
基本目標 8	8	2	3	—	形骸化した事業・事務等の統廃合の推進	事務事業等の統廃合（延数） 職員提案事業により統廃合した件数 ●令和 6 年度 ①公用車を総務課で一括管理（令和 8 年 4 月から実施予定）②広報配布の効率化と DX 推進（検討中） （参考） 令和 3 年度：「職員提案」と「政策アイデア」を一本化	Ⅰ 件	2 件	C	Ⅱ
									C	Ⅱ

基本情報					事務事業評価									
					達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）		主 な 取 組 内 容		主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性	
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上		
		令和 5 年度												
		令和 6 年度												
					事務事業との関連性なし									

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標8	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標8	8	3	2	—	新たな財源確保の研究	●例月出納検査（10月以降）や9月、12月補正の時点で、執行状況データを各課等へ確認依頼し、落札差金や事業の見直し等による不用額を補正予算で減額することで財源の有効活用を図ることができました。	—	—	B	II
									B	II

基本情報					事務事業評価												
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）		達成 度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)				
		予算額	決算額		主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必 要 性	有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性					
									町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例	民 間 活 用		手 法 見 直 し	質 の 向 上			
		令和 5 年度					令和 6 年度								令和 5 年度		
									令和 6 年度								
											事務事業との関連性なし						

実施計画（施策）評価											
第 6 次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3 層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性		
	1 層	2 層	3 層	プロジェクト			当該年度		令和 5 年度		
							目標値	実績値	令和 6 年度		
基本目標 8	8	3	3	—	起債残高の縮減と実質公債費比率の抑制	実質公債費比率の抑制 （一般会計が負担する、元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本とした額に対する比率） ●今後、令和10年開催「信州やまなみ国スポ」関連の柏木運動場整備や役場庁舎の大規模修繕、新病院建設など大型事業に係る新たな起債の借入が想定され、指標数値の悪化が心配されます。	10.0以下 %	8.4 % （速報値）	B	I	
									B	I	

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標8	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標8	8	3	4	—	計画的な各基金の積み立ての推進	標準財政規模に対する財政調整基金積立額の割合 （標準財政規模の3割） ●第6次総合計画に掲げる政策目標を達成するために実施する町単独事業の一般財源が増加傾向にあります。	31.0 %	29.2 %	B	I
									B	I

基本情報					事務事業評価									
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）		達成 度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)	
		予算額	決算額		主な 取組 内容	主な 取組 内容の 実績等	必要 性	有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性		
									町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例	民 間 活 用		手 法 見 直 し	質 の 向 上
		令和5年度					令和6年度		令和5年度		令和6年度			
									事務事業との関連性なし					

実施計画（施策）評価												
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性			
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度			
							目標値	実績値	令和6年度			
基本目標8	8	3	5	—	選択と集中による事業の最適化推進	●第6次総合計画の施策評価を活用し、予算編成時において既存の事務事業やサービスの確認や見直しを行うことで、令和7年度予算編成に反映することができました。	—	—	—	—	B	I
											B	I

基本情報					事務事業評価									
					達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業費（千円）		主な 取組 内容	主な 取組 内容の 実績等	必要性		有効性	効率性			今後の 方向性				
							予算額	決算額	民間活用		手法見直し	質の向上		
町民ニーズ							民間での事例	令和5年度						
令和5年度							令和6年度							
令和6年度														
事業コード	事業名称				事務事業との関連性なし									

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標8	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標8	8	3	6	—	公共施設の大規模修繕や災害発生時を想定した財政運営の推進	【再掲】 標準財政規模に対する財政調整基金積立額の割合 （標準財政規模の3割） ●第6次総合計画に掲げる政策目標を達成するため実施する町単独事業の財源が増加傾向にあります。	31.0 %	29.2 %	B	I
									B	I

基本情報				事務事業評価									
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）		達成 度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)					改善 (Action)	
		予算額	決算額		主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
							町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
		令和５年度											
令和６年度											令和６年度		
					事務事業との関連性なし								

実施計画（施策）評価											
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性		
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度		
							目標値	実績値	令和6年度		
基本目標8	8	4	1	—	施設の有効活用や維持管理コストの効率化	公共建築物の削減延床面積（延数） （「飯島町公共施設等個別施設計画」に基づく削減延床面積） ●公共建築物の総量の削減が目標となっているが、各所管課における除却や統廃合の検討・実施が計画どおり進むよう実施計画や予算編成の折に調整を行い、全体の進捗管理に努めます。 ●削減面積 （1）令和6年度△1,178.72㎡ 【内訳】 ①豊岡住宅（△104.13㎡） ②舟久保住宅（△848.02㎡） ③緑風荘（△119.4㎡） ④千人塚公園旧スケート場受付棟（△46.37㎡） ⑤新屋敷教員住宅（△60.8㎡） （2）令和5年度△110.1㎡ （3）令和4年度△753.18㎡ （1）（2）（3）の合計	1071.0㎡	2,042.0㎡ （速報値）	B	I	
									A	I	

基本情報					事務事業評価									
					達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)					改善 (Action)	
事業コード	事業名称	事業費（千円）		主な 取組 内容		主な 取組 内容の 実績等	必要性		有効性	効率性		今後の 方向性		
		予算額	決算額				町民 ニーズ	民間 での 事例		民間 活用	手法 見直し		質の 向上	
														令和5年度
						事務事業との関連性なし								

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
基本目標8	8	4	2	—	施設の総量を段階的に減らす取り組み	公共建築物延床面積の抑制（延数） （公共建築物延床面積を削減した後の面積） ●公共建築物の総量削減が目標となっているが、各所管課における除却や統廃合の検討・実施が計画どおり進むよう実施計画や予算編成の折に調整を行い、全体の進捗管理に努めます。 （1）令和6年度△1,130.47㎡ 【内訳】 ①豊岡住宅（△104.13㎡） ②舟久保住宅（△848.02㎡） ③緑風荘（△119.4㎡） ④千人塚公園旧スケート場受付棟（△46.37㎡） ⑤新屋敷教員住宅（△60.8㎡） ⑥坊主平キャンプ場トイレ・シャワー・炊事場（+48.25㎡） （2）令和5年度実績値 70,460.65㎡ （1）－（2）＝69,330.18㎡	74,227㎡	69,331㎡ （速報値）	B	I
									A	I

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度							
1141	会計管理費	2,696	2,575	3	●適正な会計事務処理の実施●財務会計手引きの内容更新実施	●支払事務や口座振替データ処理等について適正な事務処理●伝票の起票や添付書類等について随時指導を行い、適正な事務につないだ。●会計事務負担軽減のため、伝票の処理方法等について随時課内検討を実施●令和7年度から稼働する新公会計システムの研修会を開催	a	b	b	a	b	b	Ⅱ
		4,800	4,522	3									

実施計画（施策）評価												
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性			
	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度			
							目標値	実績値	令和6年度			
基本目標8	8	5	1	—	会計事務を標準化するための資料作成	●伝票等の適正処理を行うため、随時修正依頼、指導等を行うとともに、伝票事務処理方法等について改善をしたことにより、伝票事務の負担軽減を図ることができました。	—	—	—	—	B	I
											B	I
	8	5	2	—	会計処理に関する職員説明会の実施	●法令や規則に基づいた適正な会計処理が行えるよう支援し、事務処理向上に繋げることができました。	—	—	—	—	A	II
											A	II

基本情報				事務事業評価												
				達成度	計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)						改善 (Action)	
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性			
		予算額	決算額							民間 活用	手法 見直し	質の 向上				
		令和5年度					町 民 ニ ー ズ	民間 での 事例							令和5年度	
		令和6年度													令和6年度	
1001	議会費	55,408	54,430	3	●タブレット端末の活用を推進●議場へのモニター導入と一般質問での活用●行政運営や議会運営の研修などへのサポート	●議員から出された修正案の条例議案（報酬改定）作成をサポート●一般質問通告書様式変更のサポート	a	a	a	a	a	a	I			
		56,670	54,381	3									II			

実施計画（施策）評価												
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性			
基本目標8	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度			
							目標値	実績値	令和6年度			
	8	6	1	—	議会運営に必要な資料や情報の提供	●会議運営に当たり、課題が出された際は県議長会に問い合わせを行い、スムーズな議事進行、運営に努めました。	—	—	—	—	B	II
											B	II

基本情報					事務事業評価									
					達成度	計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)				
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）		主 な 取 組 内 容		主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性		今 後 の 方 向 性		
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し		質 の 向 上	
令和５年度														
令和６年度														
1511	統計調査 総務費	—	—	—	予算執行なし							—		

実施計画（施策）評価										
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性	
基本目標8	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度	
							目標値	実績値	令和6年度	
					施策との関連性なし					

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
		令和 5 年度											
		令和 6 年度											
1521	指定統計 調査費	362	276	3	●各統計調査の対応（学校基本調査、家計構造調査、農林業センサスの対応）	●滞りなく、長野県へ報告することができた。	a	b	a	a	a	a	I
		3,007	2,791	3									I

実施計画（施策）評価											
第6次総合計画政策体系上の位置付け					施策（3層）	成果指標・定性的な成果（指標等の成果分析）	進捗状況		今後の方向性		
基本目標8	1層	2層	3層	プロジェクト			当該年度		令和5年度		
							目標値	実績値	令和6年度		
					施策との関連性なし						

基本情報				事務事業評価									
				達成度	計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)						改善 (Action)
事業 コード	事業 名称	事業費（千円）			主 な 取 組 内 容	主 な 取 組 内 容 の 実 績 等	必要 性		有 効 性	効 率 性			今 後 の 方 向 性
		予算額	決算額				町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	
令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度							
1601	監査委員 費	795	682	3	●例月出納検査、決算審査、定期監 査の際の監査委員への協力支援●決 算審査、定期監査の報告書及び町広 報原稿の原案作成	●例月出納検査、決算審査、定期監 査の際、監査委員への協力を行っ た。●決算審査、定期監査報告書及 び町広報誌の原案を作成した。	a	a	a	a	a	a	I
		813	695	3									I